

**外国為替証拠金取引の取引顧客における
金融リテラシーに関する実態調査
～調査結果報告書～**

2018年4月

目 次

調査概要	2
対象者属性	3
調査結果の要約	4
調査結果の詳細	8
1. 外国為替証拠金取引(FX)の取引状況	9
2. 外国為替証拠金取引(FX)に関する情報収集・投資方針	28
3. 外国為替証拠金取引(FX)や金融全般に関する知識・理解度	34
4. 外国為替証拠金取引(FX)や制度・サービスに対するイメージ・要望	41
付)調査票	49

調査概要

調査目的：

当該調査は、投資家保護と共に健全な金融先物取引業の発展をはじめ、外国為替証拠金取引（FX）の合理的な利用における投資者の金融リテラシーに寄与するための投資者調査・分析の一環であり、一般投資家の外国為替証拠金取引（FX）に関する実態を本協会会員を始め、一般投資家が把握することにより本協会の取り組む投資教育事業計画の方向性や活動の焦点を見定めることを目的としている。

調査対象者：

全国 20～70 代一般男女個人より、FX投資経験者を予備調査にてスクリーニング。

なるべく現状の実態を把握する意図のため、現在取引者を優先して抽出し、過去取引者についても直近の取引が調査時点に近い人を優先して抽出した（㈱日本リサーチセンターWEB パネルおよび提携パネルより抽出）。

対象者数：計 1,000 s

対象者構成：

2017 年「金融先物取引に関する個人投資家の意識調査」（全国一般男女個人対象／2,000 s 回収）の調査結果より、「外国為替証拠金取引（FX）経験者」の出現率を利用し、FX 取引経験者を合計 1,000 s 回収する場合の性・年代別対象者構成表を作成。下表のとおり、サンプルを割り付けた。

※性・年代別に構成表を作成した結果、10 代刻みではサンプル些少となる区分については、年代をまとめて割り付けることとした。

全体	男性						女性			
	男性計	20代	30代	40代	50代	60～70代	女性計	20～30代	40～50代	60～70代
1000	763	104	268	222	66	103	237	82	105	50

調査方法：

インターネット調査

調査実施期間：

2018 年 2 月 23 日（金）～ 3 月 1 日（木）

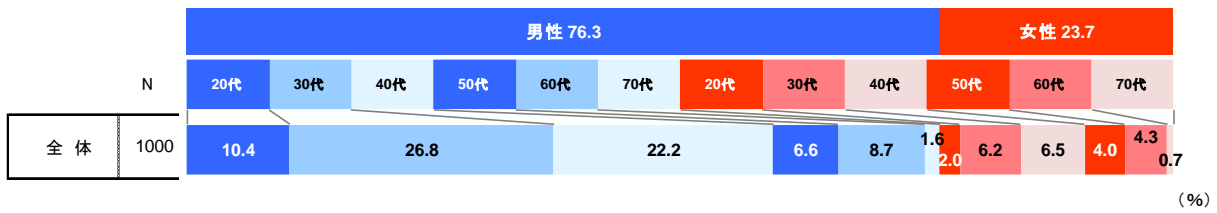
備考：

世帯年収の平均値については、下記の表の代表値を与えて平均値を算出している。

世帯年収	
1. 100 万円未満.....	50
2. 100～200 万円未満.....	150
3. 200～300 万円未満.....	250
4. 300～400 万円未満.....	350
5. 400～500 万円未満.....	450
6. 500～700 万円未満.....	600
7. 700～1,000 万円未満.....	850
8. 1,000～1,500 万円未満.....	1,250
9. 1,500～2,000 万円未満.....	1,750
10. 2,000 万円以上.....	2,250

対象者属性

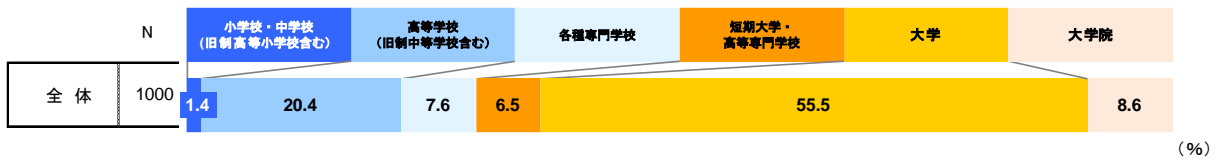
性・年代



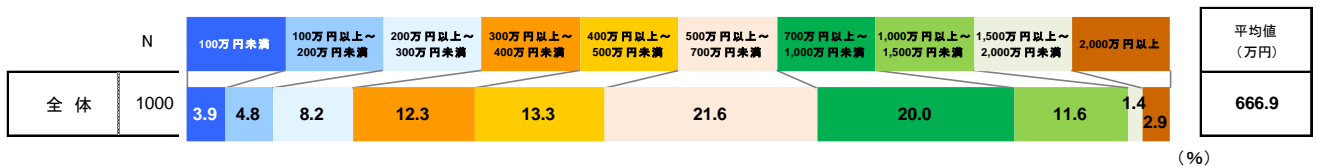
職業



最終学歴



世帯年収



調査結果の要約

1. 外国為替証拠金取引（FX）の取引状況

FXの取引年数についてみると、「5年以上」が44.9%と最も高く、次いで、「1年以上～3年未満」が21.4%。「5年以上」は男性（47.3%）で女性（37.1%）よりも高い。

FXによる昨年の利益額（損失額）については、「利益額が～20万円未満」が35.6%と最も高く、次いで「0円又は損失額が～-20万円未満」が28.4%と、『-20万円未満～20万円未満』の間で全体の6割以上となっている。

FXの損失に関する過去の控除経験有無については、「控除したことがある」が32.7%、「控除したことがない（控除できることを知っていたが、年間で利益となったので、控除の対象にはならなかった）」が22.5%となった。なお、「控除したことがある」は男性（34.5%）で女性（27.0%）より高い。

新規建玉の平均的な保有期間は、「1日以上～1週間未満」が21.3%と最も高く、次いで「1週間以上～1か月未満」（16.1%）、「1時間以上～1日未満」（16.0%）がほぼ同程度。『1か月以上』保有している層の比率は女性（3割半ば）で男性（3割弱）よりも高く、男女とも高齢層になるほど長期保有層比率が高くなっている。

FXで取引している通貨は、「米ドル」が85.0%と最も高く、以下「豪ドル、ニュージーランドドル」（43.7%）、「ユーロ」（40.8%）が4割台等。男性では女性に比べて複数の通貨で比率が高い。

FXの新規取引1回あたりの平均的な取引金額については、「10万円未満」が42.8%と最も高く、次いで「10万円以上～50万円未満」が23.1%。一方『100万円以上』の高取引金額層は24.2%。なお「10万円未満」は女性（49.8%）で男性（40.6%）より高い。

FX取引の際の証拠金倍率については、「1倍以上～5倍未満」が31.4%、「5倍以上～10倍未満」が23.8%で、『1倍以上～10倍未満』までで過半数を占める。男性のほうが女性より高い倍率で取引を行っている傾向がうかがえ、特に女性40代以上は低い倍率で取引している人が多く、『～5倍未満』で過半数を占める。

FXの年間取引回数は、「1回以上～10回未満」が18.5%、「100回以上～500回未満」が17.8%等、ほとんどの選択肢が1割強ずつとなり、分散しているが、合わせてみると『20回以上』計で57.4%である。『20回以上』計は男性で60.7%であるのに対し、女性は46.8%であり、男性のほうが取引回数が多い。

年間のロスカット取引回数は、「1回未満（何年かに1回程度）」が52.4%と過半数を占め、『1回以上』計（47.6%）を上回る。『1回以上』計でみると、男性で50.3%、女性で38.8%と、男性のほうが高い。特に女性40代以上は、『1回以上』計が3割台と低い。

FX取引時に損失を出した理由については、「損切りができなかったから」が56.5%で最も高い。次いで「根拠の薄い取引をしてしまったから」（37.7%）、「損切りのタイミングが早すぎたから」（28.5%）等。「根拠の薄い取引をしてしまった」は男性（41.0%）で女性（27.0%）より高く、特に男性20-30代で高くなっている。

業者に預け入れた以上に損失を被った経験とその理由については、「（損失を被ったことは）ない」が75.4%と多数。「ない」は男女で差はないが、男性の中では50代が84.8%と高く、女性は高齢になるほど「ない」が高くなる傾向。

FXで利益を出す手法を会得しているかについては、「はい（会得している）」が40.0%。「はい」は男性（41.2%）で女性（36.3%）より高い。

F Xを行う際の、指値注文以外の注文について使用状況をみると、「よく使用する」+「時々使用する」(『よく+時々使用する』計)では、逆指値注文が45.0%と最も使用程度が高く、次いでOCO注文(34.8%)、IF DONE注文(32.3%)が同程度、IF DONE OCO注文が24.7%、その他の注文が12.5%であった。『よく+時々使用する』計でみると、いずれの注文も男性で女性よりも使用率が高く、IF DONE注文、その他の注文を除いては、男女差が大きい。また、男女ともにいずれも若年層で高い傾向がみられる。

2. 外国為替証拠金取引(F X)に関する情報収集・投資方針

F Xに関する情報収集方法としては、「ウェブサイト」が62.9%で最も高く、以下「金融商品・投資に関する書籍」(27.9%)、「マスメディア(テレビ・新聞等)」(13.4%)、「講演会・セミナーへの参加」(13.1%)等と続く。「ウェブサイト」「金融商品・投資に関する書籍」は男性(順に65.4%、29.2%)で女性(順に54.9%、23.6%)より高く、特に「ウェブサイト」は10ポイント以上の差がある。一方、女性では「家族・友人との会話(クチコミ)」(17.3%)が男性(8.1%)より高い。

F Xの投資方針については、「値幅による利益重視であり、短期間に決済する」が46.7%と最も高く、次いで「概ね長期保有だが、ある程度値幅による利益があれば決済する」が28.2%であった。「値幅による利益重視で短期間に決済」は男性(48.1%)で女性(42.2%)より高く、「概ね長期保有」は女性(33.3%)のほうが高い。

ファンダメンタル分析とテクニカル分析の重視程度については、「ファンダメンタル分析50%、テクニカル分析50%」が34.6%、『テクニカル分析75%以上』が合わせて3割強、『ファンダメンタル分析75%以上』が合わせて約3割と、以上の3つの層がほぼ同程度となった。「50%ずつ」は女性(39.2%)で男性(33.2%)より高く、特に女性の40代以上で4割以上と高い。

F X取引業者を選んだ理由としては、「信用のある業者だから」(41.8%)、「インターネット取引での注文がしやすいから」(41.1%)がほぼ同率で高い。次いで「売買手数料等の必要コストが安いから」(27.7%)、「インターネット上で評判がよいという口コミ等をみたから」(23.6%)が2割台。「信用のある業者だから」は男女ともに高齢層で高くなっている。

コンピュータープログラムに従った自動売買の経験は、「行ったことはなく、今後も行いたくない」が40.5%、「行ったことはないが、今後は始めたい」が35.5%で、未経験者が多数。「行っている(行ったことがある)」。今後も続けたい(今後もまた行いたい)は男女ともに若年層で高い。また、男女ともに高齢層では「行ったことはなく、今後も行いたくない」の比率が高い。

3. 外国為替証拠金取引(F X)や金融全般に関する知識・理解度

F Xに関して今まで得た知識としては、「取引の仕組みやリスクとその管理に関する知識」が84.2%と最も高い。以下、「取引に関する税制関連の知識」(57.8%)、「取引に関するテクニカル分析手法の知識」(50.1%)等と続く。いずれの項目も男性のほうが女性より10ポイント程度以上高く、男性では60-70代で「テクニカル分析手法の知識」(47.6%)、「メンタル的な鍛錬に関する知識」(26.2%)が若年層に比べて低い。

FXに関して今後得たい知識としては、「テクニカル分析手法の知識」が53.9%、「ファンダメンタルとこれを用いた分析手法の知識」が47.8%で、この2項目が5割前後。「メンタル的な鍛錬に関する知識」は男性(35.5%)で女性(30.4%)より高く、男女ともに若年層で高い項目が多い。

FX関連用語で理解しているものについては、「証拠金」(85.2%)、「指値注文」(83.5%)、「ロスカット」(82.8%)、「スワップポイント」(80.5%)が8割台、「レバレッジ効果」(76.4%)、「逆指値注文」(75.9%)、「スプレッド」(73.3%)が7割台等となった。すべての項目で男性が女性より高く、10ポイント程度の開きがあるものが多い。

自分の金融全般に関する知識レベルを聞いた結果では、「高い」+「やや高い」を合わせた『高い』計が40.7%、「平均的」が38.7%。「低い」+「やや低い」(『低い』計)は、2割弱。『高い』計でみると、男性(44.8%)が女性(27.4%)より高く、女性は40代以上で低い。

年利に対する理解度をみるべく、以下の設問を設けた。

100万円を年率1%の利息がつく預金口座に預け入れました。それ以外、この口座への入金や出金が無かった場合、1年後、口座の残高はいくらになっているでしょうか。利息にかかる税金は考慮しないでお答えください。

上記設問を聞いた結果では「101万円(正解)」が85.2%と大半であった。なお、正解率は女性(75.9%)で男性(88.1%)より低く、特に若年層ほど低くなっている。

FXの取引売買損益の計算理解度をみるべく、以下の設問を設けた。

外国為替レートが1米ドル=100円の時、あなたは外国為替証拠金取引(FX)を行い100万円の証拠金を用いて、証拠金倍率(レバレッジ)25倍の米ドル買い-日本円売りポジションを保有したとします。その後、米ドル-日本円のレートが、円高の方向に1%変化した場合、あなたの評価損益額はいくらになりますか。外国為替レートの変化以外のことを考慮しないでお答えください。

上記設問を聞いた結果では「損失がちょうど-25万円(正解)」が48.3%と、半数弱であった。正解率は男性(51.4%)で女性(38.4%)より10ポイント以上高く、女性のうち40代以上では正解率が3割台と特に低い。

4. 外国為替証拠金取引(FX)や制度・サービスに対するイメージ・要望

金融資産を増やすためにFXは有効な手段だと思うかについては、「有効な手段だと思う」が37.3%、「どちらかといえば有効な手段だと思う」が43.3%でこれを合わせた『有効だと思う』計は80.6%であった。「有効な手段だと思う」は、男性(40.2%)で女性(27.8%)より10ポイント以上高く、男性では若年層ほどほぼ高い比率となっている。女性も40代以上に比べて20-30代の方が高い。

FXが有効な手段だと回答した人に、その理由を聞いた結果では、「ハイリターンが期待できるから」が58.6%で最も高く、次いで「手軽に外国通貨への投資が行えるから」(42.4%)、「外貨預金や他の外貨建ての金融商品よりも外貨運用をするにあたり必要な費用等が少なくて済むから」(30.0%)等の順。「ハイリターンが期待できる」は男性60-70代(68.1%)で高い他、「外貨預金や他の外貨建ての金融商品よりも外貨運用をするにあたり必要な費用等が少なくて済む」は男女ともに60-70代(男性:39.1%、女性:45.7%)で高い、等の特徴がみられる。

一方、FXが有効な手段だと思わないと回答した人の理由は、「リスクが高いから」が82.0%と多数を占めており、次いで「多くの投資家が損失を被っているから」が39.7%。

F Xを行う上で、制度やサービスを強化したほうが良いと思うことでは、「不公正な取引などへの厳格な対応」が 36.7%で最も高く、以下「不誠実な業者における顧客対応の改善」(31.6%)、「外国為替証拠金取引の取扱業者に対する業務・財務面におけるチェック機能の強化」(29.9%)、「インターネット取引における情報・サービスの向上」(29.4%)等。上位2項目は男性(順に 38.0%、33.7%)で女性(順に 32.5%、24.9%)より高く、「最低限、身に付けるべき金融リテラシー習得の支援」「初心者・高齢者などへの適切な勧誘ルールを整備」は女性(順に 31.6%、32.5%)のほうが高い。

スプレッド広告については、「知っており、その広告の内容を見て、投資したいと思う気持ちになる」が 39.0%、「知っているが、その広告の内容を見て、投資したいと思う気持ちにはならない」が 36.1%で、この2つを合わせた『知っている』計が 75.1%を占める。「知っており、その広告の内容を見て、投資したいと思う気持ちになる」『知っている』計ともに男性(順に 42.5%、79.8%)が女性(順に 27.8%、59.9%)より 15~20ポイント程度高く、さらに男女ともに若年層ほど比率が高い。

調査結果の詳細

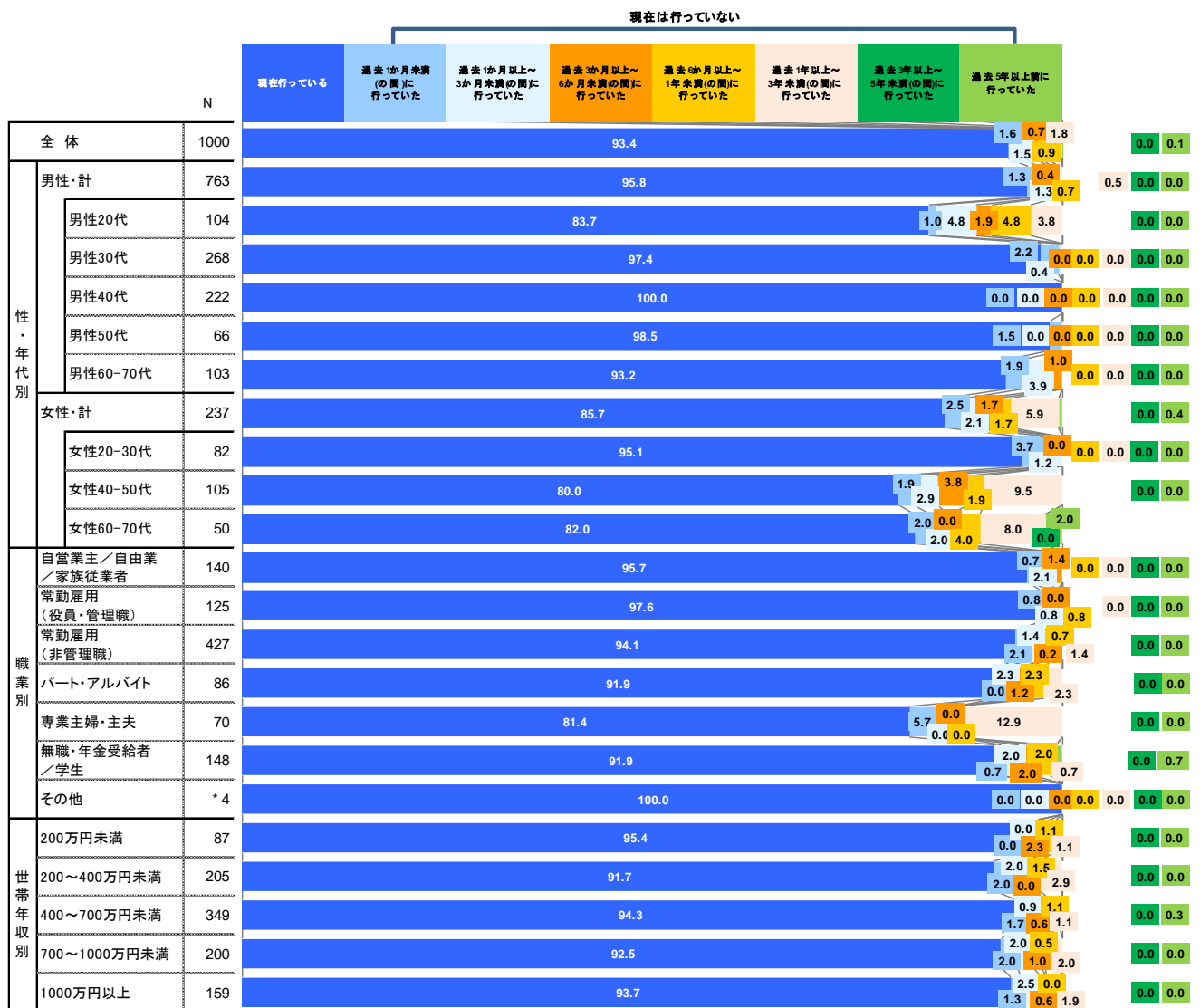
1. 外国為替証拠金取引（FX）の取引状況

外国為替証拠金取引（FX。以下、本報告書上は「FX」と表記する）の現在の取引状況については、調査実施にあたり、「FX現在取引者」を優先的に抽出したため、今回対象者の大半が「現在取引者」となった（そのため、詳細コメントは割愛する）。

Q2 現在のFX取引状況について

Q2 現在のFX取引状況

あなたは現在、外国為替証拠金取引（FX）を行っていますか。（1つだけ）



* 件数が30未満のため参考

(%)

Q3 FX取引年数について

FXの取引年数についてみると、「5年以上」が44.9%と最も高い。次いで、「1年以上～3年未満」が21.4%、「3年以上～5年未満」が15.1%。

性・年代別にみると、「5年以上」は男性（47.3%）で女性（37.1%）よりも高く、男性の50代以上では6割以上を占める。

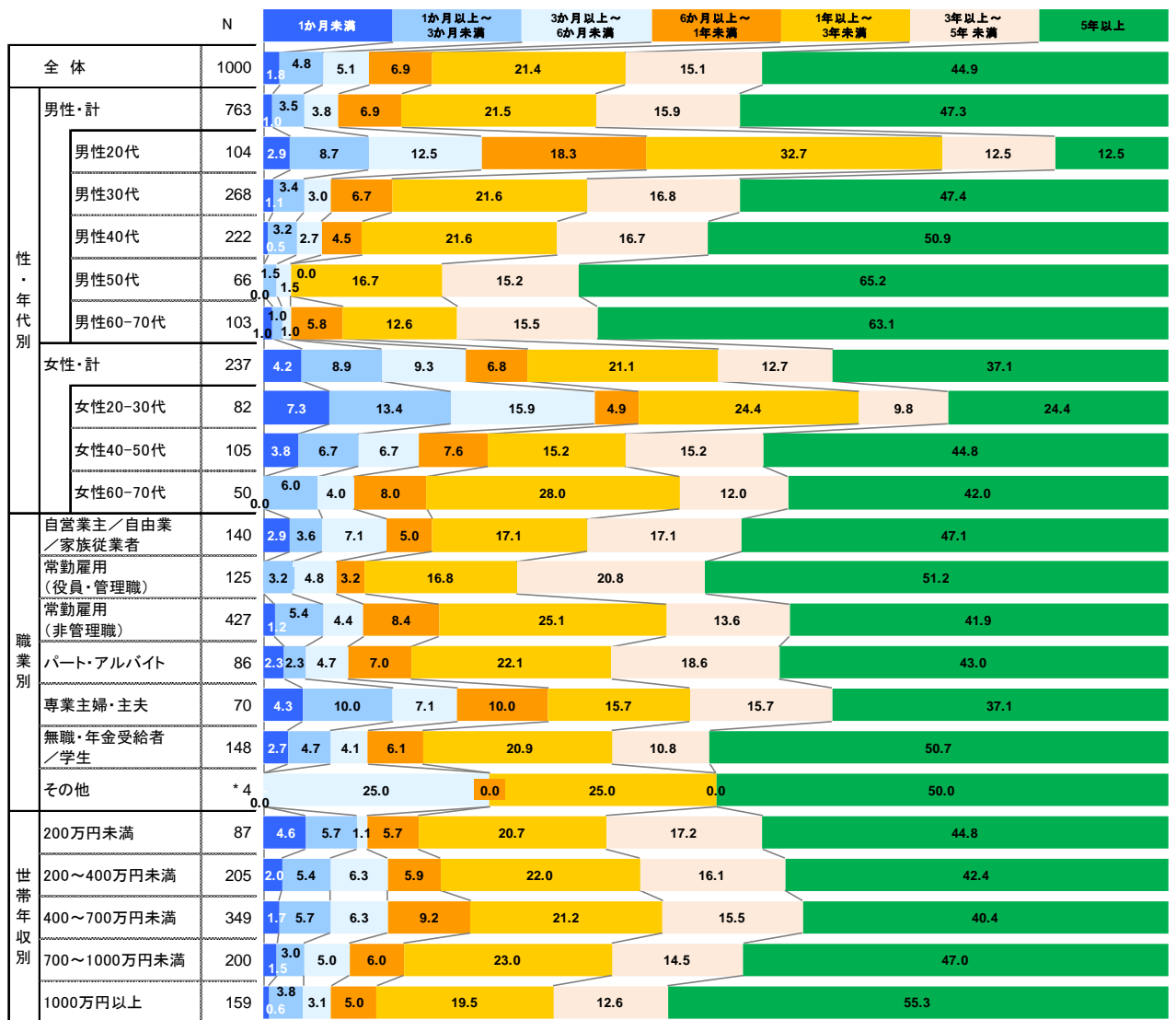
職業別にみると、「5年以上」は常勤雇用（役員・管理職）（51.2%）、無職・年金受給者／学生（50.7%）で5割台と比較的高い。

世帯年収別では、「5年以上」は1000万円以上の高所得層で55.3%と高い。

Q3 FX取引年数

あなたの外国為替証拠金取引（FX）の取引経験年数をお答えください。

※現在、取引していない方は、過去に取引していた年数の合計で結構です。（1つだけ）



* 件数が30未満のため参考

(%)

Q15 FXによる昨年の利益額（損失額）について

FXによる昨年の利益額（損失額）についてみると、「利益額が～20万円未満」が35.6%と最も高く、次いで「0円又は損失額が～-20万円未満」が28.4%となっており、『-20万円未満～20万円未満』の間で全体の6割以上となっている。

性・年代別にみると、『利益を出している』計の比率は、男性30代で66.4%と最も高い。

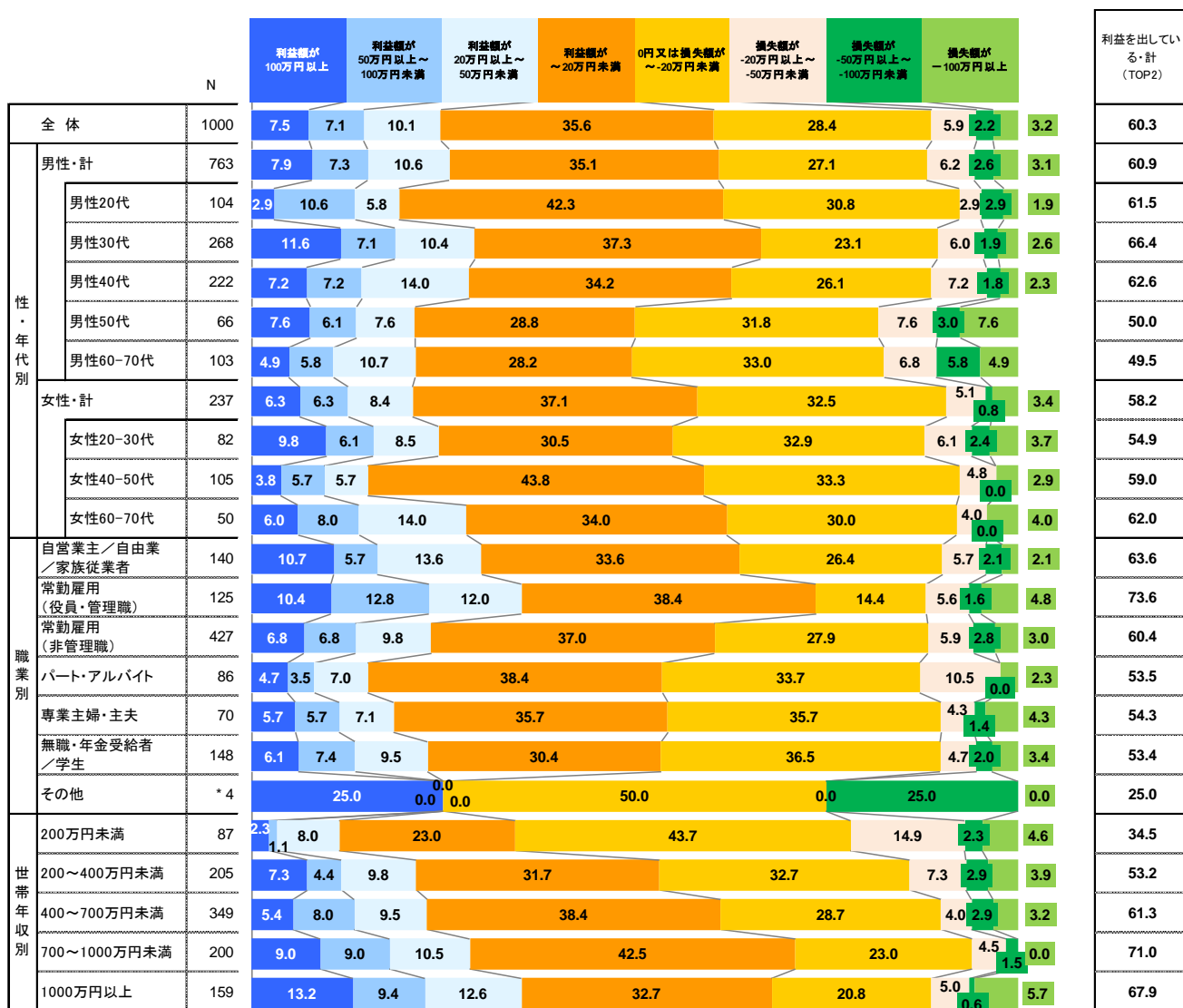
職業別にみると、『利益を出している』計の比率は、常勤雇用（役員・管理職）で73.6%と最も高い。

世帯年収別では、年収が高くなるほど『20万円以上利益を出している』比率が高くなっている。

Q15 FXによる昨年の利益額（損失額）

外国為替証拠金取引(FX)による昨年の利益額（損失額）はいくらでしたか。（1つだけ）

※現在取引していない方は、一番最近の過去一年の利益額（損失額）で結構です。



* 件数が30未満のため参考

(%)

Q16 FXによる損失に関する過去の控除経験について

FXの損失に関して、過去に控除した経験があるかどうかについては、「控除したことがある（確定申告して、適用できたことがある）」が32.7%、「控除したことがない（控除できることを知っていたが、年間で利益となったので、控除の対象にはならなかった）」が22.5%となった。

性・年代別にみると、「控除したことがある」は男性（34.5%）で女性（27.0%）より高く、男性では、50代までは加齢とともに控除経験者が多くなっている。

職業別にみると、「控除したことがある」は常勤雇用（役員・管理職）で51.2%と最も高い。

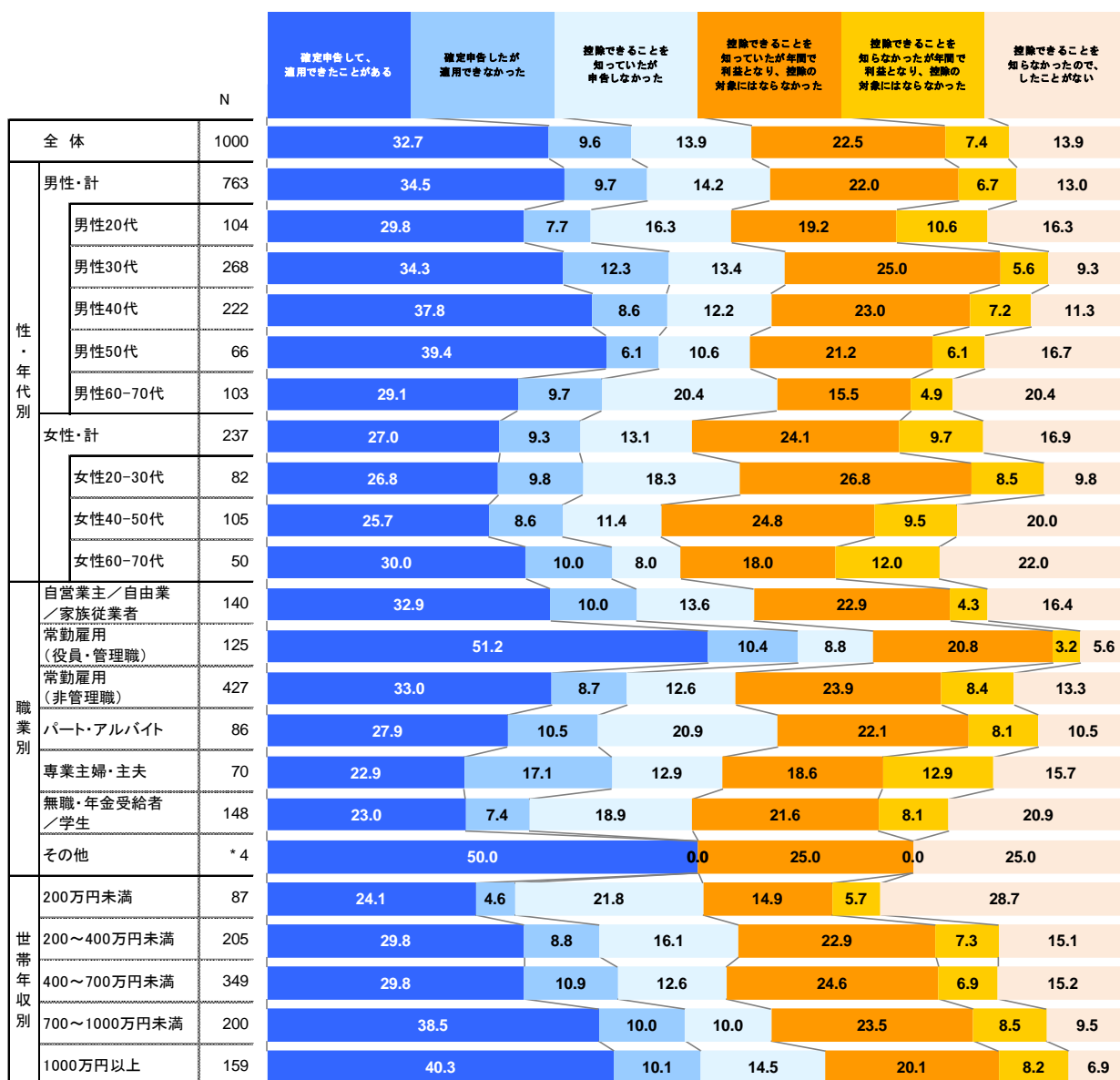
世帯年収別では、年収が高い層ほど控除経験者が多くなっている。

Q16 FXによる損失に関する過去の控除経験

外国為替証拠金取引(FX)による所得における税金の計算において外国為替証拠金取引(FX)による損失

（差金決済等に係る損失）は、翌年以降3年間の繰越控除（下記※を参照のこと）ができますが、あなたは過去に控除したことがありますか。（1つだけ）

※法令等において、外国為替証拠金取引(FX)の差金等決済に係る損失は、翌年以降3年間にわたり繰り越し、繰り越された年分の先物に係る雑所得等の金額を限度に一定の方法で差し引くことができます。（2018年1月現在）



* 件数が30未満のため参考

Q17 新規建玉の平均的な保有期間について

新規建玉の平均的な保有期間については、「1日以上～1週間未満」が21.3%と最も高く、次いで「1週間以上～1か月未満」(16.1%)、「1時間以上～1日未満」(16.0%)がほぼ同程度となった。

性・年代別にみると、『1か月以上』保有している層の比率は、女性(3割半ば)で男性(3割弱)より高く、男女とも高齢層になるほど長期保有層の比率が高くなっている。

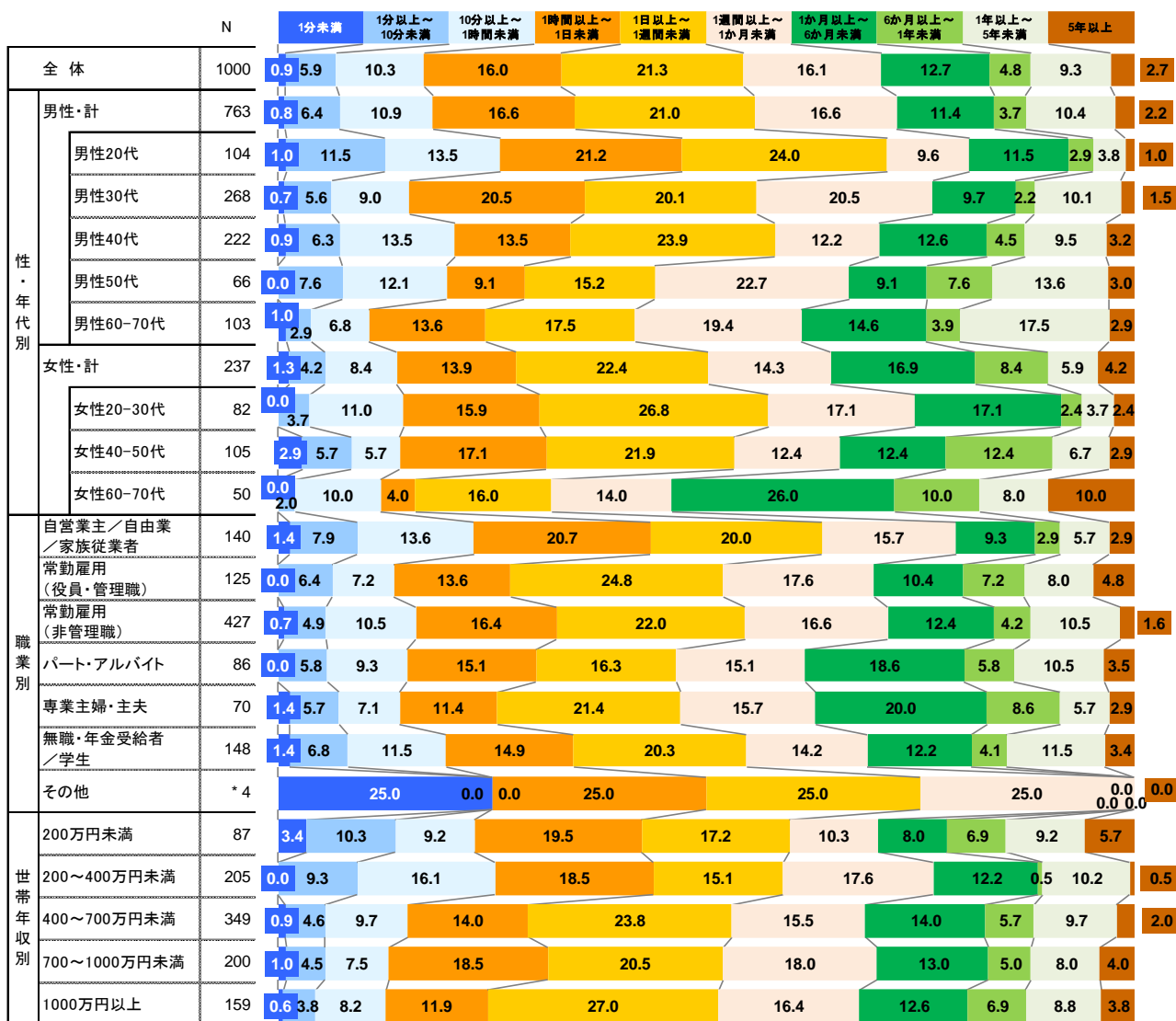
職業別にみると、『1日未満』の短期保有層の比率は「自営業主/自由業/家族従業者」で4割以上と高い。

世帯年収別では、『1日未満』の短期保有層の比率は年収400万円未満の低所得層で4割以上と高い。

Q17 新規建玉の平均的な保有期間

あなたの外国為替証拠金取引(FX)における新規建玉(新規ポジション)の平均的な保有期間をお答えください。

(現在取引していない方は、過去に取引していたときの平均的な期間で結構です)(1つだけ)



* 件数が30未満のため参考

(%)

Q18 FXで取引している外国通貨について

FXで取引している通貨をみると、「米ドル」が85.0%と最も高くなっている。次いで「豪ドル、ニュージーランドドル」(43.7%)、「ユーロ」(40.8%)が4割台、「英ポンド」(26.9%)、「南アフリカランド、トルコリラ、メキシコペソ、ブラジルリアル」(26.2%)が2割半ば等となった。

性・年代別にみると、男性は女性に比べて複数の通貨で比率が高い。また、「豪ドル、ニュージーランドドル」は男性50代(60.6%)や女性40-50代(50.5%)で、「ユーロ」は男性20代(49.0%)や40代(47.3%)で、「英ポンド」は男性20代(39.4%)で、それぞれ高い。

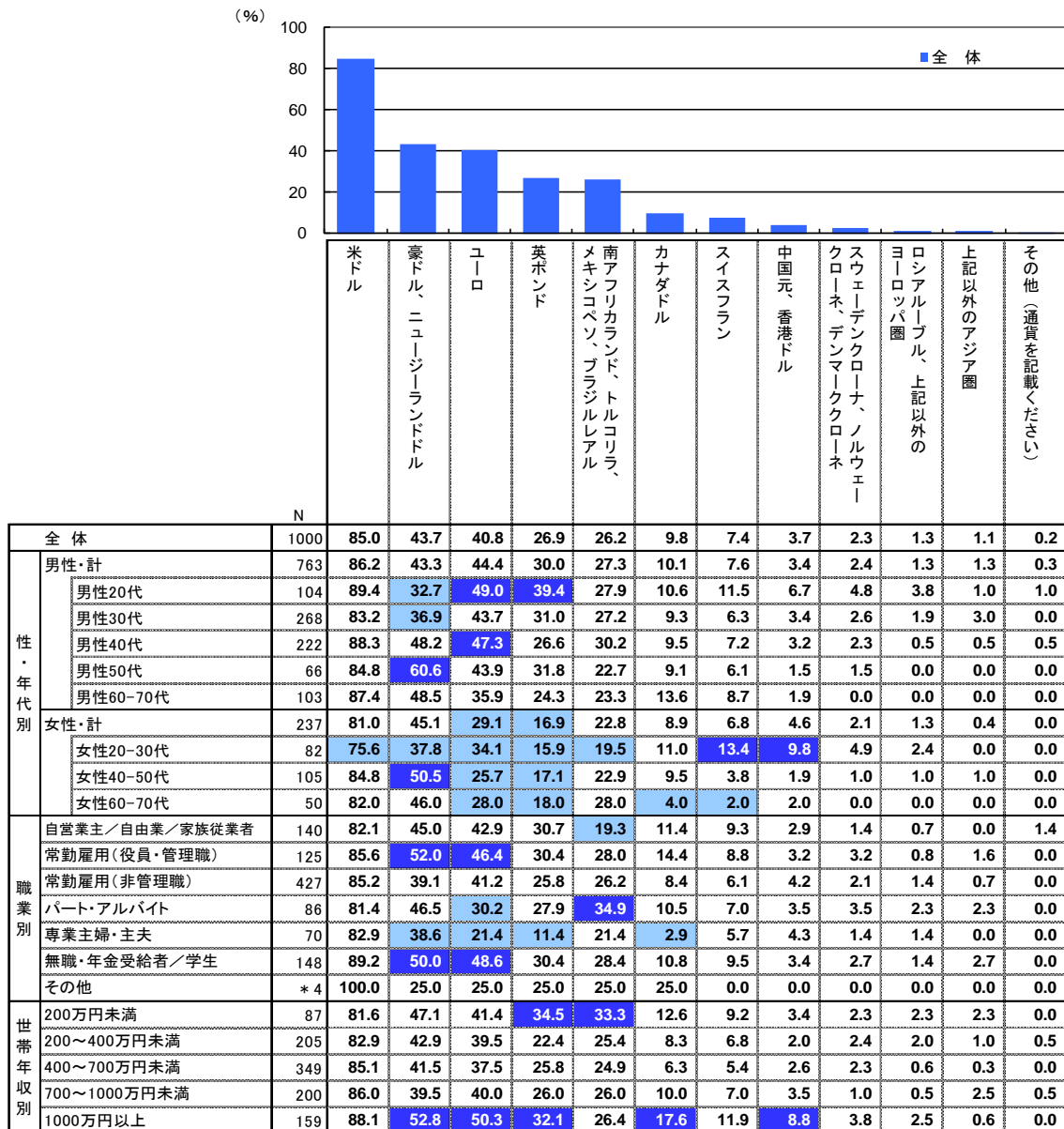
職業別にみると、「豪ドル、ニュージーランドドル」「ユーロ」は常勤雇用(役員・管理職)(順に52.0%、46.4%)や無職・年金受給者/学生(順に50.0%、48.6%)で他より高くなっている。

世帯年収別にみると、1000万円以上の層では「豪ドル、ニュージーランドドル」(52.8%)「ユーロ」(50.3%)をはじめ、複数の通貨で他より高くなっている。

Q18 FXで取引している外国通貨

あなたが取引している外国為替証拠金取引(FX)はどのような外国通貨の取引であるかお答えください。

(現在取引していない方は、過去に取引していた通貨で結構です) (いくつでも)



* 件数が30未満のため参考

(%)

■ 全体と比べ5ポイント以上高い
■ 全体と比べ5ポイント以上低い

Q19 新規取引1回あたりの平均的な取引金額について

FXの新規取引1回あたりの平均的な取引金額については、「10万円未満」が42.8%と最も高く、次いで「10万円以上～50万円未満」が23.1%。一方『100万円以上』の高取引金額層は24.2%。

性・年代別にみると、「10万円未満」は女性（49.8%）で男性（40.6%）より高い。女性の中では、60-70代では「10万円未満」が36.0%と低い。

職業別にみると、常勤雇用（役員・管理職）では「10万円未満」が24.8%と低く、『100万円以上』計が39.2%と高い。一方、パート・アルバイトは「10万円未満」が53.5%と高い。

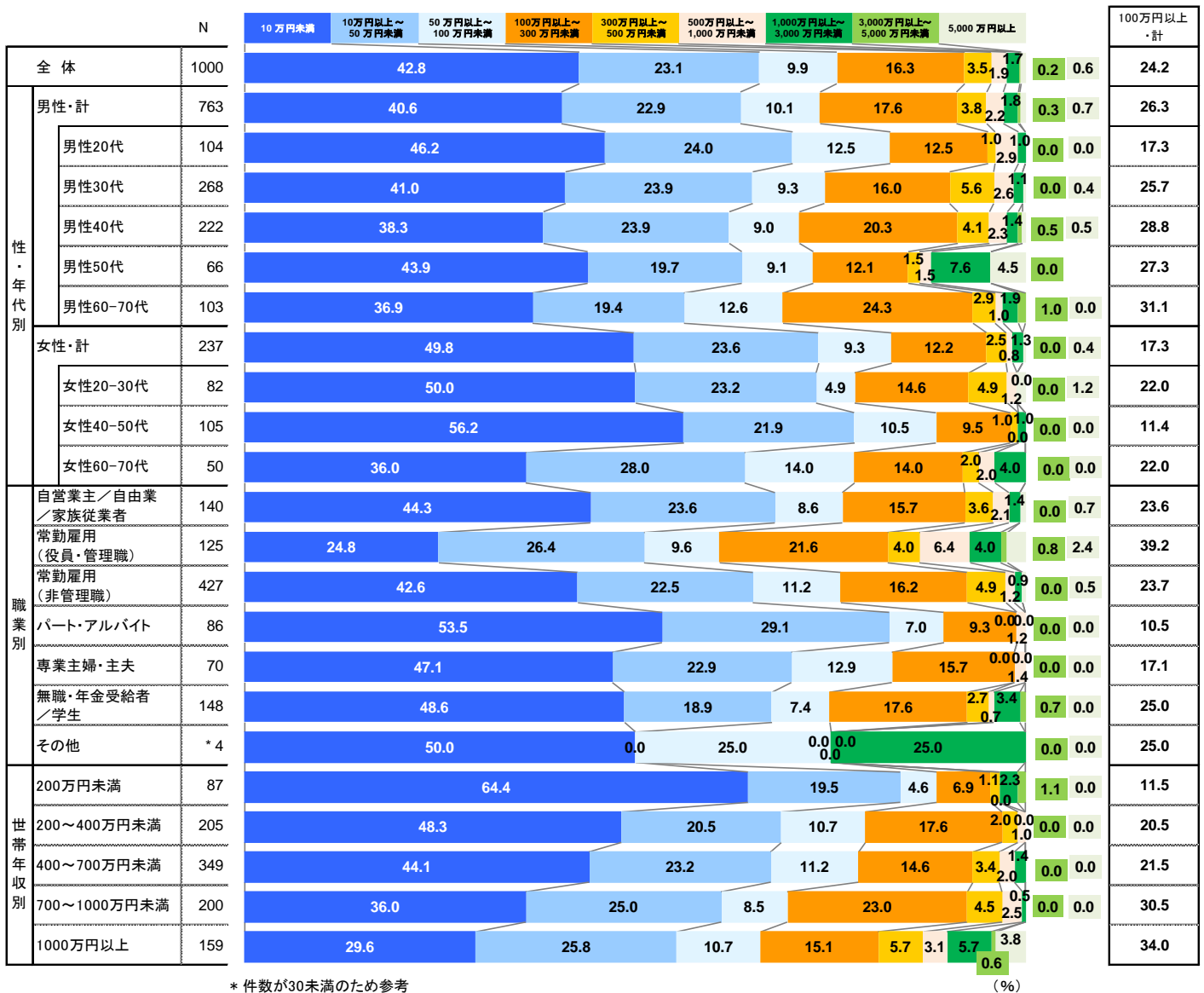
世帯年収別にみると、収入が高くなるとともに、取引金額も高くなっている。

Q19 新規取引1回あたりの平均的な取引金額

あなたの行う外国為替証拠金取引(FX)について、**新規取引1回あたりの平均的な取引金額**を教えてください。

（現在取引していない方は、過去に取引していたときの平均的な金額で結構です）（1つだけ）

※例えば、米ドル/円の通貨ペアで 外国為替レートが1ドル=110円のとき、新規に1万米ドルの買建（売建）をした場合、この取引金額は110万円とお考えください。



* 件数が30未満のため参考

(%)

Q20 FX取引の際の証拠金倍率（実効倍率）について

FX取引の際の証拠金倍率については、「1倍以上～5倍未満」が31.4%、「5倍以上～10倍未満」が23.8%で、『1倍以上～10倍未満』までで過半数を占める。

性・年代別にみると、女性は男性に比べて「1倍以上～5倍未満」（男性：28.0%、女性：42.2%）の比率が高く、男性では「5倍以上～10倍未満」が女性より高くなっており（男性：25.2%、女性：19.4%）、男性のほうが高い倍率で取引を行っている傾向である。特に女性40代以上は低い倍率で取引している人が多く、『～5倍未満』で過半数を占めている。

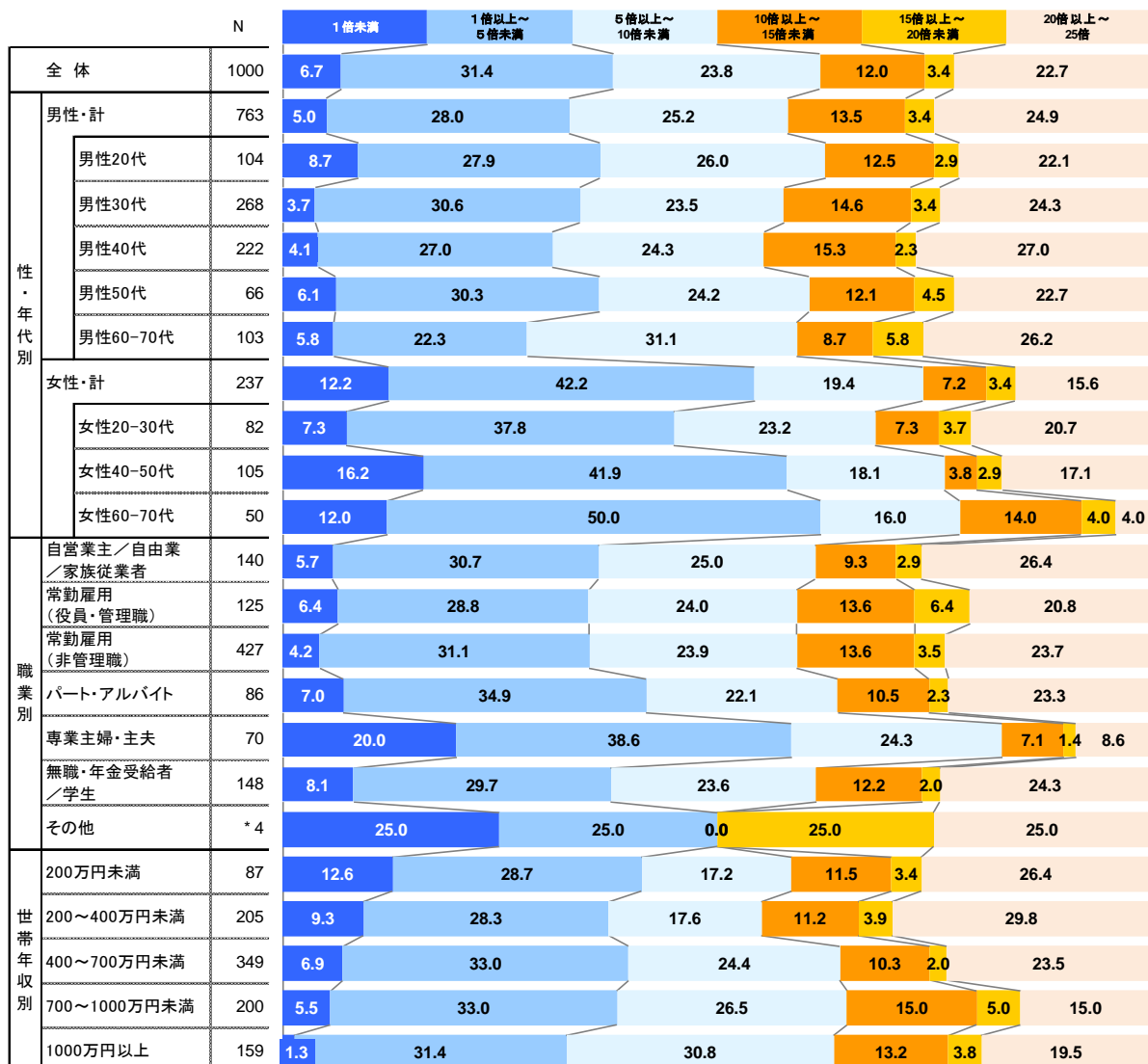
職業別にみると、専業主婦・主夫は他に比べ低い倍率で取引している傾向がみられる。

世帯年収別では、収入が低い層ほど「1倍未満」の比率が高い。

Q20 FX取引の際の証拠金倍率（実効倍率）

あなたが行う外国為替証拠金取引(FX)は、どのくらいの証拠金倍率で取引をしていますか。実効倍率でお答えください。（建玉の評価損益は含みません）（現在取引していない方は、過去に取引していたときの平均的な倍率で結構です）（1つだけ）

※実効倍率とは 実際にあなたが取引を行っているときの証拠金倍率のことで、取引額÷証拠金（自分の外国為替証拠金取引(FX)口座にある資産）にて計算した値をいいます。例えば、1米ドルが100円の時、100万円の証拠金が口座にあり、米ドル/円の通貨ペアを取引して10万米ドルの建玉を保有している場合、実行倍率は10倍となります。（10万米ドル×100円÷100万円→10倍）。



* 件数が30未満のため参考

Q21 FXの年間取引回数について

FXの年間取引回数については、「1回以上～10回未満」が18.5%、「100回以上～500回未満」が17.8%等、ほとんどの選択肢が1割強ずつとなり、分散している。合わせてみると『20回以上』計で57.4%である。

性・年代別にみると、『20回以上』計は、男性で60.7%であるのに対し、女性は46.8%であり、男性のほうが取引回数が多い。特に男性40代は『20回以上』計が66.2%と高い。

職業別にみると、無職・年金受給者／学生では『20回以上』計が68.9%と高い。

世帯年収別には、特徴的な傾向がみられない。

Q21 FXの年間取引回数

あなたは、外国為替証拠金取引(FX)について、**年間でどのくらいの回数の取引**を行いますか。(1つだけ)

※新規・決済のいずれの取引もそれぞれ1回と数えます。

※(強制)ロスカット取引によるものは除きます。

※現在取引していない方は、過去に取引していたときの平均的な回数で結構です。

※ここでいう(強制)ロスカット取引とは、顧客が行った取引を決済した場合に顧客に生ずることとなる損失の額が、当該顧客との間であらかじめ約した計算方法により算出される額に達する場合に行うこととする取引の決済をいいます。

(つまり、顧客の損失が顧客と予め約した水準に達した場合、顧客の建玉を強制的に決済(取引)をすることをいいます。)

N		1回未満 (何年かに1回程度)	1回以上～ 10回未満	10回以上～ 20回未満	20回以上～ 50回未満	50回以上～ 100回未満	100回以上～ 500回未満	500回以上	20回以上 -計	
全体	1000	7.0	18.5	17.1	15.1	12.2	17.8	12.3	57.4	
性・年代別	男性・計	6.2	17.3	15.9	15.7	12.7	19.1	13.1	60.7	
	男性20代	7.7	17.3	13.5	20.2	10.6	18.3	12.5	61.5	
	男性30代	6.3	15.7	20.1	11.2	11.6	23.1	11.9	57.8	
	男性40代	5.9	14.9	13.1	19.4	14.0	16.2	16.7	66.2	
	男性50代	4.5	25.8	12.1	15.2	12.1	15.2	15.2	57.6	
	男性60-70代	5.8	21.4	15.5	15.5	15.5	18.4	7.8	57.3	
	女性・計	237	9.7	22.4	21.1	13.1	10.5	13.5	9.7	46.8
	女性20-30代	3.7	15.9	30.5	14.6	8.5	14.6	12.2	50.0	
女性40-50代	10.5	30.5	12.4	12.4	12.4	11.4	10.5	46.7		
女性60-70代	18.0	16.0	24.0	12.0	10.0	16.0	4.0	42.0		
職業別	自営業主／自由業 ／家族従業者	7.1	18.6	11.4	12.1	13.6	19.3	17.9	62.9	
	常勤雇用 (役員・管理職)	4.8	21.6	21.6	24.0	8.8	7.2	12.0	52.0	
	常勤雇用 (非管理職)	6.8	17.6	18.7	13.6	11.5	21.5	10.3	56.9	
	パート・アルバイト	4.7	32.6	18.6	8.1	16.3	8.1	11.6	44.2	
	専業主婦・主夫	12.9	17.1	21.4	22.9	8.6	12.9	4.3	48.6	
	無職・年金受給者 ／学生	8.1	11.5	11.5	14.9	14.9	22.3	16.9	68.9	
	その他	* 4	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	25.0	25.0	100.0
世帯 年 収 別	200万円未満	10.3	21.8	8.0	12.6	10.3	17.2	19.5	59.8	
	200～400万円未満	5.4	13.7	17.6	14.1	14.6	19.0	15.6	63.4	
	400～700万円未満	7.2	20.1	18.1	12.6	12.3	20.3	9.5	54.7	
	700～1000万円未満	8.0	20.0	17.0	17.5	13.0	14.5	10.0	55.0	
	1000万円以上	5.7	17.6	19.5	20.1	8.8	15.1	13.2	57.2	

* 件数が30未満のため参考

Q22 年間のロスカット取引回数について

年間のロスカット取引回数は、「1回未満（何年かに1回程度）」が52.4%と過半数を占め、『1回以上』計（47.6%）を上回る。

性・年代別にみると、『1回以上』計は男性で50.3%、女性で38.8%と、男性のほうが高い。特に女性40代以上は、『1回以上』計が3割台と低い。

職業別にみると、専業主婦・主夫では『1回以上』計が37.1%と低い。

世帯年収別にみると、1000万円以上では『1回以上』計が54.1%と高い。

Q22 年間のロスカット取引回数

あなたが行った外国為替証拠金取引(FX)において年間でどのくらいの回数の（強制）ロスカット取引がなされましたか。

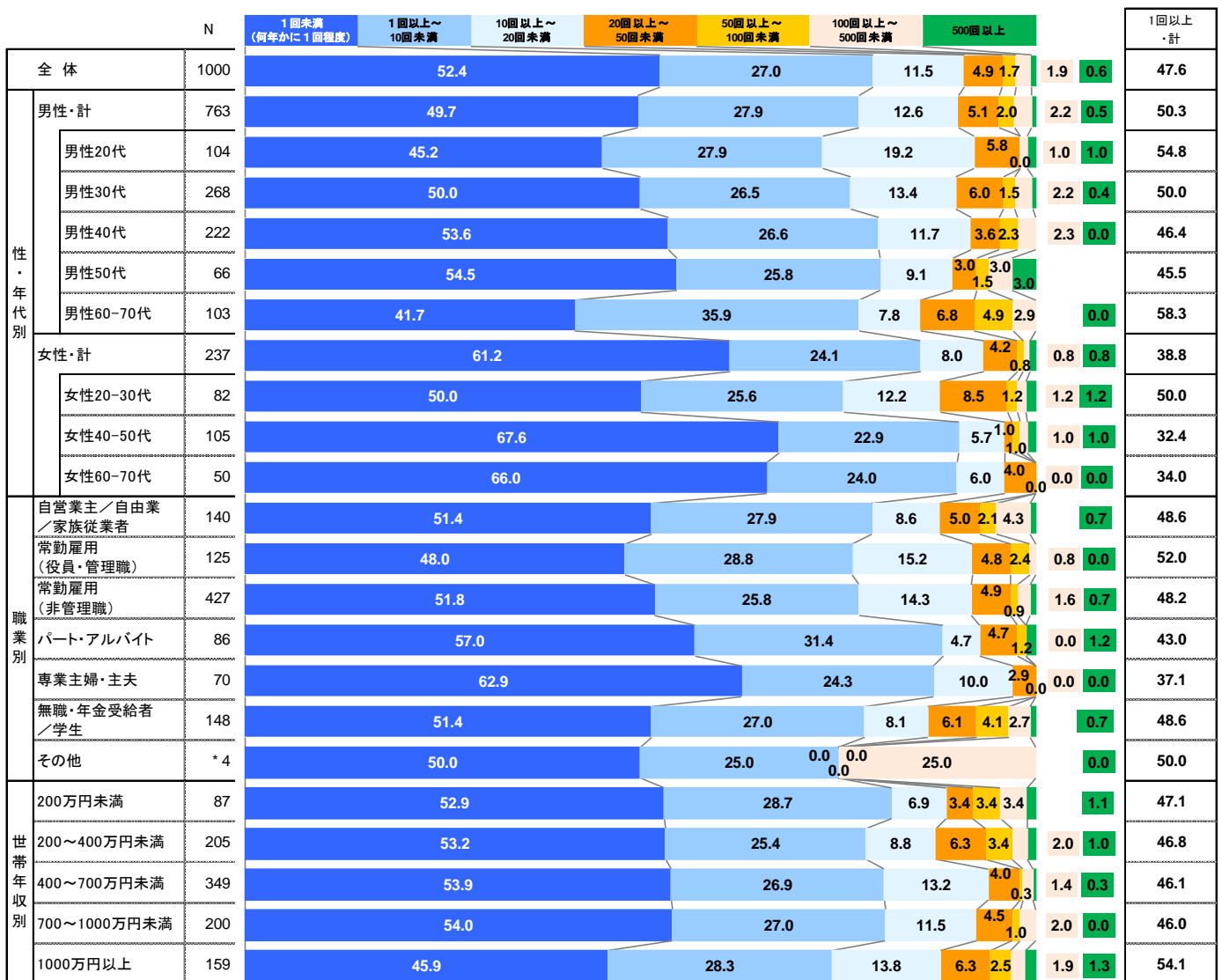
（1つだけ）

※同一時点（の判定）で行われた（強制）ロスカット取引は1回として数えます。

※現在取引していない方は、過去に取引していたときの回数で結構です。

※ここでいう（強制）ロスカット取引とは、顧客が行った取引を決済した場合に顧客に生ずることとなる損失の額が、当該顧客との間であらかじめ約した計算方法により算出される額に達する場合に行うこととする取引の決済をいいます。

（つまり、顧客の損失が顧客と予め約した水準に達した場合、顧客の建玉を強制的に決済（取引）をすることをいいます。）



* 件数が30未満のため参考

(%)

Q23 FX取引時に損失を出した理由について

FX取引時に損失を出した理由としては、「損切りができなかったから」が56.5%で最も高い。次いで「根拠の薄い取引をしてしまったから」(37.7%)、「損切りのタイミングが早すぎたから」(28.5%)等と続く。

性・年代別にみると、「根拠の薄い取引をしてしまった」は男性(41.0%)で女性(27.0%)より高く、特に男性20-30代で高くなっている。

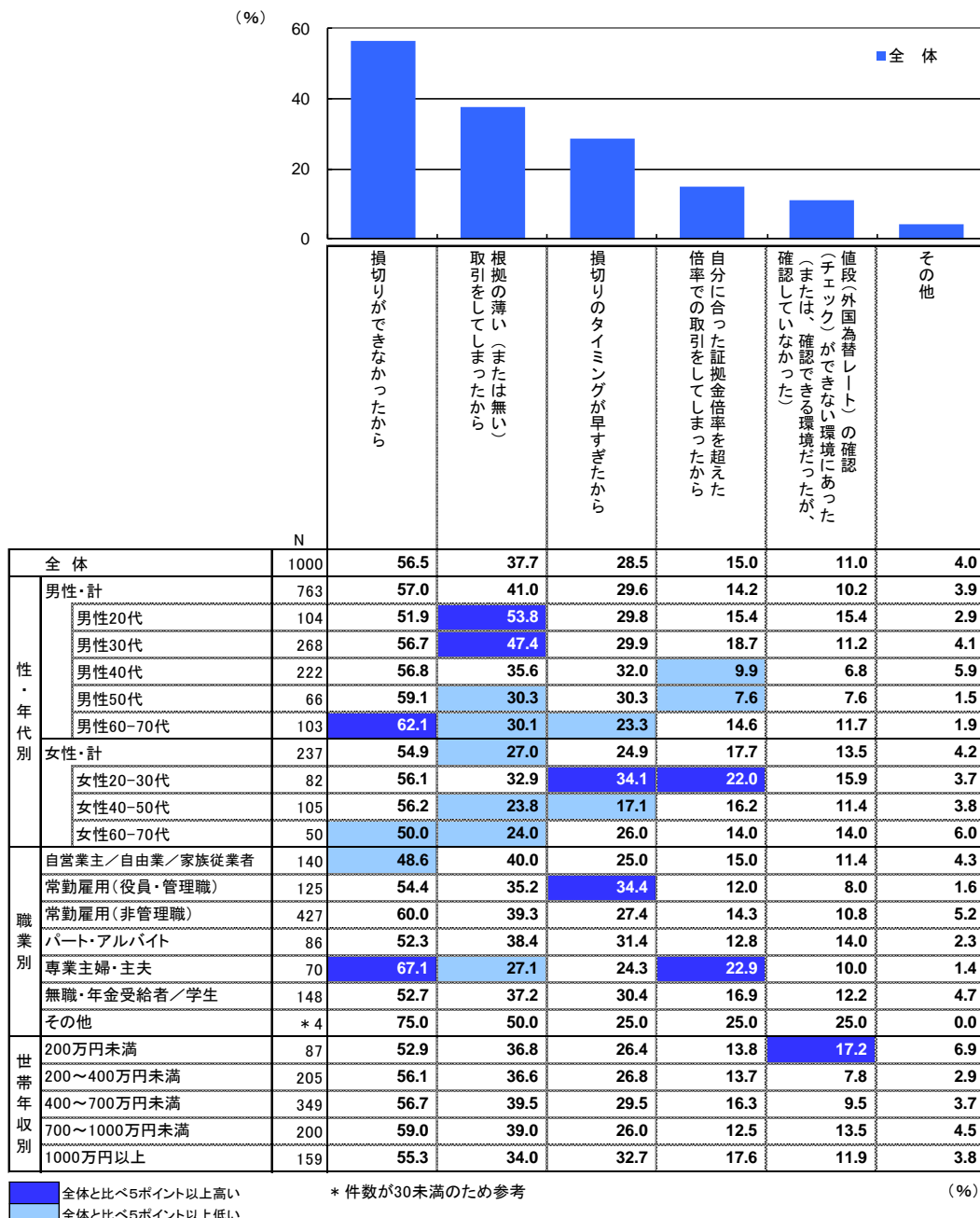
職業別にみると、「損切りができなかった」は専業主婦・主夫(67.1%)で他より高く、「損切りのタイミングが早すぎた」は常勤雇用(役員・管理職)(34.4%)で最も高い。

世帯年収別には、特徴的な傾向はみられない。

Q23 FX取引時に損失を出した理由

あなたが外国為替証拠金取引(FX)した際に、**損失を出した原因**はどのような理由であると考えますか。

(外国為替証拠金取引(FX)にて損失を出したことがない方は、もし損失を出してしまったとしたら、原因はどのような理由であるかと考えてお答えください) (いくつでも)



Q24 証拠金を預け入れた資産以上に損失を被った経験について

業者に預け入れた資産以上に損失を被った経験とその理由については、「(損失を被ったことは) ない」が75.4%と多数を占めている。その他、「ある/取引のリスク及びリターンに対する認識を失っていた」(13.3%)、「ある/取引のリスク及びリターンに対する認識が甘かった」(9.0%)が1割前後。

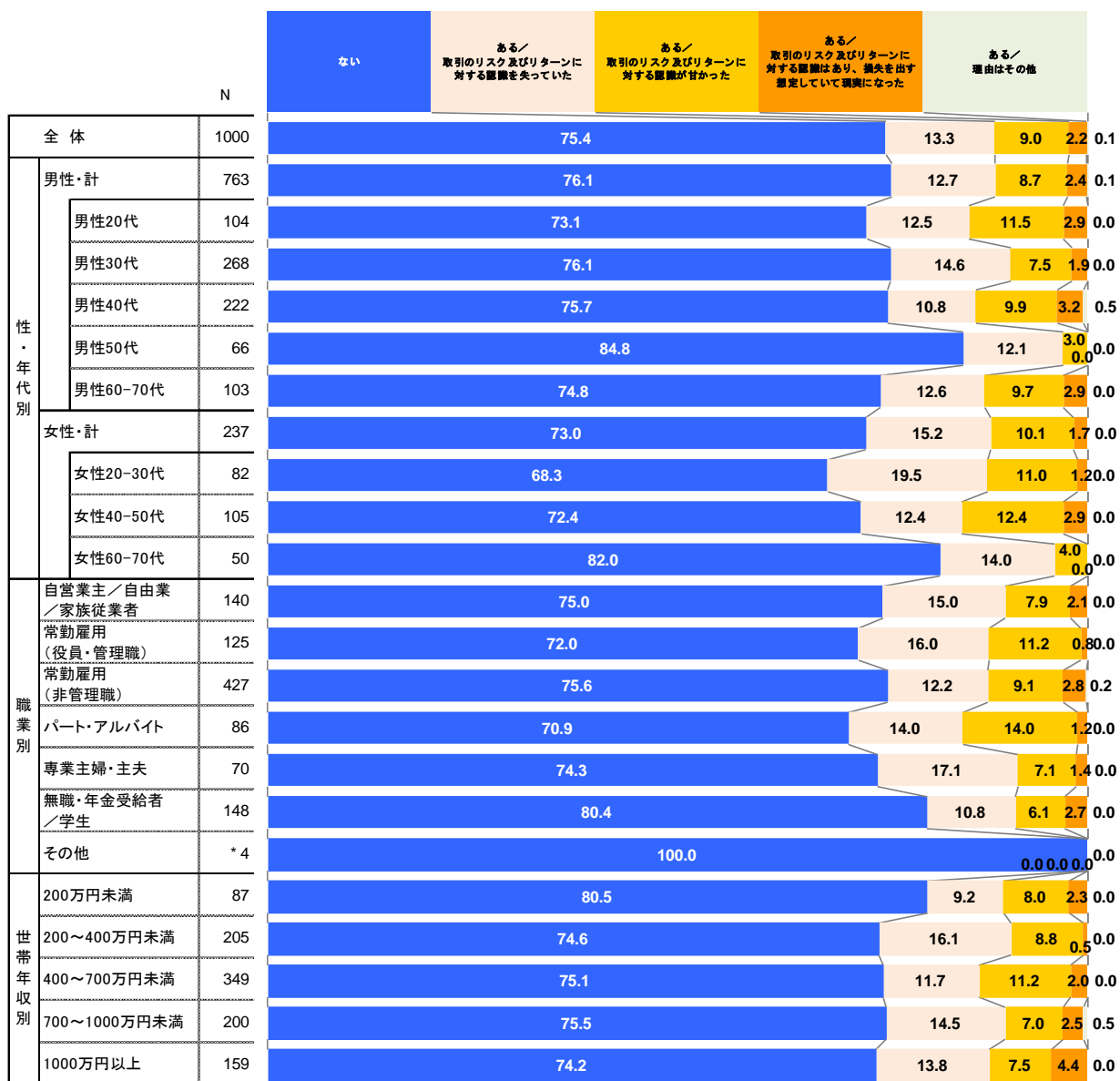
性・年代別にみると、「ない」は男女で差はないが、男性の中では50代が84.8%と高く、女性は高齢になるほど「ない」が高くなっている。

職業別にみると、「ない」は無職・年金受給者/学生で80.4%と高い。

世帯年収別にみると「ない」は200万円未満で80.5%と高い。

Q24 証拠金を預け入れた資産以上に損失を被った経験

過去に外国為替証拠金取引(FX)した際に、**証拠金として業者に預け入れた資産以上に損失を被った(損失となった)**ことがありますか。ある場合、どのような理由が原因であったと考えますか。複数理由がある方は、主なものを1つ、お知らせください。(1つだけ)



* 件数が30未満のため参考

(%)

Q25 FXで利益を出す手法を会得しているかという点について

FXで利益を出す手法を会得しているかについては、「はい（会得している）」が40.0%、「いいえ（会得していない）」が60.0%であった。

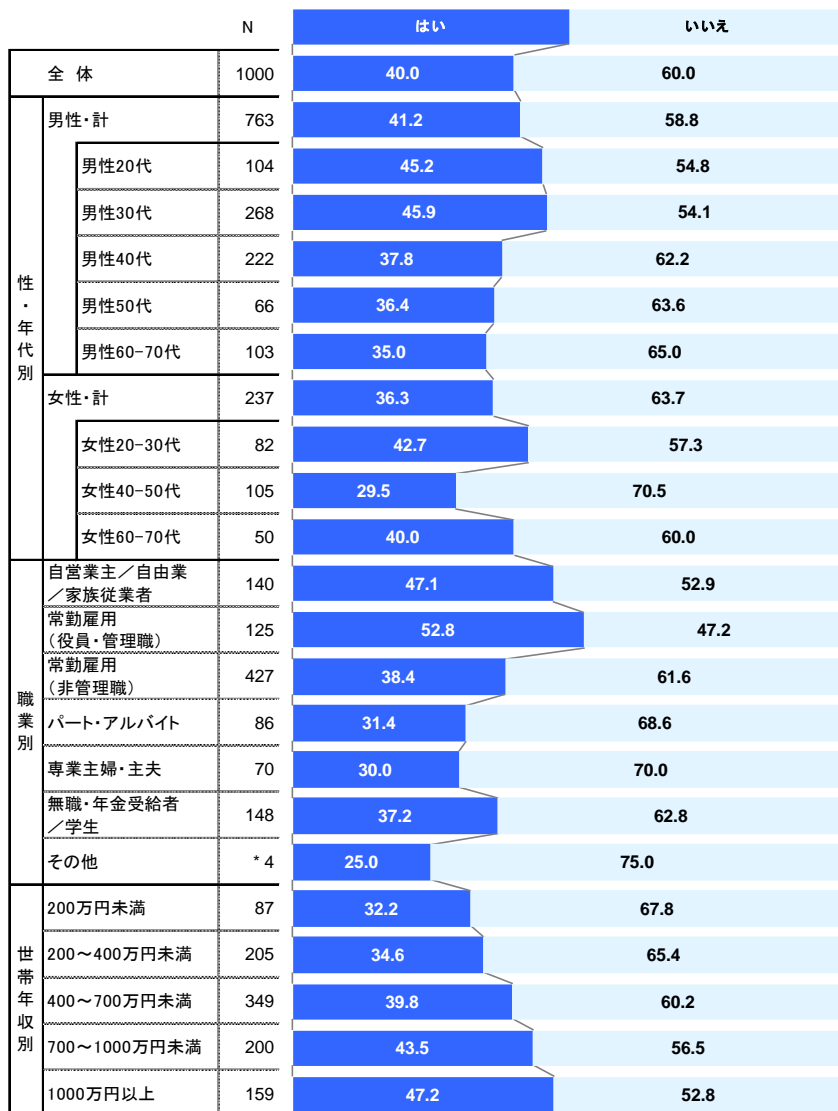
性・年代別にみると、「はい」は男性（41.2%）で女性（36.3%）より高く、男性は20代（45.2%）と30代（45.9%）、女性は20-30代（42.7%）と60-70代（40.0%）で高い。

職業別では、「はい」は常勤雇用（役員・管理職）で52.8%と高い。

世帯年収別にみると、年収が高いほど、「はい」の比率も高くなっている。

Q25 FXで利益を出す手法を会得しているか

あなたは外国為替証拠金取引(FX)に関し、**平均的に利益を出す**（時には損失を出すこともあるが、総じて利益を出す）**ことができる投資手法**を会得していますか。（1つだけ）



* 件数が30未満のため参考

(%)

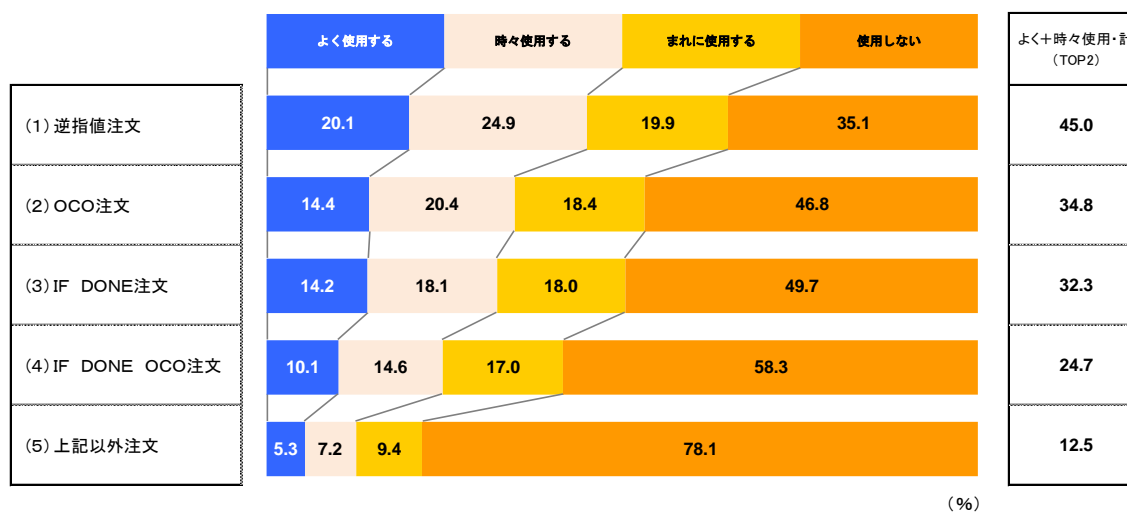
Q26 指値注文以外の注文方法使用程度について

FXを行う際に、指値注文以外の以下4つの注文（およびその他）についての、使用状況をみていく。

「よく使用する」+「時々使用する」（『よく+時々使用する』計）でみると、逆指値注文が45.0%と最も使用程度が高く、次いで「OCO注文」（34.8%）、「IF DONE注文」（32.3%）が同程度、「IF DONE OCO注文」が24.7%、「その他の注文」が12.5%であった。

Q26 指値注文以外の注文方法使用程度

あなたが外国為替証拠金取引(FX)を行う際に、指値（及び成行）注文以外に、以下に示した注文方法をそれぞれの程度使用しますか。（それぞれ1つずつ）



Q26 指値注文以外の注文方法使用程度 (1) 逆指値注文 について

逆指値注文について性・年代別にみると、『よく+時々使用する』計は男性(48.9%)で女性(32.5%)より高く、男性では若年層ほどほぼ高い。女性は、20-30代で45.1%と高く、40代以上になると約20ポイント低くなっている。

職業別でみると、『よく+時々使用する』計は、自営業主/自由業/家族従業者(50.7%)および常勤雇用(役員・管理職:51.2%、非管理職:47.3%)は5割前後と高く、専業主婦・主夫は30.0%で最も低い。

世帯年収別では、特徴的な差がみられない。

Q26 指値注文以外の注文方法使用程度 (1) 逆指値注文

あなたが外国為替証拠金取引(FX)を行う際に、指値(及び成行)注文以外に、以下に示した注文方法をそれぞれの程度使用しますか。(それぞれ1つずつ)

1.逆指値注文

		N	よく使用する	時々使用する	まれに使用する	使用しない	よく+時々使用・計(TOP2)
全体		1000	20.1	24.9	19.9	35.1	45.0
性・年代別	男性・計	763	22.1	26.7	20.2	30.9	48.9
	男性20代	104	28.8	28.8	15.4	26.9	57.7
	男性30代	268	24.6	28.4	20.1	26.9	53.0
	男性40代	222	22.1	25.7	17.6	34.7	47.7
	男性50代	66	19.7	30.3	25.8	24.2	50.0
	男性60-70代	103	10.7	20.4	27.2	41.7	31.1
	女性・計	237	13.5	19.0	19.0	48.5	32.5
	女性20-30代	82	22.0	23.2	15.9	39.0	45.1
女性40-50代	105	9.5	16.2	18.1	56.2	25.7	
女性60-70代	50	8.0	18.0	26.0	48.0	26.0	
職業別	自営業主/自由業/家族従業者	140	25.0	25.7	22.1	27.1	50.7
	常勤雇用(役員・管理職)	125	19.2	32.0	16.0	32.8	51.2
	常勤雇用(非管理職)	427	22.2	25.1	18.3	34.4	47.3
	パート・アルバイト	86	20.9	19.8	23.3	36.0	40.7
	専業主婦・主夫	70	10.0	20.0	15.7	54.3	30.0
	無職・年金受給者/学生	148	14.9	23.0	25.7	36.5	37.8
	その他	*4	0.0	25.0	25.0	50.0	25.0
世帯年収別	200万円未満	87	23.0	20.7	23.0	33.3	43.7
	200~400万円未満	205	21.0	21.0	25.9	32.2	42.0
	400~700万円未満	349	20.3	26.6	17.2	35.8	47.0
	700~1000万円未満	200	16.0	25.5	19.5	39.0	41.5
	1000万円以上	159	22.0	27.7	17.0	33.3	49.7

* 件数が30未満のため参考

(%)

Q26 指値注文以外の注文方法使用程度 (2) OCO注文 について

OCO注文について性・年代別にみると、『よく+時々使用する』計は男性(37.7%)で女性(25.3%)より高く、逆指値注文と同様の傾向。男性では20代が46.2%で最も高く、60-70代では27.2%と低い。女性も、20-30代(35.4%)で3割半ばと高く、40代以上になると2割前後になり、低くなる。

職業別では、『よく+時々使用する』計は常勤雇用(役員・管理職)が45.6%で最も高く、次いで自営業主/自由業/家族従業者が40.7%。パート・アルバイト(24.4%)、専業主婦・主夫(24.3%)は2割半ばと低い。

世帯年収別では、『よく+時々使用する』計は年収が高い層ほど高くなっている。

Q26 指値注文以外の注文方法使用程度 (2) OCO注文

あなたが外国為替証拠金取引(FX)を行う際に、指値(及び成行)注文以外に、以下に示した注文方法をそれぞれの程度使用しますか。(それぞれ1つずつ)

2.OCO(オーシーオー)注文

		N	よく使用する	時々使用する	まれに使用する	使用しない	よく+時々使用・計(TOP2)
全体		1000	14.4	20.4	18.4	46.8	34.8
性・年代別	男性・計	763	16.6	21.1	18.7	43.5	37.7
	男性20代	104	23.1	23.1	15.4	38.5	46.2
	男性30代	268	17.9	19.8	20.9	41.4	37.7
	男性40代	222	14.4	24.3	16.7	44.6	38.7
	男性50代	66	18.2	19.7	22.7	39.4	37.9
	男性60-70代	103	10.7	16.5	18.4	54.4	27.2
	女性・計	237	7.2	18.1	17.3	57.4	25.3
	女性20-30代	82	11.0	24.4	15.9	48.8	35.4
女性40-50代	105	4.8	16.2	18.1	61.0	21.0	
女性60-70代	50	6.0	12.0	18.0	64.0	18.0	
職業別	自営業主/自由業/家族従業者	140	16.4	24.3	17.9	41.4	40.7
	常勤雇用(役員・管理職)	125	22.4	23.2	16.0	38.4	45.6
	常勤雇用(非管理職)	427	14.5	20.6	19.0	45.9	35.1
	パート・アルバイト	86	9.3	15.1	16.3	59.3	24.4
	専業主婦・主夫	70	5.7	18.6	17.1	58.6	24.3
	無職・年金受給者/学生	148	12.8	17.6	21.6	48.0	30.4
	その他	*4	0.0	25.0	0.0	75.0	25.0
	世帯年収別	200万円未満	87	9.2	16.1	17.2	57.5
200~400万円未満		205	11.2	16.6	23.9	48.3	27.8
400~700万円未満		349	14.3	22.6	15.5	47.6	37.0
700~1000万円未満		200	13.5	22.5	18.0	46.0	36.0
1000万円以上		159	22.6	20.1	18.9	38.4	42.8

* 件数が30未満のため参考

(%)

Q26 指値注文以外の注文方法使用程度 (3) IF DONE 注文 について

IF DONE 注文について性・年代別にみると、『よく+時々使用する』計は、男性(33.3%)と女性(29.1%)の差があまりない。また、「使用しない」でみると、男性は60-70代が58.3%と高く、女性は40代以上で5割以上と高くなっている。

職業別にみると、『よく+時々使用する』計は、常勤雇用(役員・管理職)で41.6%と高く、次いで自営業主/自由業/家族従業者(37.1%)、常勤雇用(非管理職)(34.2%)の順に高い。無職・年金受給者/学生(22.3%)、パート・アルバイト(23.3%)は、2割強で低い。

世帯年収別では、年収が高い層ほど『よく+時々使用する』計の比率がほぼ高くなっており、1000万円以上では46.5%と特に高い。

Q26 指値注文以外の注文方法使用程度 (3) IF DONE 注文

あなたが外国為替証拠金取引(FX)を行う際に、指値(及び成行)注文以外に、以下に示した注文方法をそれぞれの程度使用しますか。(それぞれ1つずつ)

3. IF DONE (イフダン) 注文

		N	よく使用する	時々使用する	まれに使用する	使用しない	よく+時々使用・計 (TOP2)
全体		1000	14.2	18.1	18.0	49.7	32.3
性・年代別	男性・計	763	14.4	18.9	18.6	48.1	33.3
	男性20代	104	16.3	23.1	15.4	45.2	39.4
	男性30代	268	15.7	19.0	19.8	45.5	34.7
	男性40代	222	15.8	18.0	18.0	48.2	33.8
	男性50代	66	15.2	16.7	21.2	47.0	31.8
	男性60-70代	103	5.8	17.5	18.4	58.3	23.3
	女性・計	237	13.5	15.6	16.0	54.9	29.1
	女性20-30代	82	14.6	19.5	20.7	45.1	34.1
女性40-50代	105	11.4	12.4	14.3	61.9	23.8	
女性60-70代	50	16.0	16.0	12.0	56.0	32.0	
職業別	自営業主/自由業/家族従業者	140	14.3	22.9	24.3	38.6	37.1
	常勤雇用(役員・管理職)	125	18.4	23.2	19.2	39.2	41.6
	常勤雇用(非管理職)	427	15.2	19.0	16.4	49.4	34.2
	パート・アルバイト	86	15.1	8.1	15.1	61.6	23.3
	専業主婦・主夫	70	11.4	15.7	17.1	55.7	27.1
	無職・年金受給者/学生	148	8.8	13.5	18.2	59.5	22.3
	その他	* 4	0.0	25.0	0.0	75.0	25.0
世帯年収別	200万円未満	87	9.2	11.5	19.5	59.8	20.7
	200~400万円未満	205	11.2	14.1	20.0	54.6	25.4
	400~700万円未満	349	13.8	19.2	16.0	51.0	33.0
	700~1000万円未満	200	13.0	19.0	19.5	48.5	32.0
	1000万円以上	159	23.3	23.3	17.0	36.5	46.5

* 件数が30未満のため参考

(%)

Q26 指値注文以外の注文方法使用程度 (4) IF DONE OCO 注文 について

IF DONE OCO 注文について性・年代別にみると、『よく+時々使用する』計は男性 (27.7%) が女性 (15.2%) より高い。また、男性では若年層ほど高い比率となっている。「使用しない」でみると、男性は 50 代以上で 6 割強、女性は 40 代以上で 7 割以上と、若年層より高い。

職業別にみると、『よく+時々使用する』計は常勤雇用 (役員・管理職) で 32.8% と高く、次いで自営業主/自由業/家族従業者 (27.1%)、常勤雇用 (非管理職) (25.5%) が 2 割半ばで同水準。パート・アルバイト (17.4%)、専業主婦・主夫 (17.1%) は 1 割台で低い。

世帯年収別では、年収が高い層ほど『よく+時々使用する』の比率が高くなっている。

Q26 指値注文以外の注文方法使用程度 (4) IF DONE OCO 注文

あなたが外国為替証拠金取引(FX)を行う際に、指値 (及び成行) 注文以外に、以下に示した注文方法をそれぞれの程度使用しますか。(それぞれ 1 つずつ)

4. IF DONE OCO (イフダン オーシーオー) 注文

		N	よく使用する	時々使用する	まれに使用する	使用しない	よく+時々使用・計 (TOP2)
全体		1000	10.1	14.6	17.0	58.3	24.7
性・年代別	男性・計	763	11.4	16.3	17.2	55.2	27.7
	男性20代	104	20.2	18.3	9.6	51.9	38.5
	男性30代	268	10.8	17.9	20.5	50.7	28.7
	男性40代	222	9.9	14.9	18.9	56.3	24.8
	男性50代	66	10.6	13.6	13.6	62.1	24.2
	男性60-70代	103	7.8	14.6	14.6	63.1	22.3
	女性・計	237	5.9	9.3	16.5	68.4	15.2
	女性20-30代	82	9.8	17.1	23.2	50.0	26.8
女性40-50代	105	4.8	2.9	12.4	80.0	7.6	
女性60-70代	50	2.0	10.0	14.0	74.0	12.0	
職業別	自営業主/自由業/家族従業者	140	10.0	17.1	22.9	50.0	27.1
	常勤雇用 (役員・管理職)	125	11.2	21.6	17.6	49.6	32.8
	常勤雇用 (非管理職)	427	11.0	14.5	17.8	56.7	25.5
	パート・アルバイト	86	7.0	10.5	8.1	74.4	17.4
	専業主婦・主夫	70	5.7	11.4	12.9	70.0	17.1
	無職・年金受給者/学生	148	10.8	10.1	16.2	62.8	20.9
	その他	* 4	0.0	25.0	0.0	75.0	25.0
	200万円未満	87	10.3	9.2	12.6	67.8	19.5
200~400万円未満	205	10.2	10.2	18.5	61.0	20.5	
400~700万円未満	349	8.9	14.6	17.2	59.3	23.5	
700~1000万円未満	200	10.0	16.0	16.5	57.5	26.0	
1000万円以上	159	12.6	21.4	17.6	48.4	34.0	

* 件数が30未満のため参考

(%)

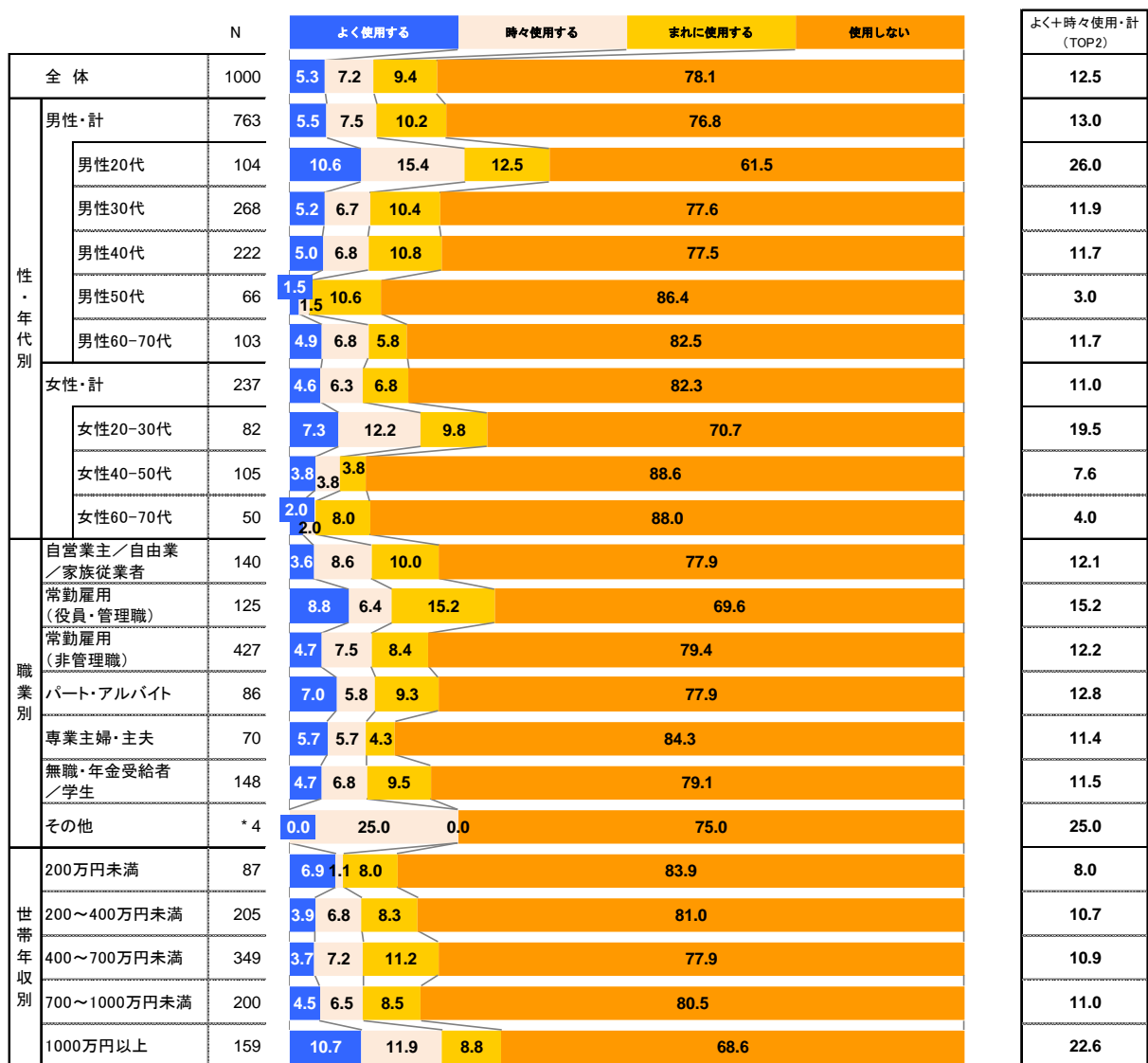
Q26 指値注文以外の注文方法使用程度 (5) その他の注文 について

その他の注文について性・年代別にみると、『よく+時々使用する』計は男女では差がないが、「使用しない」は女性(82.3%)の方が高い。また、男女ともに「使用しない」は高齢層で高くなっている。職業別にみると、「使用しない」は常勤雇用(役員・管理職)(69.6%)で低くなっている。世帯年収別では、『よく+時々使用する』計は1000万円以上(22.6%)のみ2割強と高い。

Q26 指値注文以外の注文方法使用程度 (5) その他の注文

あなたが外国為替証拠金取引(FX)を行う際に、指値(及び成行)注文以外に、以下に示した注文方法をそれぞれの程度使用しますか。(それぞれ1つずつ)

5.上記以外の特珠な(条件付き)注文



* 件数が30未満のため参考

(%)

2. 外国為替証拠金取引（FX）に関する情報収集・投資方針

Q27 FXに関する主な情報収集方法（性・年代別）について

FXに関する情報収集方法としては、「ウェブサイト」が62.9%で最も高い。次いで「金融商品・投資に関する書籍」(27.9%)、「マスメディア（テレビ・新聞等）」(13.4%)、「講演会・セミナーへの参加」(13.1%)等となっている。

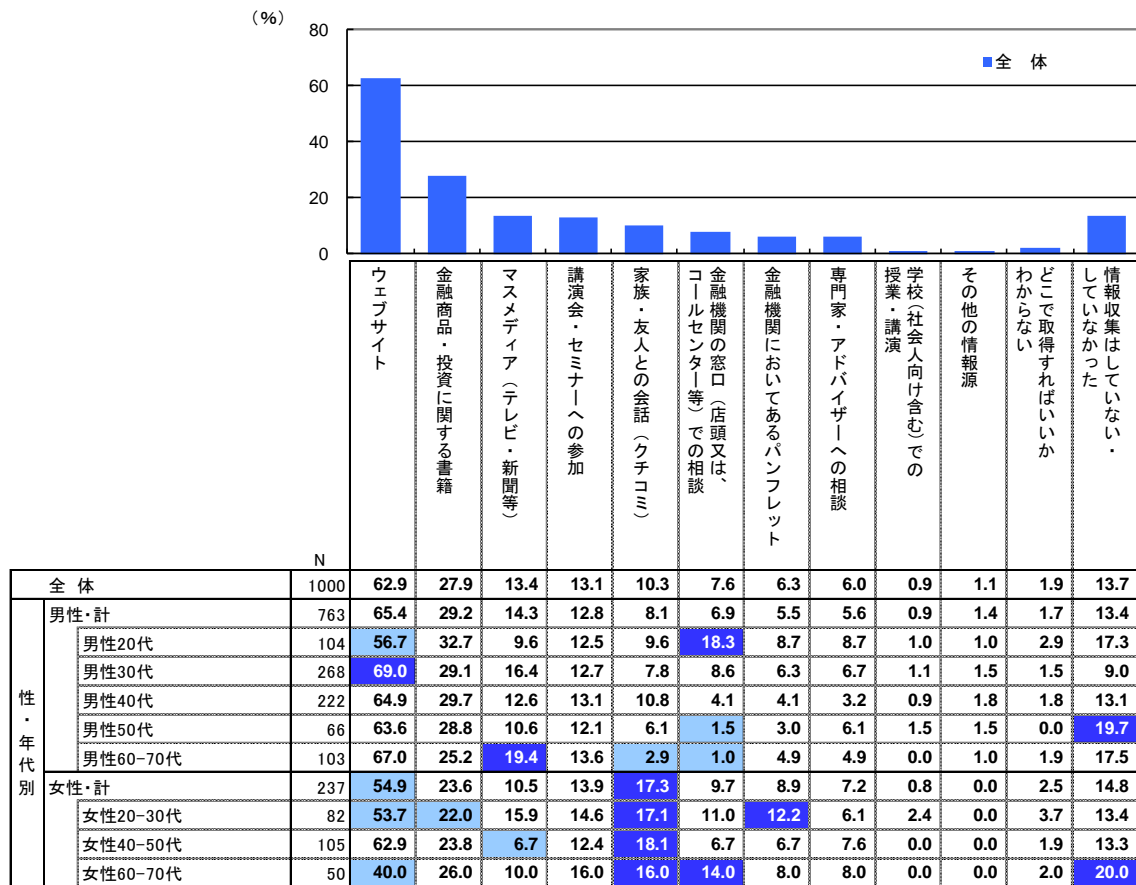
性・年代別にみると、「ウェブサイト」「金融商品・投資に関する書籍」は男性（順に65.4%、29.2%）で女性（順に54.9%、23.6%）より高く、特に「ウェブサイト」は10ポイント以上の差がある。一方、女性では「家族・友人との会話（クチコミ）」(17.3%)が男性（8.1%）より高い。

Q27 FXに関する主な情報収集方法（性・年代別）

あなたは、外国為替証拠金取引(FX)に関する情報（知識を含む）を主にどのように集めていますか。

(外国為替証拠金取引(FX)に関し、どのような情報を参考にしますか。)

(現在取引していない方は、過去に取引していたときの収集方法で結構です) (3つまで)



* 件数が30未満のため参考

(%)

■ 全体と比べ5ポイント以上高い
■ 全体と比べ5ポイント以上低い

Q27 FXに関する主な情報収集方法（職業/世帯年収別）について

職業別にみると、「ウェブサイト」は専業主婦・主夫（50.0%）で他に比べて低く、「家族・友人との会話（クチコミ）」は常勤雇用（役員・管理職）（17.6%）でやや高い、等の特徴がみられる。

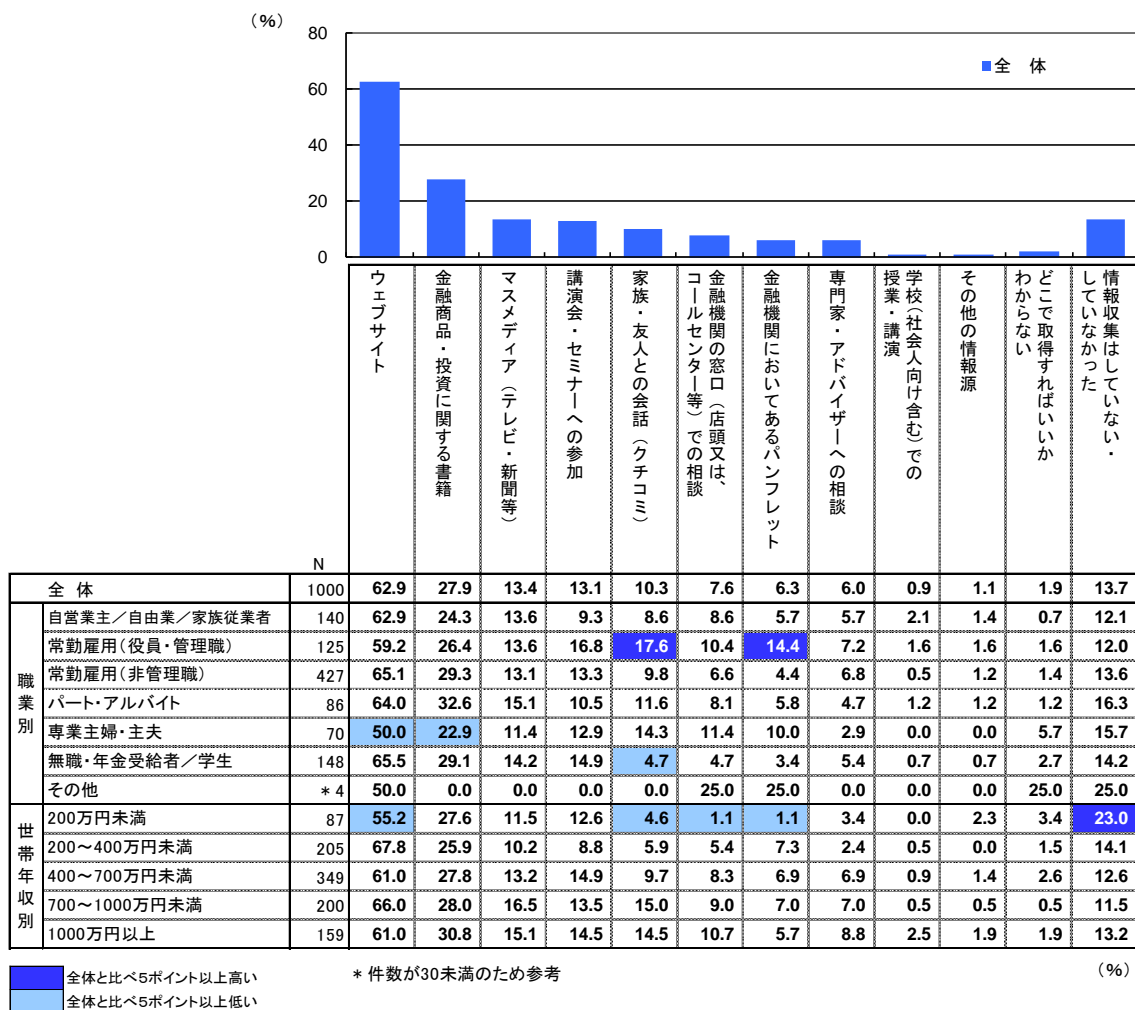
世帯年収別では、200万円未満で「情報収集はしていない・していなかった」が23.0%と高い。

Q27 FXに関する主な情報収集方法（職業/世帯年収別）

あなたは、外国為替証拠金取引(FX)に関する情報（知識を含む）を主にどのように集めていますか。

（外国為替証拠金取引(FX)に関し、どのような情報を参考にしますか。）

（現在取引していない方は、過去に取引していたときの収集方法で結構です）（3つまで）



Q28 FXの投資方針について

FXの投資方針については、「値幅による利益重視であり、短期間に決済する」が46.7%と最も高く、次いで「概ね長期保有だが、ある程度値幅による利益があれば決済する」が28.2%であった。

性・年代別にみると、「値幅による利益重視で短期間に決済」は男性（48.1%）で女性（42.2%）より高く、「概ね長期保有」は女性（33.3%）のほうが高い。女性では「概ね長期保有」は高齢になるほどわずかに高くなっている。

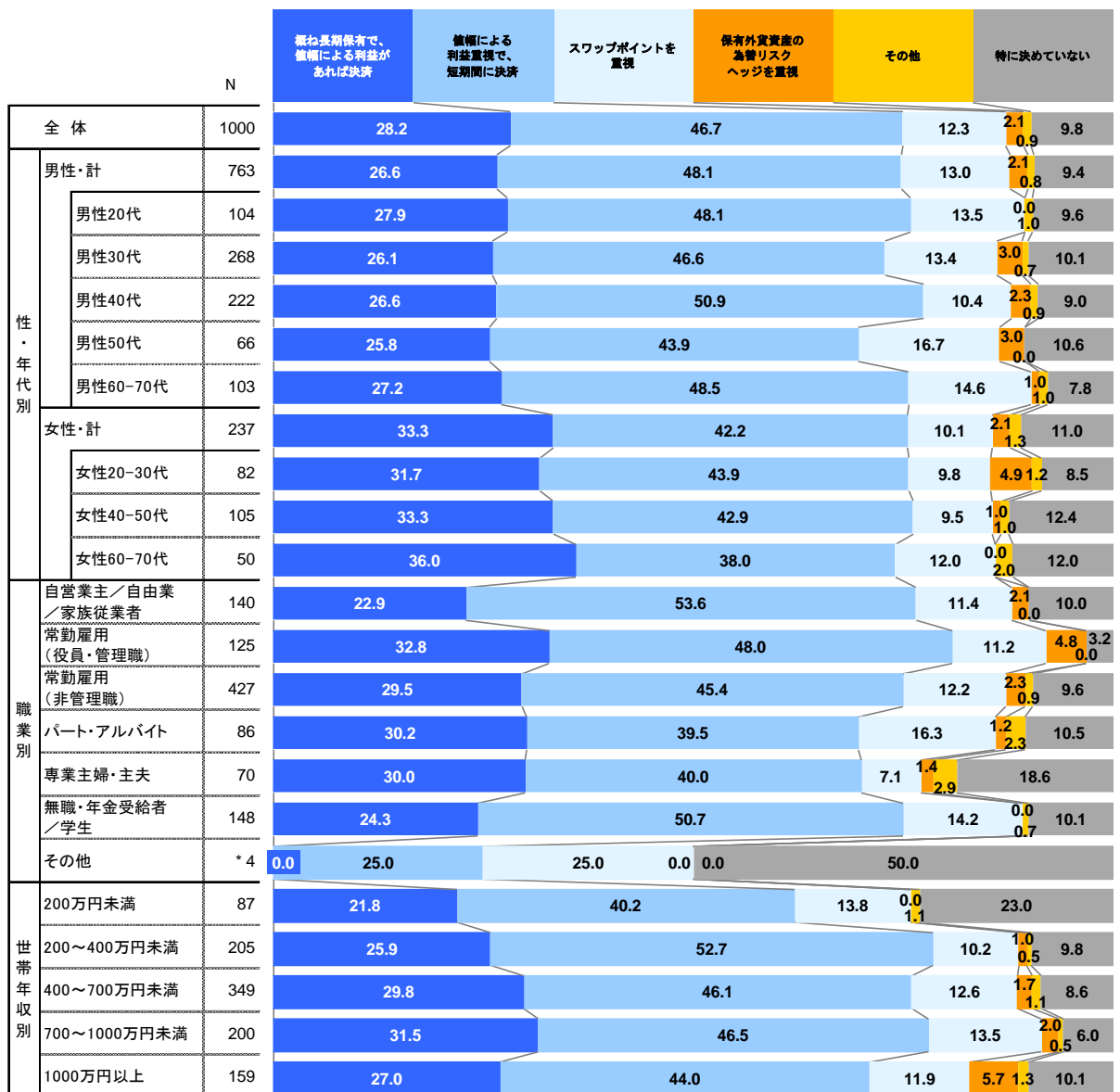
職業別にみると、「値幅による利益重視で、短期間決済」は自営業主／自由業／家族従業者（53.6%）が最も高く、「特に決めていない」は専業主婦・主夫（18.6%）が最も高い。

世帯年収別にみると「概ね長期保有」は200万円未満～1000万円未満までは、収入が高くなるほど高くなっている。また、「特に決めていない」は200万円未満（23.0%）で高い。

Q28 FXの投資方針

あなたが行う外国為替証拠金取引(FX)の投資方針について、最もあてはまるものを1つお知らせください。

（現在取引していない方は、過去に取引していたときの方針で結構です）（1つだけ）



* 件数が30未満のため参考

(%)

Q29 ファンダメンタル分析とテクニカル分析の重視程度について

ファンダメンタル分析とテクニカル分析の重視程度については、「ファンダメンタル分析 50%、テクニカル分析 50%」が 34.6%、『テクニカル分析 75%以上』が合わせて 3 割強、『ファンダメンタル分析 75%以上』が合わせて約 3 割と、以上の 3 つの層がほぼ同程度となった。

性・年代別にみると、「50%ずつ」は女性（39.2%）で男性（33.2%）より高く、特に女性の 40 代以上では 4 割以上と、高い。

職業別でみると、「50%ずつ」は専業主婦・主夫（44.3%）、常勤雇用（役員・管理職）（40.0%）で 4 割台と高い。

世帯年収でみると、『テクニカル分析 75%以上』は年収が低い層ほど高い。

Q29 ファンダメンタル分析とテクニカル分析の重視程度

あなたの投資方針ではファンダメンタル分析（ここでは、経済活動の状況を示す基礎的な要因の情報を用いた分析をいう。）とテクニカル分析（取引商品の値動きを過去の経験やデータから予測する分析）の 2 点からを見て、どちらをどの程度（の比率で）**重視している**と思いますか。（1 つだけ）

N		ファンダメンタル分析100%、 テクニカル分析0%	ファンダメンタル分析75%、 テクニカル分析25%	ファンダメンタル分析50%、 テクニカル分析50%	ファンダメンタル分析25%、 テクニカル分析75%	ファンダメンタル分析0%、 テクニカル分析100%	どちらも 重視していない	
全体	1000	8.3	21.3	34.6	23.5	8.5	3.8	
性・年代別	男性・計	763	7.5	22.0	33.2	25.2	9.0	3.1
	男性20代	104	4.8	26.0	32.7	18.3	14.4	3.8
	男性30代	268	10.4	18.7	31.0	28.0	9.3	2.6
	男性40代	222	6.3	21.2	35.6	27.9	5.9	3.2
	男性50代	66	4.5	19.7	34.8	28.8	10.6	1.5
	男性60-70代	103	6.8	30.1	33.0	16.5	8.7	4.9
	女性・計	237	11.0	19.0	39.2	18.1	6.8	5.9
女性20-30代	82	9.8	20.7	29.3	24.4	8.5	7.3	
女性40-50代	105	14.3	16.2	43.8	15.2	6.7	3.8	
女性60-70代	50	6.0	22.0	46.0	14.0	4.0	8.0	
職業別	自営業主／自由業 ／家族従業者	140	10.0	16.4	32.9	27.9	9.3	3.6
	常勤雇用 （役員・管理職）	125	8.8	24.8	40.0	20.8	2.4	3.2
	常勤雇用 （非管理職）	427	8.0	21.5	33.7	24.1	9.1	3.5
	パート・アルバイト	86	12.8	18.6	31.4	22.1	9.3	5.8
	専業主婦・主夫	70	10.0	15.7	44.3	18.6	5.7	5.7
	無職・年金受給者 ／学生	148	4.1	26.4	30.4	23.6	12.2	3.4
	その他	* 4	0.0	25.0	75.0	0.0	0.0	0.0
	世帯年収別	200万円未満	87	5.7	16.1	31.0	17.2	23.0
200～400万円未満	205	7.3	19.0	32.7	29.3	7.8	3.9	
400～700万円未満	349	8.3	19.5	37.5	23.8	7.4	3.4	
700～1000万円未満	200	11.5	25.0	30.0	23.5	5.5	4.5	
1000万円以上	159	6.9	26.4	38.4	18.9	7.5	1.9	

* 件数が30未満のため参考

(%)

Q30 F X取引業者の選択理由について

F X取引業者を選んだ理由としては、「信用のある業者だから」(41.8%)、「インターネット取引での注文がしやすいから」(41.1%) がほぼ同率で高い。次いで「売買手数料等の必要コストが安いから」(27.7%)、「インターネット上で評判がよいという口コミ等をみたから」(23.6%) が2割台。

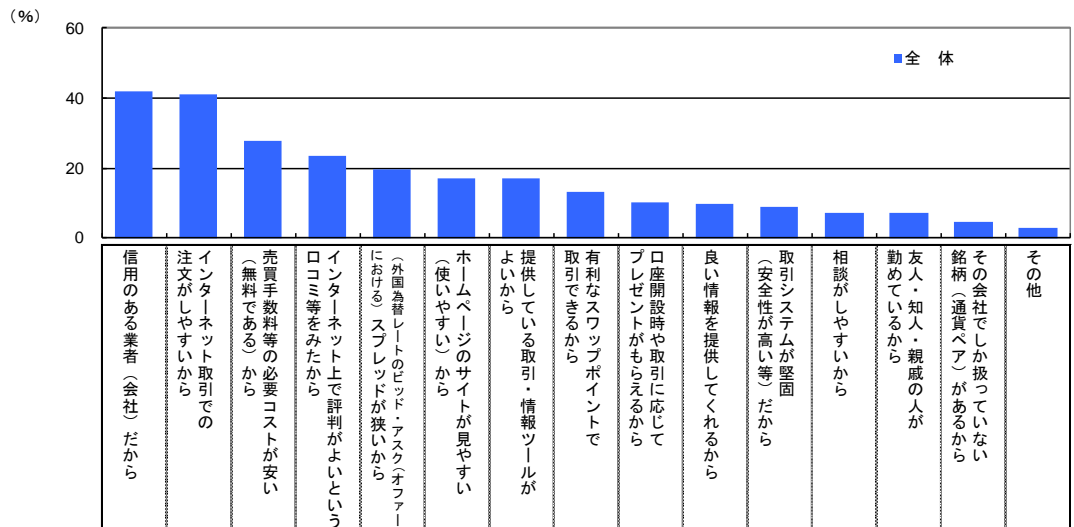
性・年代別にみると、「信用のある業者だから」は男女ともに高齢層で高くなっており、「インターネット上で評判がよいという口コミ等をみたから」は男性20代(28.8%)、女性20-30代(29.3%)で高めとなっている。

職業別にみると、「信用のある業者だから」は専業主婦・主夫(31.4%)で低く、「スプレッドが狭い」はパート・アルバイト(12.8%)で低くなっている。

世帯年収別にみると、1000万円以上では「取引システムが堅固だから」(13.8%)が他より高い。

Q30 F X取引業者の選択理由

あなたが取引する際に利用している外国為替証拠金取引(FX)業者についてお伺いします。その業者を選んだ理由をお答えください。(現在取引していない方は、過去に取引していたときの業者についてお答え頂ければ結構です)(いくつでも)



		N	信用のある業者(会社)だから	注文がしやすいから	(無料である)から 売買手数料等の必要コストが安い	口コミ等をみたから	(外国為替レートの変動・アスク・オファー)における スプレッドが狭いから	ホームページのサイトが見やすい (使いやすい)から	提供している取引・情報ツールが よいから	取引できるから	有利なスワップポイントで 取引できるから	口座開設時や取引に応じて プレゼントがもらえるから	良い情報を提供してくれるから	(安全性が高い等)だから	取引システムが堅固	相談しやすいから	友人・知人・親戚の人が 勤めているから	銘柄(通貨ペア)があるから	その会社でしか扱っていない	その他
全体		1000	41.8	41.1	27.7	23.6	19.6	17.1	16.8	13.0	10.3	9.6	8.8	7.1	7.1	7.1	4.7	4.7	3.0	
性・年代別	男性・計	763	42.7	41.5	28.7	23.1	21.6	17.4	18.5	14.0	11.0	9.8	9.2	5.1	6.3	5.1	3.3			
	男性20代	104	43.3	35.6	28.8	28.8	21.2	19.2	23.1	9.6	13.5	13.5	5.8	11.5	9.6	9.6	1.0			
	男性30代	268	38.4	36.6	25.7	20.5	24.6	14.6	17.9	14.6	11.6	11.6	9.0	6.3	8.6	6.0	4.1			
	男性40代	222	41.9	43.2	29.3	25.7	20.7	17.1	16.7	16.2	11.7	8.6	8.6	2.7	5.0	3.2	4.1			
	男性50代	66	50.0	43.9	34.8	19.7	13.6	18.2	13.6	10.6	6.1	4.5	13.6	1.5	0.0	1.5	3.0			
	男性60-70代	103	50.5	55.3	31.1	20.4	21.4	23.3	22.3	14.6	8.7	7.8	11.7	2.9	3.9	4.9	1.9			
	女性・計	237	38.8	39.7	24.5	25.3	13.1	16.0	11.4	9.7	8.0	8.9	7.6	13.5	9.7	3.4	2.1			
女性20-30代	82	29.3	39.0	26.8	29.3	13.4	12.2	8.5	8.5	8.5	11.0	9.8	15.9	9.8	4.9	4.9				
女性40-50代	105	40.0	39.0	24.8	24.8	11.4	12.4	12.4	12.4	8.6	5.7	4.8	7.6	12.4	2.9	1.0				
女性60-70代	50	52.0	42.0	20.0	20.0	16.0	30.0	14.0	6.0	6.0	12.0	10.0	22.0	4.0	2.0	0.0				
職業別	自営業主/自由業/家族従業者	140	42.9	43.6	26.4	21.4	19.3	12.9	18.6	13.6	12.9	12.1	12.9	7.9	7.9	5.0	2.9			
	常勤雇用(役員・管理職)	125	45.6	45.6	26.4	22.4	17.6	22.4	17.6	11.2	8.0	10.4	11.2	9.6	9.6	2.4	2.4			
	常勤雇用(非管理職)	427	41.2	37.2	26.0	24.1	20.8	13.1	15.5	12.9	9.4	9.6	7.0	4.4	6.8	4.4	2.8			
	パート・アルバイト	86	48.8	37.2	32.6	24.4	12.8	23.3	15.1	14.0	10.5	8.1	10.5	9.3	4.7	5.8	3.5			
	専業主婦・主夫	70	31.4	42.9	30.0	25.7	18.6	12.9	10.0	11.4	10.0	8.6	5.7	15.7	10.0	1.4	0.0			
	無職・年金受給者/学生	148	39.2	47.3	31.1	23.0	22.3	25.7	22.3	14.2	12.2	6.8	8.1	6.1	5.4	7.4	4.7			
その他	*4	75.0	50.0	25.0	50.0	25.0	50.0	25.0	25.0	25.0	50.0	25.0	25.0	0.0	25.0	25.0				
世帯年収別	200万円未満	87	47.1	44.8	25.3	20.7	16.1	17.2	13.8	17.2	14.9	6.9	8.0	2.3	2.3	6.9	6.9			
	200~400万円未満	205	41.0	34.1	30.2	24.9	19.5	16.1	17.1	11.2	11.7	5.9	8.8	6.8	5.9	5.4	3.4			
	400~700万円未満	349	41.3	40.1	26.4	21.5	17.8	15.5	14.6	13.2	8.0	12.0	7.4	8.0	6.3	3.4	2.3			
	700~1000万円未満	200	40.0	43.0	27.0	23.5	21.0	19.0	18.5	13.0	10.5	10.5	7.5	6.5	9.5	4.0	2.0			
	1000万円以上	159	43.4	47.8	29.6	28.3	23.9	19.5	20.8	12.6	10.7	9.4	13.8	8.8	10.1	6.3	3.1			

■ 全体と比べ5ポイント以上高い * 件数が30未満のため参考 (%)
■ 全体と比べ5ポイント以上低い

Q31 コンピュータープログラムに従った自動売買の経験について

コンピュータープログラムに従った自動売買の経験については、「行ったことはなく、今後も行いたくない」が40.5%、「行ったことはないが、今後は始めたい」が35.5%で、未経験者が多数を占めた。

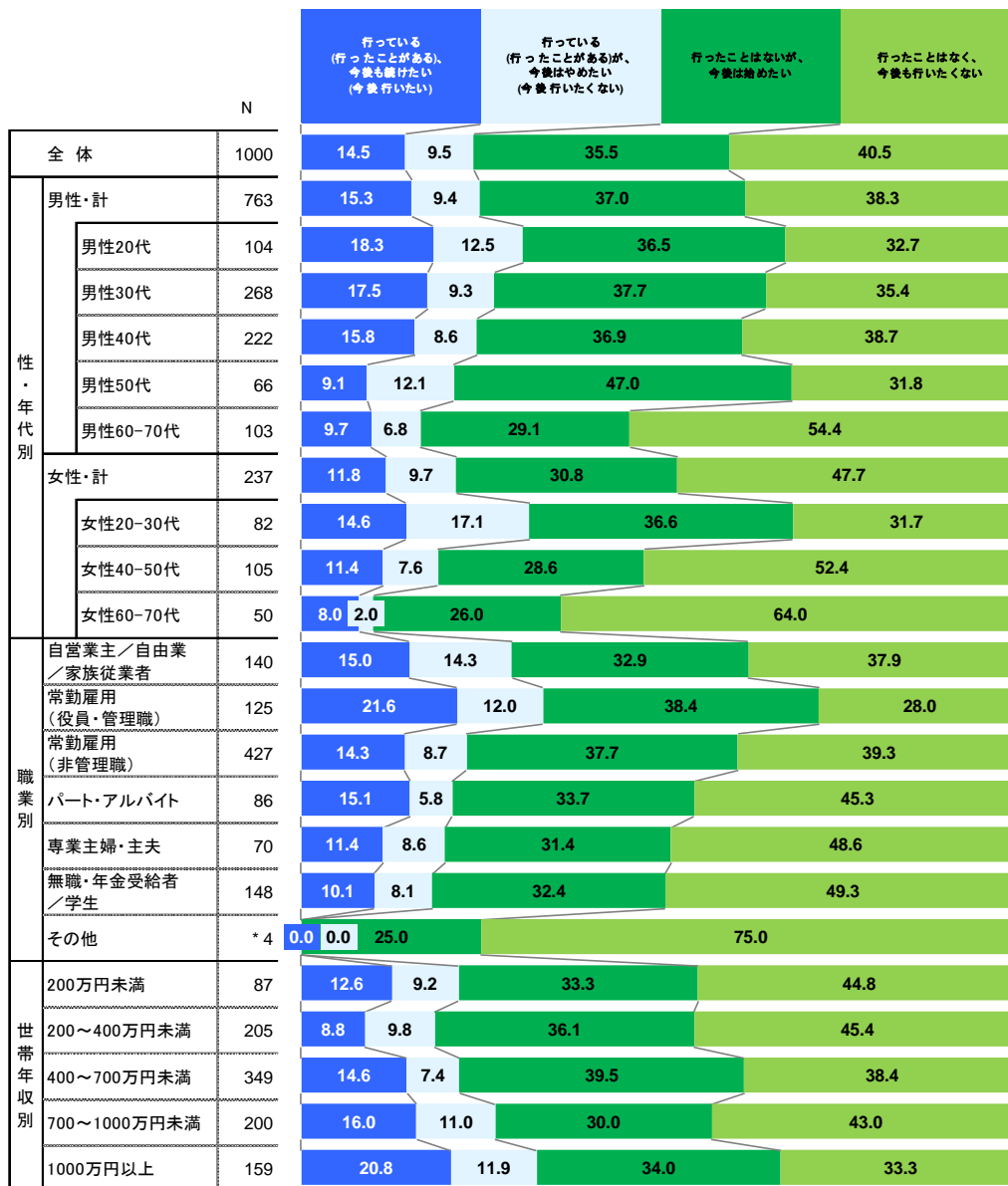
性・年代別にみると、「行っている（行ったことがある）。今後も続けたい（今後もまた行いたい）」は男女ともに若年層で高い。また、「行ったことはないが、今後は始めたい」は、男性では50代で47.0%と高いが、男女ともに高齢層では「行ったことはなく、今後も行いたくない」の比率が高い。

職業別にみると、「行っていて今後も続けたい」は常勤雇用（役員・管理職）で21.6%と高く、「行ったことはなく、今後も行いたくない」は無職・年金受給者／学生（49.3%）、専業主婦・主夫（48.6%）、パート・アルバイト（45.3%）で高い。

世帯年収別にみると、「行っていて今後も続けたい」は年収が上がるほど高くなっていく。

Q31 コンピュータープログラムに従った自動売買の経験

コンピュータープログラムに従って自動的に売買を行う方法がありますが、あなたは行ったことがありますか。（1つだけ）



* 件数が30未満のため参考

(%)

3. 外国為替証拠金取引（FX）や金融全般に関する知識・理解度

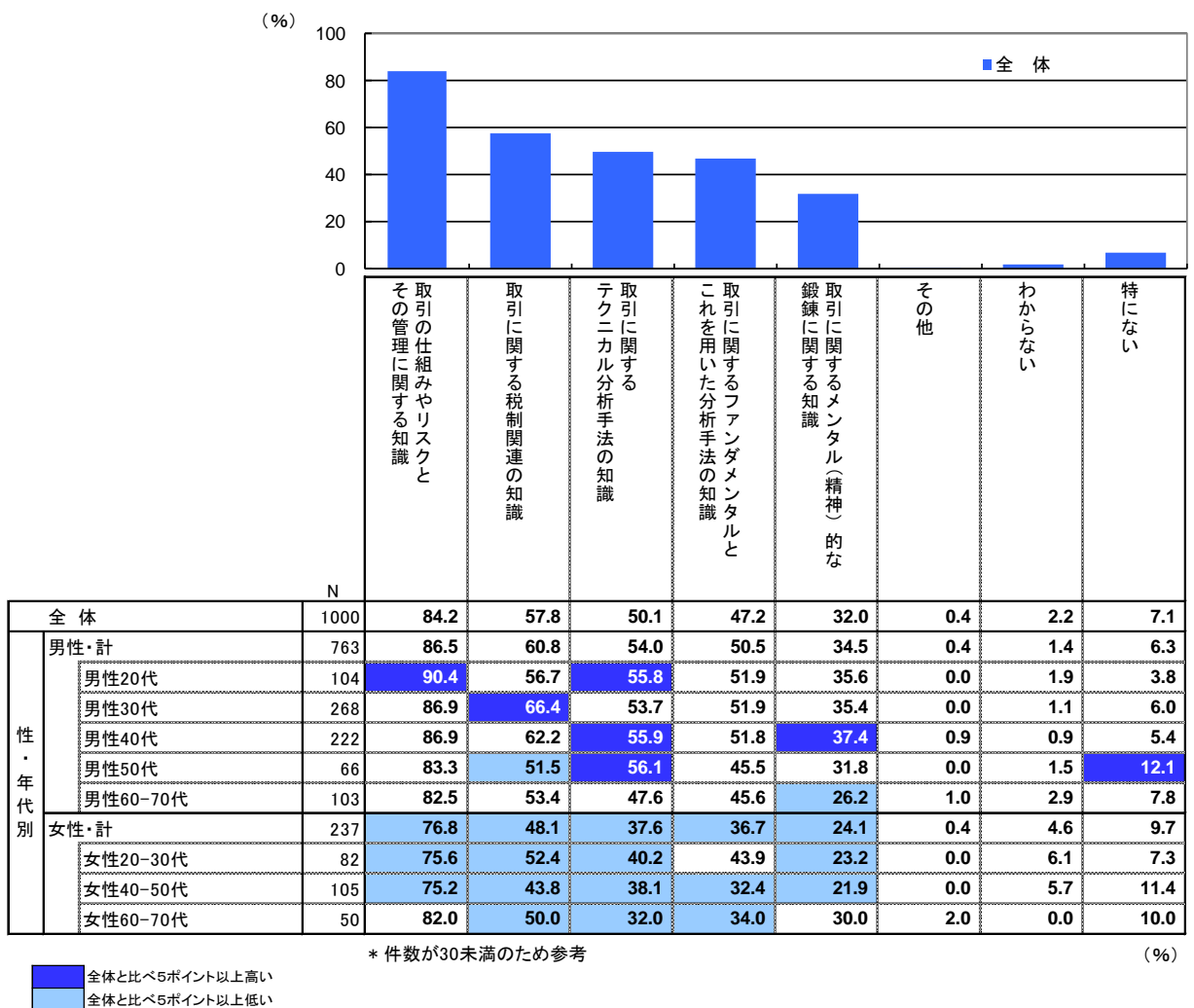
Q4 FXに関して得た知識（性・年代別）について

FXに関して今まで得た知識としては、「取引の仕組みやリスクとその管理に関する知識」が84.2%と最も高い。以下、「取引に関する税制関連の知識」（57.8%）、「取引に関するテクニカル分析手法の知識」（50.1%）等と続く。

性・年代別にみると、いずれの項目も男性のほうが女性より10ポイント程度以上高い。男性では60-70代で「テクニカル分析手法の知識」（47.6%）、「メンタル的な鍛錬に関する知識」（26.2%）が、若年層に比べて低い。

Q4 FXに関して得た知識（性・年代別）

あなたは外国為替証拠金取引(FX)に関して、今までどのような知識を得てきましたか。（いくつでも）



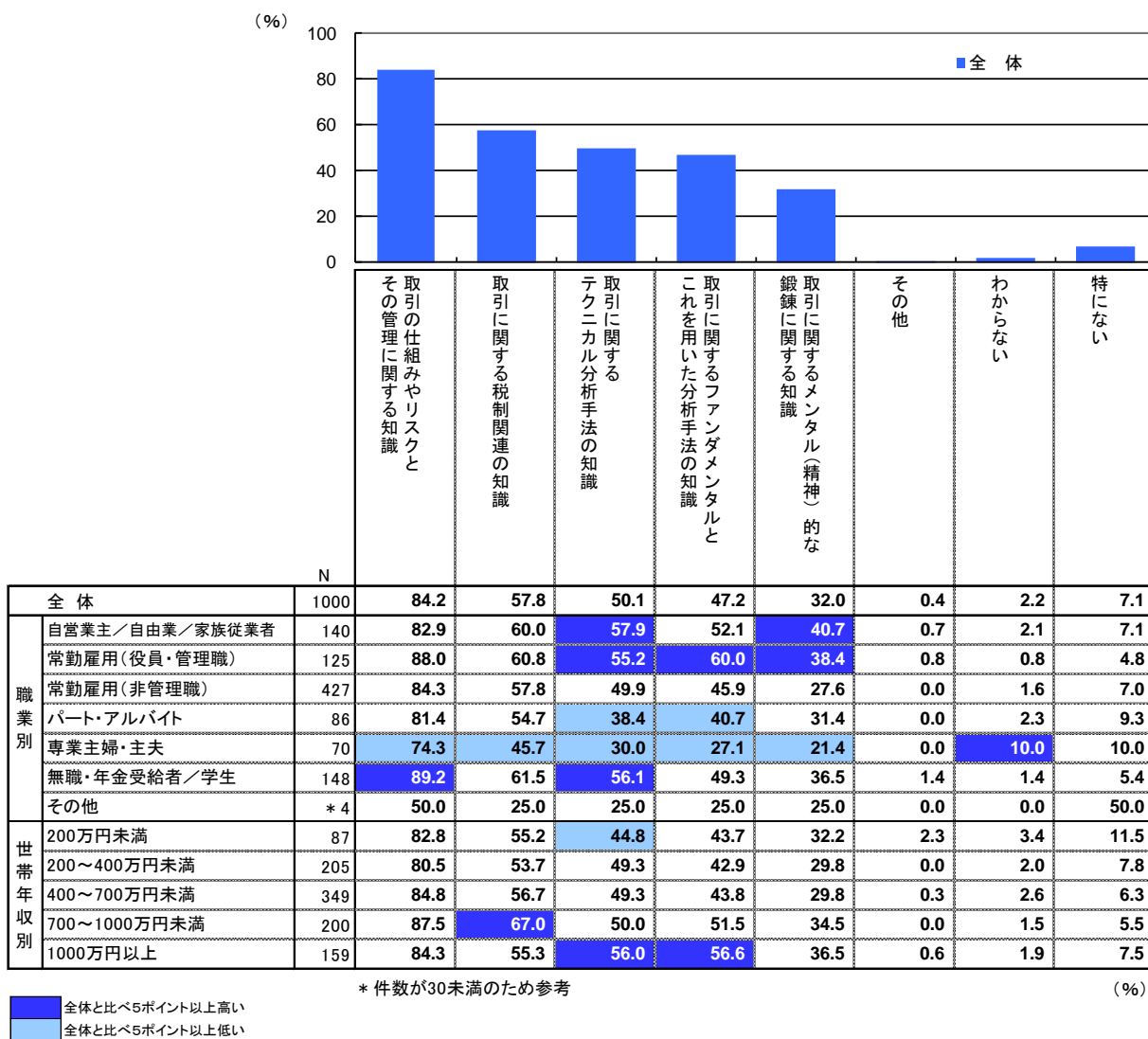
Q 4 FXに関して得た知識（職業／世帯年収別）について

職業別にみると、「テクニカル分析手法の知識」「ファンダメンタルとこれを用いた分析手法の知識」「メンタル的な鍛錬に関する知識」は常勤雇用（役員・管理職）（順に 55.2%、60.0%、38.4%）、自営業主／自由業／家族従業者（順に 57.9%、52.1%、40.7%）で、他よりも高い。

世帯年収別では、1000 万円以上で「テクニカル分析手法の知識」（56.0%）、「ファンダメンタルとこれを用いた分析手法の知識」（56.6%）が、それ以下の層より高い。

Q 4 FXに関して得た知識（職業／世帯年収別）

あなたは外国為替証拠金取引(FX)に関して、**今までどのような知識を得てきましたか。**（いくつでも）



Q5 FXに関して、今後得たい知識について

FXに関して今後得たい知識としては、「テクニカル分析手法の知識」が53.9%、「ファンダメンタルとこれを用いた分析手法の知識」が47.8%で、この2項目が5割前後。

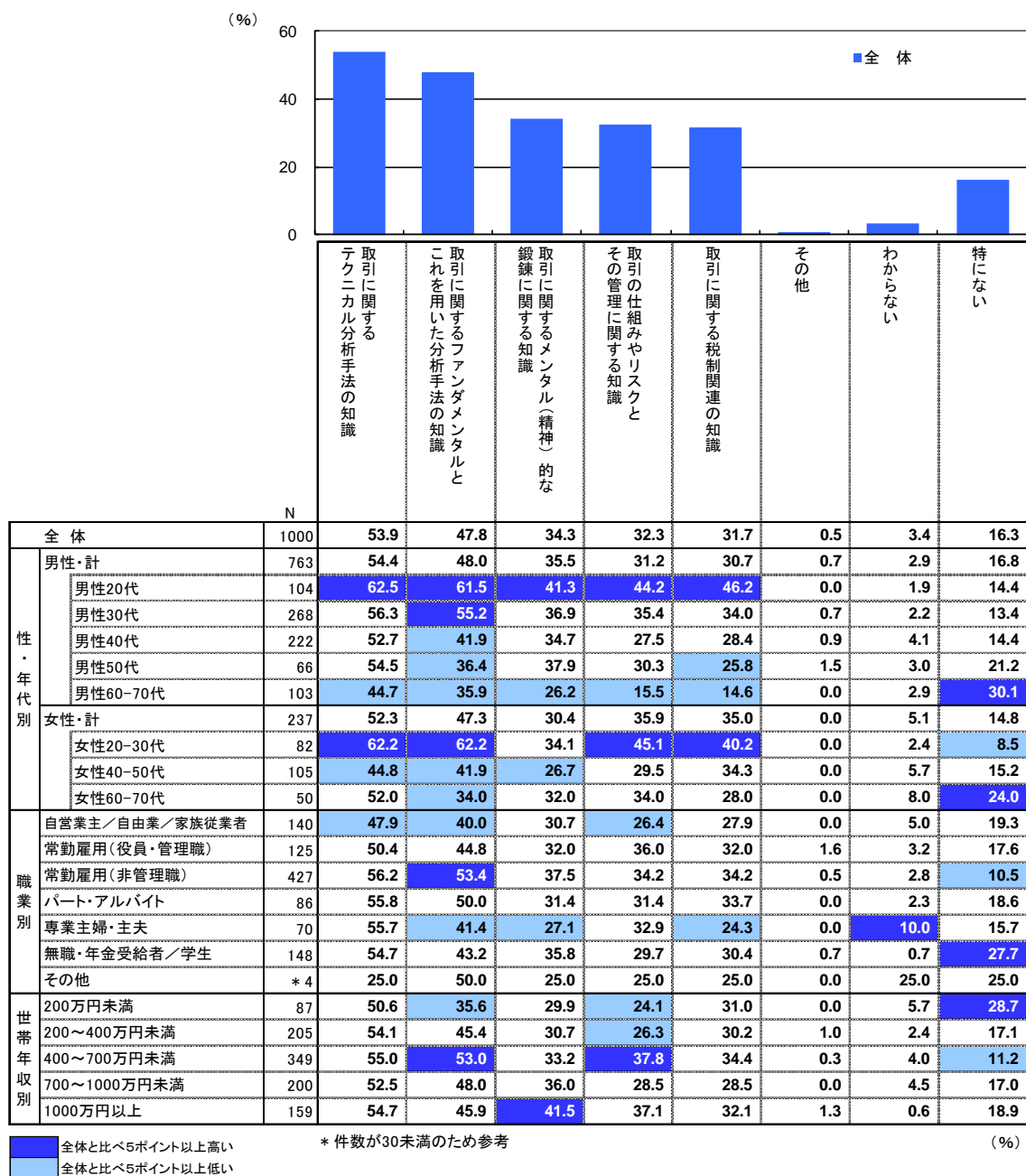
性・年代別にみると、「メンタル的な鍛錬に関する知識」は男性（35.5%）で女性（30.4%）より高い。また、男女ともに若年層で高い項目が多い。

職業別には、特徴的な傾向がみられない。

世帯年収別では、1000万円以上で「メンタル的な鍛錬に関する知識」（41.5%）が他より高い。

Q5 FXに関して、今後得たい知識

あなたは外国為替証拠金取引(FX)に関して、**今後どのような知識を得たいですか。**（いくつでも）



Q10 FX関連用語で理解しているものについて

FX関連用語で理解しているものをあげてもらったところ、「証拠金」(85.2%)、「指値注文」(83.5%)、「ロスカット」(82.8%)、「スワップポイント」(80.5%)が8割台、「レバレッジ効果」(76.4%)、「逆指値注文」(75.9%)、「スプレッド」(73.3%)が7割台等となった。

性・年代別にみると、すべての項目で男性が女性より高く、10ポイント程度の開きがあるものが多い。また、男性30代・40代は理解度が全体で下位の項目でも、高いものが複数みられる。

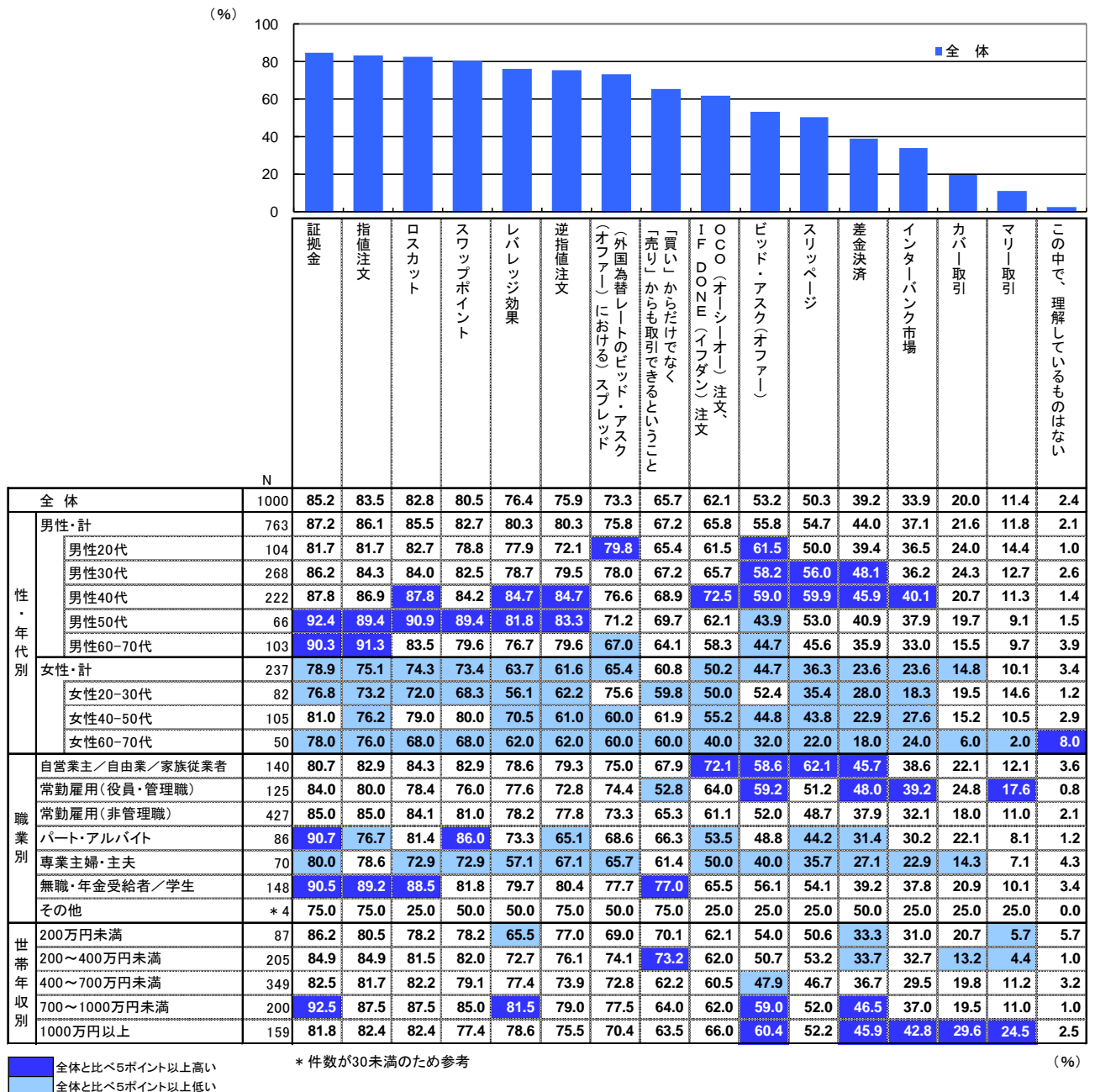
職業別でみると、自営業主/自由業/家族従業者や常勤雇用(役員・管理職)では、下位項目でも理解度が他より高いものが複数みられる。

世帯年収別にみると、年収が高い層では下位の項目の理解度が高い傾向となっている。

Q10 FX関連用語で理解しているもの

外国為替証拠金取引(FX)に関する次の言葉(事柄含む)のうち、あなたが**理解しているもの**を選んでください。

(理解しているものはすべて選択してください) (いくつでも)



■ 全体と比べ5ポイント以上高い
■ 全体と比べ5ポイント以上低い

* 件数が30未満のため参考

(%)

Q12 金融全般に関する知識レベルについて

自分の金融全般に関する知識レベルを聞いた結果では、「高い」+「どちらかといえば高い」を合わせた『高い』計が40.7%、「平均的」が38.7%。「低い」+「どちらかといえば低い」(『低い』計)が2割弱であった。

性・年代別に『高い』計でみると、男性(44.8%)が女性(27.4%)より高く、女性では40代以上で低くなっている。

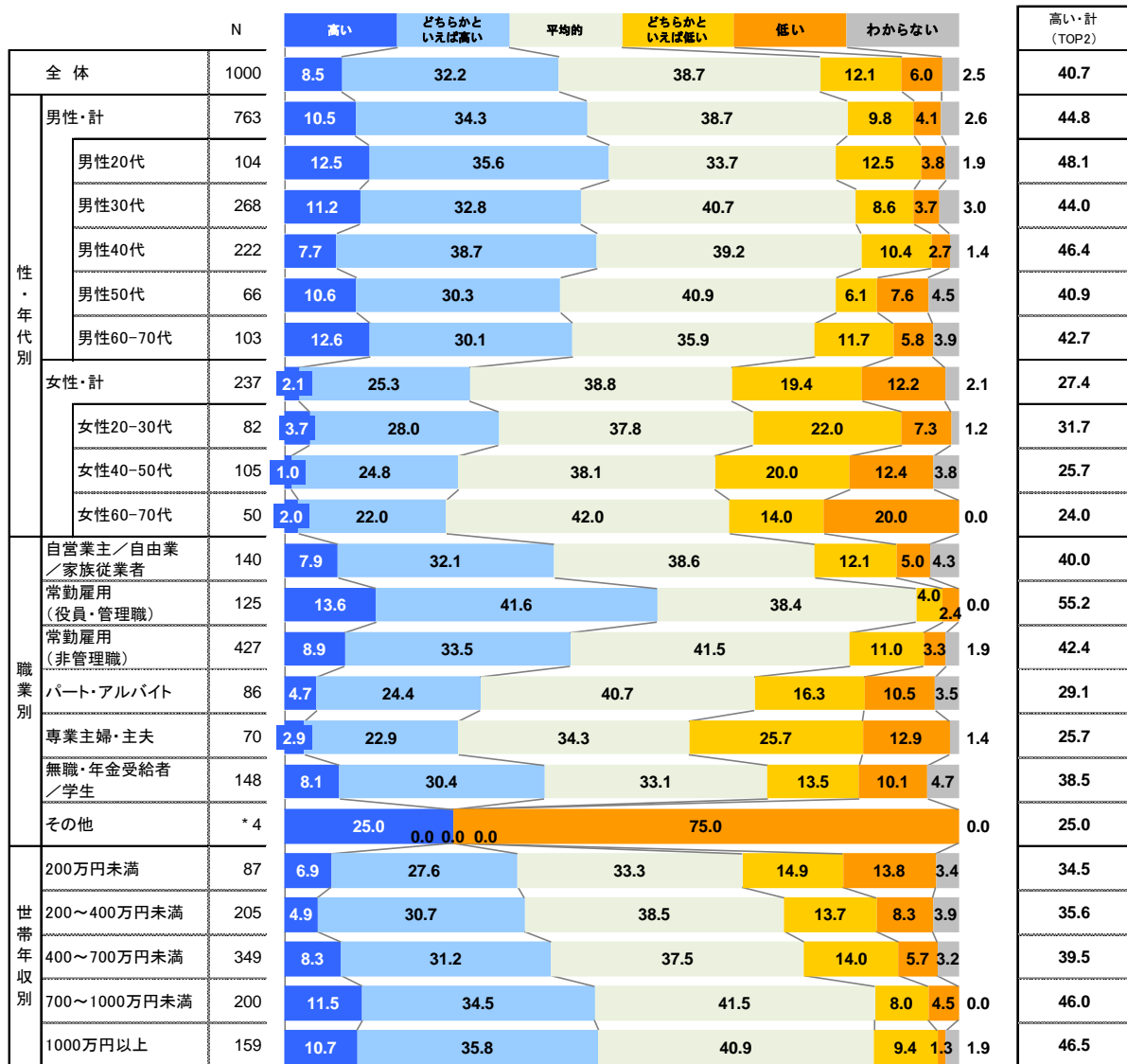
職業別にみると、『高い』計は常勤雇用(役員・管理職)で55.2%と最も高く、次いで常勤雇用(非管理職)(42.4%)、自営業主/自由業/家族従業者(40.0%)がともに4割台。

世帯年収別にみると、年収が高くなるほど『高い』計の比率も高くなっている。

Q12 金融全般に関する知識レベル

あなたの金融全般に関する知識は、他の人(世間一般人)と比べて、どのようなレベルにあると感じていますか。

(1つだけ)



* 件数が30未満のため参考

(%)

Q13 年利の理解度について

年利に対する理解度をみるべく、以下の設問を設けた結果では「101万円（正解）」が85.2%と大半であった。

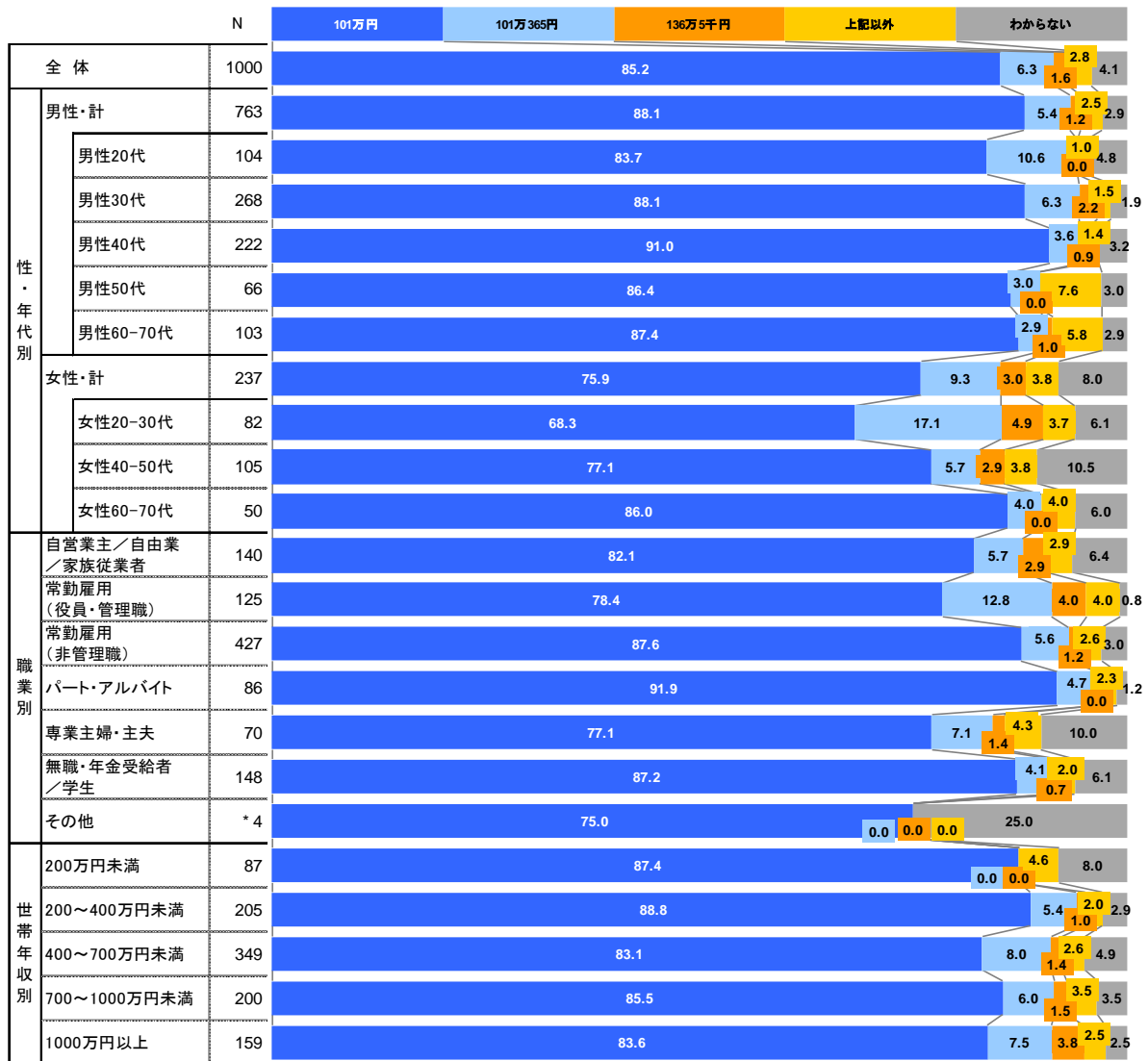
性・年代別にみると、正解率は女性（75.9%）で男性（88.1%）より低く、特に若年層ほど低くなっている。

職業別にみると、正解率はパート・アルバイトで91.9%と最も高く、専業主婦・主夫（77.1%）、常勤雇用（役員・管理職）（78.4%）は8割弱と低い。

世帯年収別にみても、差はみられない。

Q13 年利の理解度

100万円を年率1%の利息がつく預金口座に預け入れました。それ以外、この口座への入金や出金がなかった場合、1年後、口座の残高はいくらになっているでしょうか。利息にかかる税金は考慮しないで教えてください。（1つだけ）



* 件数が30未満のため参考

(%)

Q14 FXの取引売買損益の計算理解度について

FXの取引売買損益の計算理解度をみるべく、以下の設問を設けた結果では、「損失がちょうど-25万円（正解）」が48.3%と、半数弱であった。

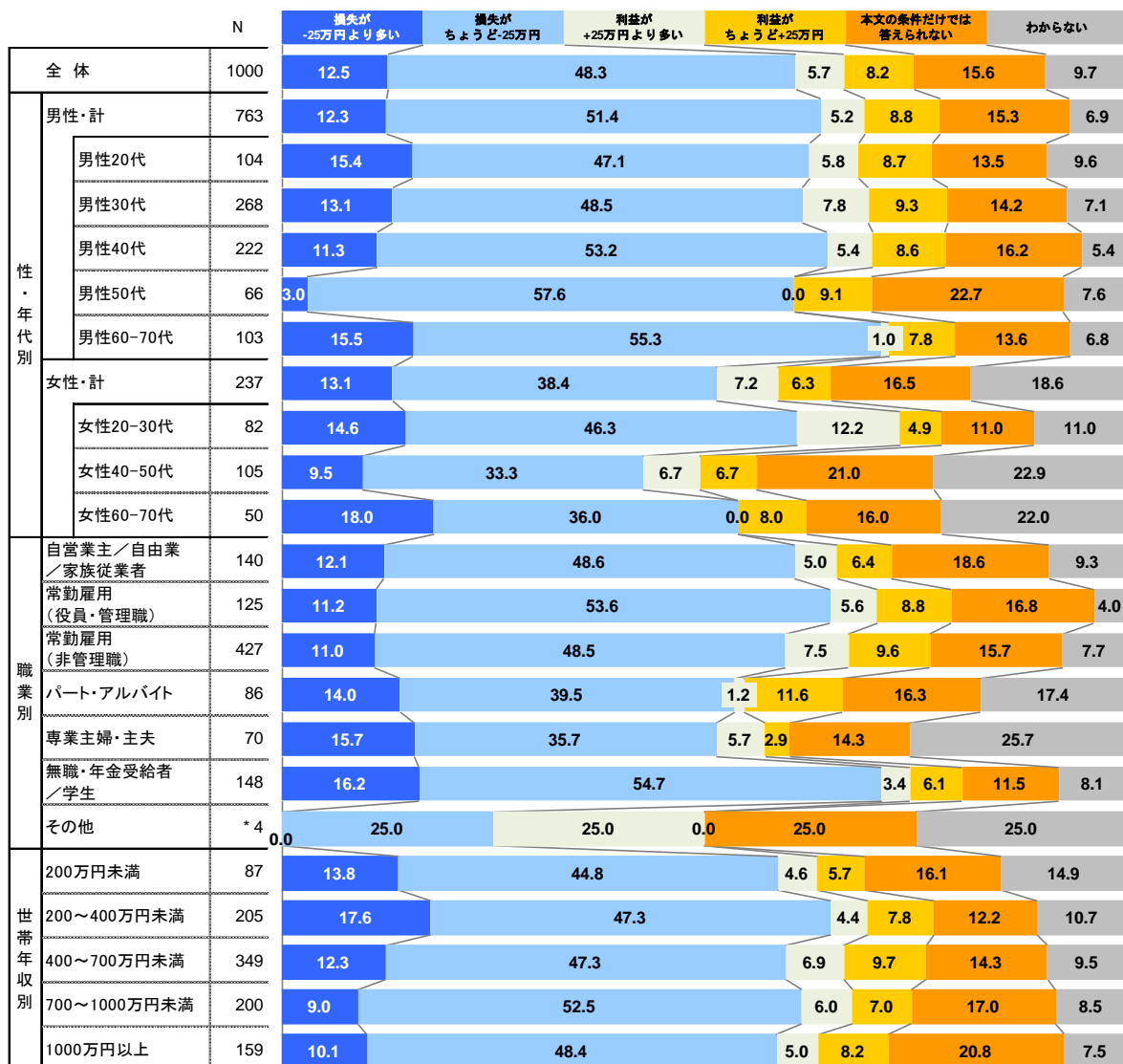
性・年代別にみると、正解率は男性（51.4%）で女性（38.4%）より10ポイント以上高い。女性のうち40代以上では正解率が3割台と低い。また、男性50代（22.7%）および女性40-50代（21.0%）では、「本文の条件だけでは答えられない」が2割強と高い。

職業別にみると、正解率は無職・年金受給者／学生（54.7%）と常勤雇用（役員・管理職）（53.6%）で5割台と他より高い。

世帯年収別には、特徴的な差がみられない。

Q14 FXの取引売買損益の計算理解度

外国為替レートが1米ドル=100円の時、あなたは外国為替証拠金取引(FX)を行い100万円の証拠金を用いて、証拠金倍率（レバレッジ）25倍の米ドル買い-日本円売りポジションを保有したとします。その後、米ドル-日本円のレートが、円高の方向に1%変化した場合、あなたの評価損益額はいくらになりますか。外国為替レートの変化以外のことを考慮しないでお答えください。（1つだけ）



* 件数が30未満のため参考

(%)

4. 外国為替証拠金取引（FX）や制度・サービスに対するイメージ・要望

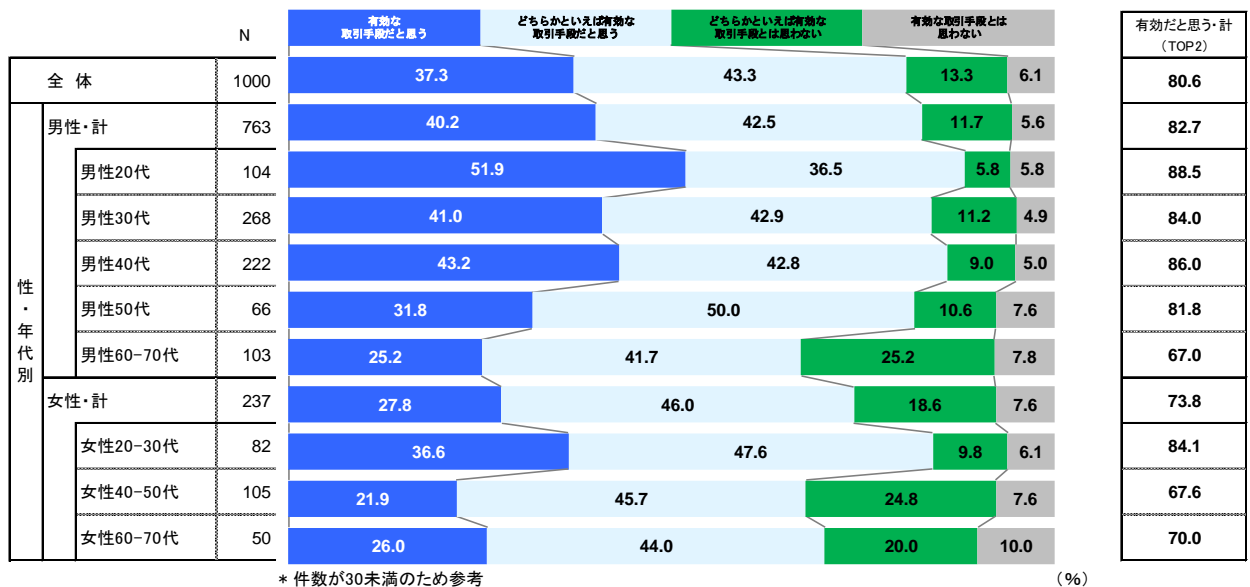
Q6 金融資産を増やすために、FXは有効な手段だと思うか（性・年代別）という点について

金融資産を増やすためにFXは有効な手段だと思うかについては、「有効な取引手段だと思う」が37.3%、「どちらかといえば有効な取引手段だと思う」が43.3%で、これを合わせた『有効だと思う』計は80.6%であった。

以下、「有効な取引手段だと思う」でみると、性・年代別では男性（40.2%）が女性（27.8%）より10ポイント以上高く、男性では若年層ほどほぼ高い比率となっている。女性も40代以上に比べて20-30代の方が高い。

Q6 金融資産を増やすために、FXは有効な手段だと思うか（性・年代別）

あなたは、金融資産を増やすために、外国為替証拠金取引(FX)が**有効な取引手段**だと思いますか。（1つだけ）

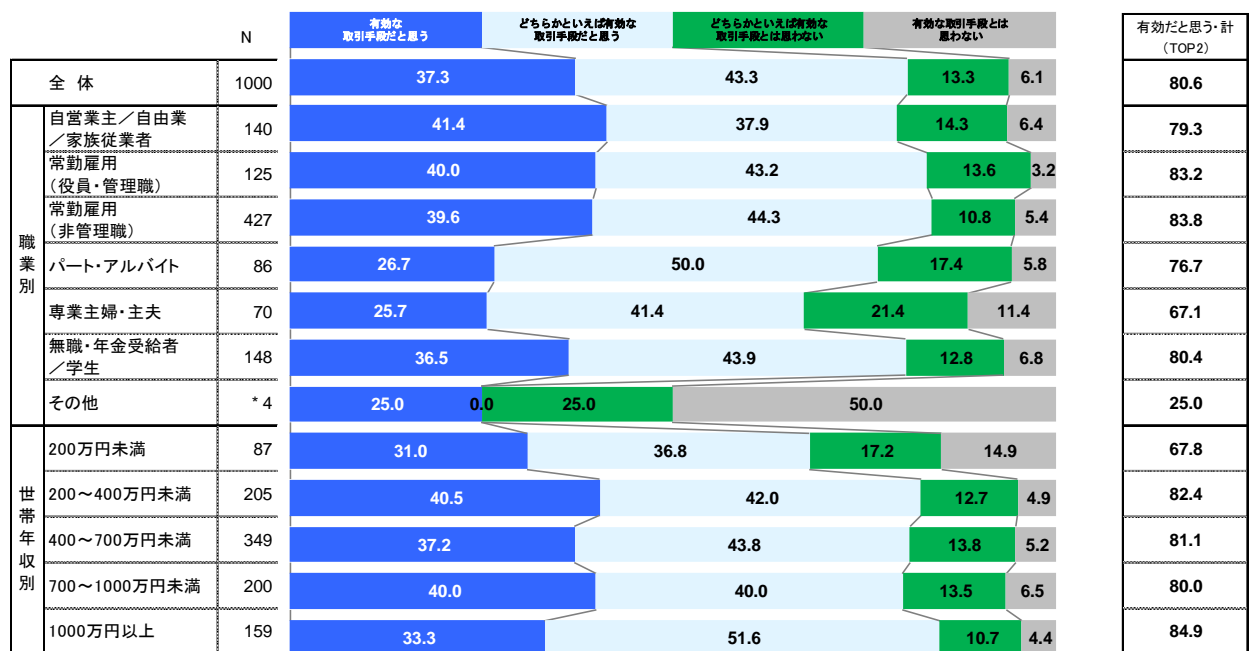


Q 6 金融資産を増やすために、FXは有効な手段だと思うか（職業／世帯年収別）という点について
 職業別では、自営業主／自由業／家族従業者（41.4%）および常勤雇用（役員・管理職：40.0%、非
 管理職：39.6%）では4割前後と高いが、パート・アルバイト（26.7%）、専業主婦・主夫（25.7%）
 は2割半ばと低い。

世帯年収別にみると、200万円～1000万円未満の層では4割前後と高いが、200万円未満（31.0%）、
 1000万円以上（33.3%）の層では3割台前半でやや低い。

Q 6 金融資産を増やすために、FXは有効な手段だと思うか（職業／世帯年収別）

あなたは、金融資産を増やすために、外国為替証拠金取引(FX)が**有効な取引手段**だと思いますか。（1つだけ）



* 件数が30未満のため参考

(%)

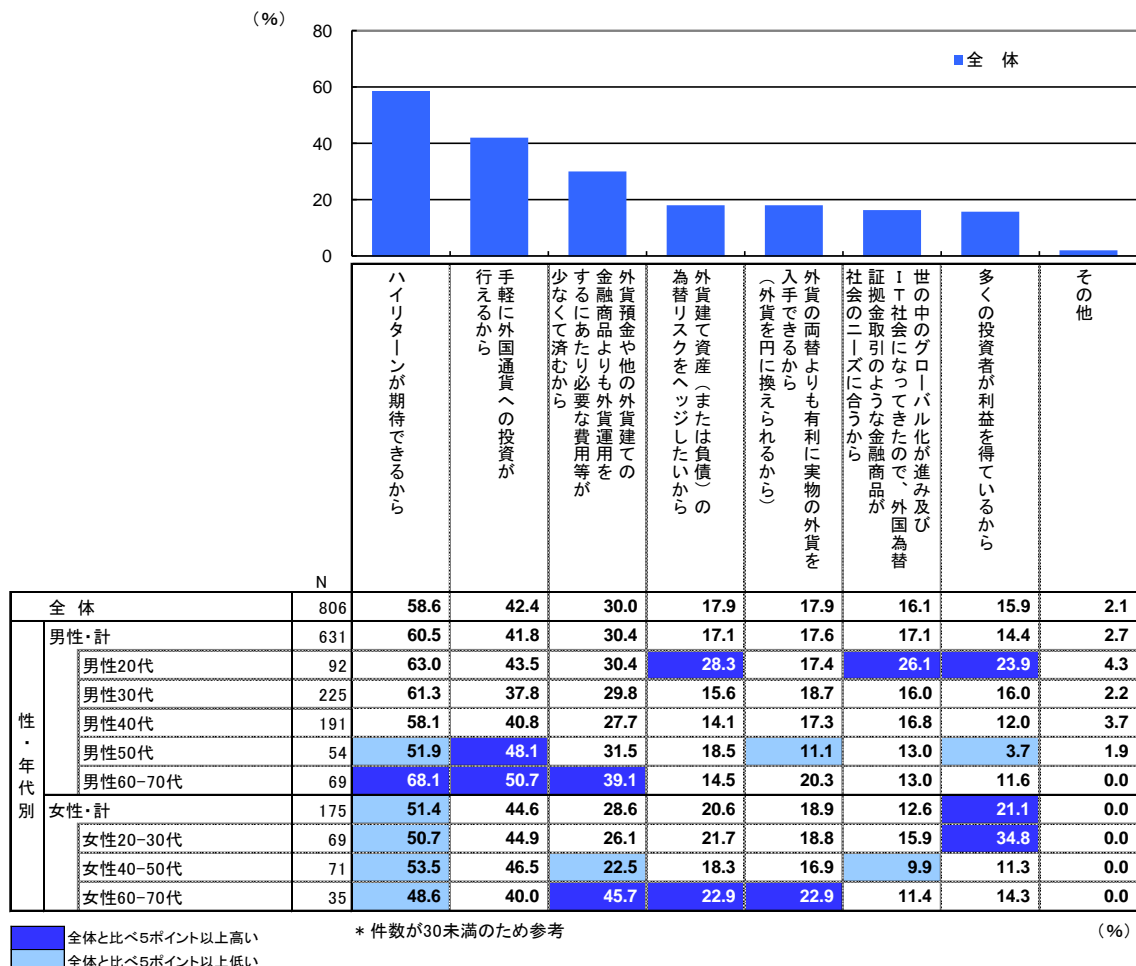
Q7 FXが有効な手段だと思う理由（有効と回答した人ベース）（性・年代別）について

FXが有効な取引手段だと回答した人に、その理由を聞いた結果では、「ハイリターンが期待できるから」が58.6%で最も高く、次いで「手軽に外国通貨への投資が行えるから」（42.4%）、「外貨預金や他の外貨建ての金融商品よりも外貨運用をするにあたり必要な費用等が少なくて済むから」（30.0%）等の順となった。

性・年代別にみると「ハイリターンが期待できる」は男性60-70代（68.1%）で高い他、「外貨預金や他の外貨建ての金融商品よりも外貨運用をするにあたり必要な費用等が少なくて済む」は男女ともに60-70代（男性：39.1%、女性：45.7%）で、「外貨建て資産の為替リスクをヘッジしたい」「世の中のグローバル化が進み及びIT社会になってきたので、外国為替証拠金取引のような金融商品が社会のニーズに合う」「多くの投資者が利益を得ている」は男性20代（順に28.3%、26.1%、23.9%）で高い、等の特徴がみられる。

Q7 FXが有効な手段だと思う理由（FXが有効な手段だと回答した人ベース）（性・年代別）

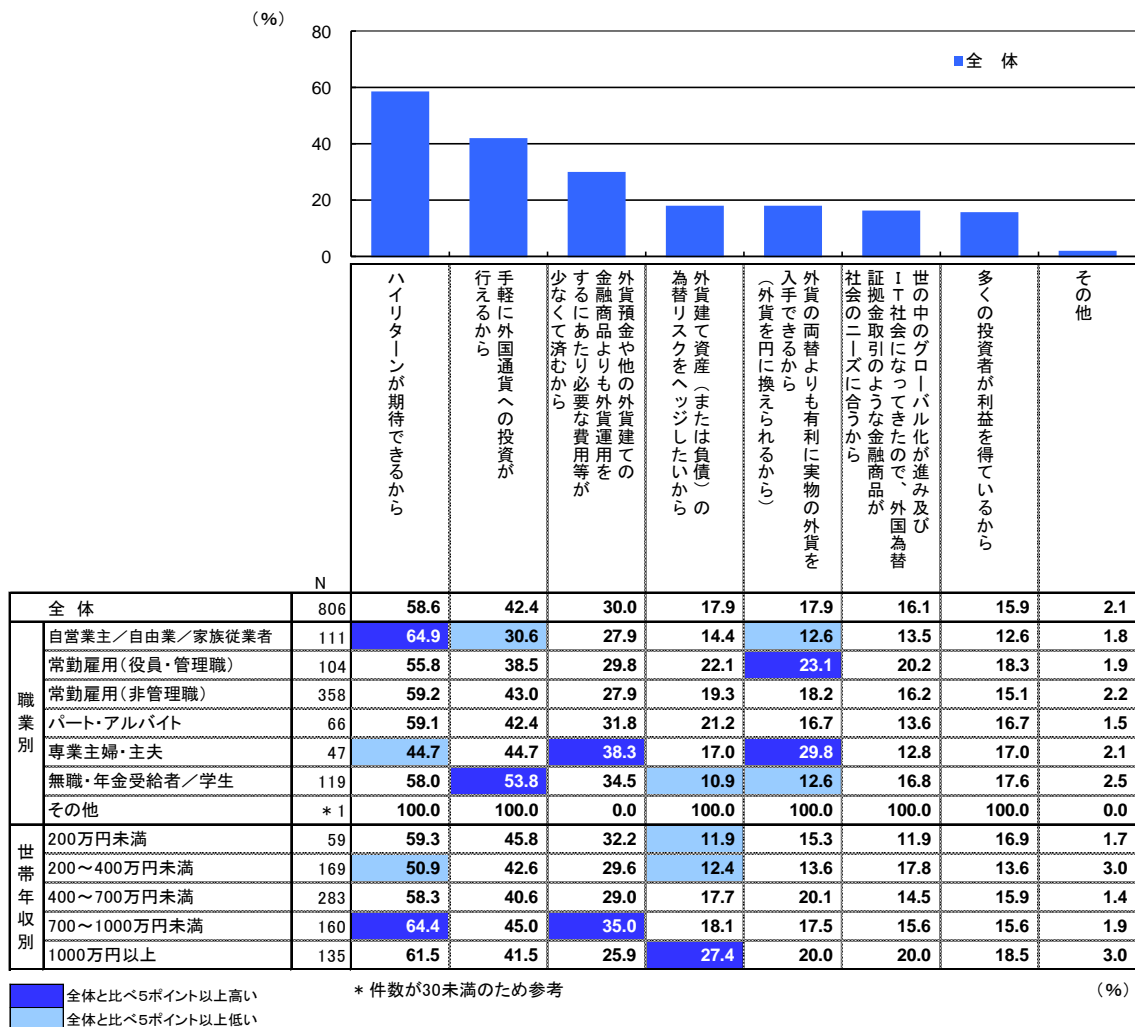
あなたが金融資産を増やすために、外国為替証拠金取引(FX)が有効な取引手段だと思う理由は何ですか。（いくつでも）



Q7 FXが有効な手段だと思う理由（有効と回答した人ベース）（職業／世帯年収別）について
 職業別にみると、「ハイリターンが期待できる」は自営業主／自由業／家族従業者（64.9%）で高く、「手軽に外国通貨への投資が行える」は無職・年金受給者／学生（53.8%）で高い、等の特徴がみられる。

世帯年収別では、1000万円以上で「外貨建て資産(または負債)の為替リスクをヘッジしたい」(27.4%)が高い。

Q7 FXが有効な手段だと思う理由（FXが有効な手段だと回答した人ベース）（職業／世帯年収別）
 あなたが金融資産を増やすために、外国為替証拠金取引(FX)が有効な取引手段だと思う理由は何ですか。
 (いくつでも)



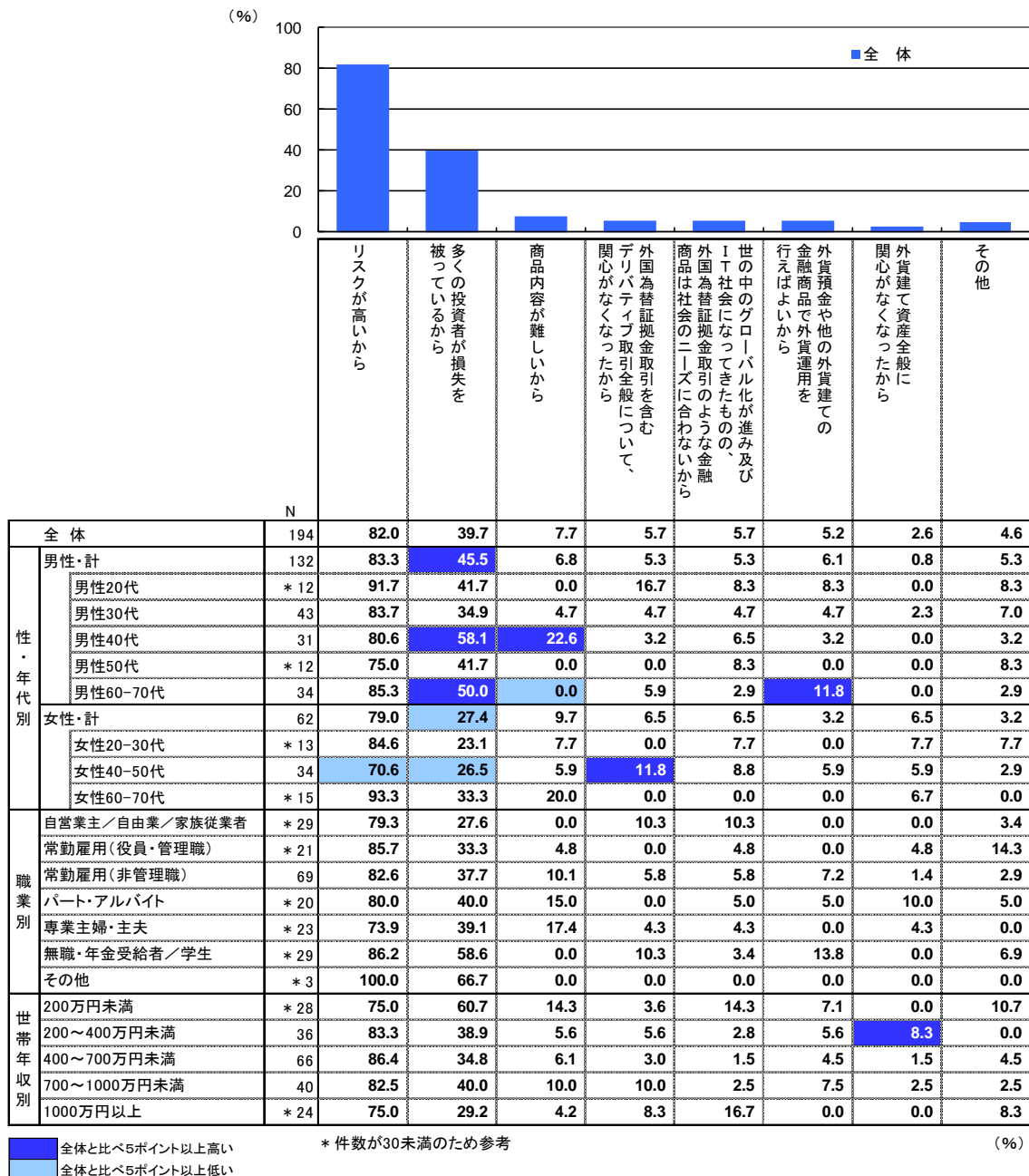
Q 8 F Xが有効な手段だと思わない理由（有効ではないと回答した人ベース）について

F Xが有効な取引手段だと思わないと回答した人に、その理由を聞いた結果では、「リスクが高いから」が82.0%と多数を占めた。次いで「多くの投資者が損失を被っているから」が39.7%。

※属性別分析は、サンプル数が少ない層が多くあるため、割愛する。

Q 8 F Xが有効な手段だと思わない理由（F Xが有効な手段ではないと回答した人ベース）

あなたが金融資産を増やすために、外国為替証拠金取引(FX)が有効な取引手段だとは思わない理由は何ですか。（いくつでも）



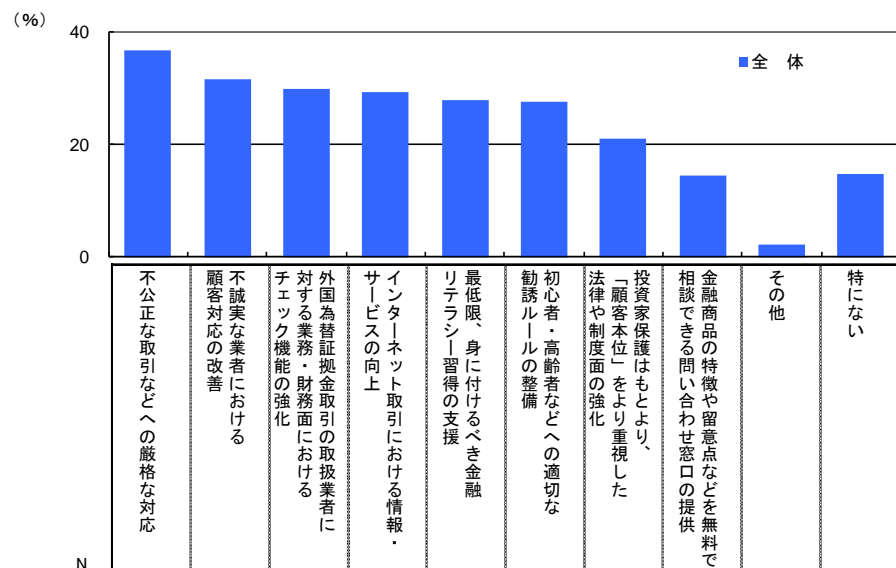
Q9 制度やサービス等で強化したほうが良いと思うこと（性・年代別）について

FXを行う上で、制度やサービスを強化したほうが良いと思うことでは、「不公正な取引などへの厳格な対応」が36.7%で最も高く、以下「不誠実な業者における顧客対応の改善」(31.6%)、「外国為替証拠金取引の取扱業者に対する業務・財務面におけるチェック機能の強化」(29.9%)、「インターネット取引における情報・サービスの向上」(29.4%)等と続く。

性・年代別にみると、「不公正な取引などへの厳格な対応」「不誠実な業者における顧客対応の改善」は男性（順に38.0%、33.7%）で女性（順に32.5%、24.9%）より高く、「最低限、身に付けるべき金融リテラシー習得の支援」「初心者・高齢者などへの適切な勧誘ルールの整備」は女性（順に31.6%、32.5%）のほうが高い。また、「不誠実な業者における顧客対応の改善」「外国為替証拠金取引の取扱業者に対する業務・財務面におけるチェック機能の強化」は男性20代（順に40.4%、38.5%）で高い、等の特徴がみられる。

Q9 制度やサービス等で強化したほうが良いと思うこと（性・年代別）

あなたが外国為替証拠金取引(FX)を行うにつき、制度やサービス等で特に強化したほうが良いと思うことは何ですか。（いくつでも）



		N	不公正な取引などへの厳格な対応	不誠実な業者における顧客対応の改善	外国為替証拠金取引の取扱業者に対する業務・財務面におけるチェック機能の強化	インターネット取引における情報・サービスの向上	最低限、身に付けるべき金融リテラシー習得の支援	初心者・高齢者などへの適切な勧誘ルールの整備	法律や制度面の強化	投資家保護はもとより、「顧客本位」をより重視した	金融商品の特徴や留意点などを無料で相談できる問い合わせ窓口の提供	その他	特にない
全体		1000	36.7	31.6	29.9	29.4	27.8	27.6	21.0	14.6	2.2	14.8	
性・年代別	男性・計	763	38.0	33.7	30.8	30.9	26.6	26.1	23.1	13.5	2.6	14.8	
	男性20代	104	39.4	40.4	38.5	26.9	26.0	30.8	25.0	17.3	1.0	14.4	
	男性30代	268	39.6	35.4	26.5	33.2	32.5	25.7	22.0	14.2	3.0	13.1	
	男性40代	222	35.6	32.4	32.4	31.1	24.3	23.4	23.9	12.6	4.5	14.4	
	男性50代	66	39.4	27.3	31.8	31.8	22.7	19.7	27.3	7.6	1.5	18.2	
	男性60-70代	103	36.9	29.1	30.1	28.2	19.4	32.0	19.4	13.6	0.0	18.4	
	女性・計	237	32.5	24.9	27.0	24.5	31.6	32.5	14.3	18.1	0.8	14.8	
	女性20-30代	82	40.2	25.6	30.5	24.4	35.4	37.8	12.2	20.7	0.0	8.5	
	女性40-50代	105	31.4	23.8	23.8	25.7	29.5	27.6	17.1	14.3	0.0	16.2	
女性60-70代	50	22.0	26.0	28.0	22.0	30.0	34.0	12.0	22.0	4.0	22.0		

■ 全体と比べ5ポイント以上高い
■ 全体と比べ5ポイント以上低い

* 件数が30未満のため参考

(%)

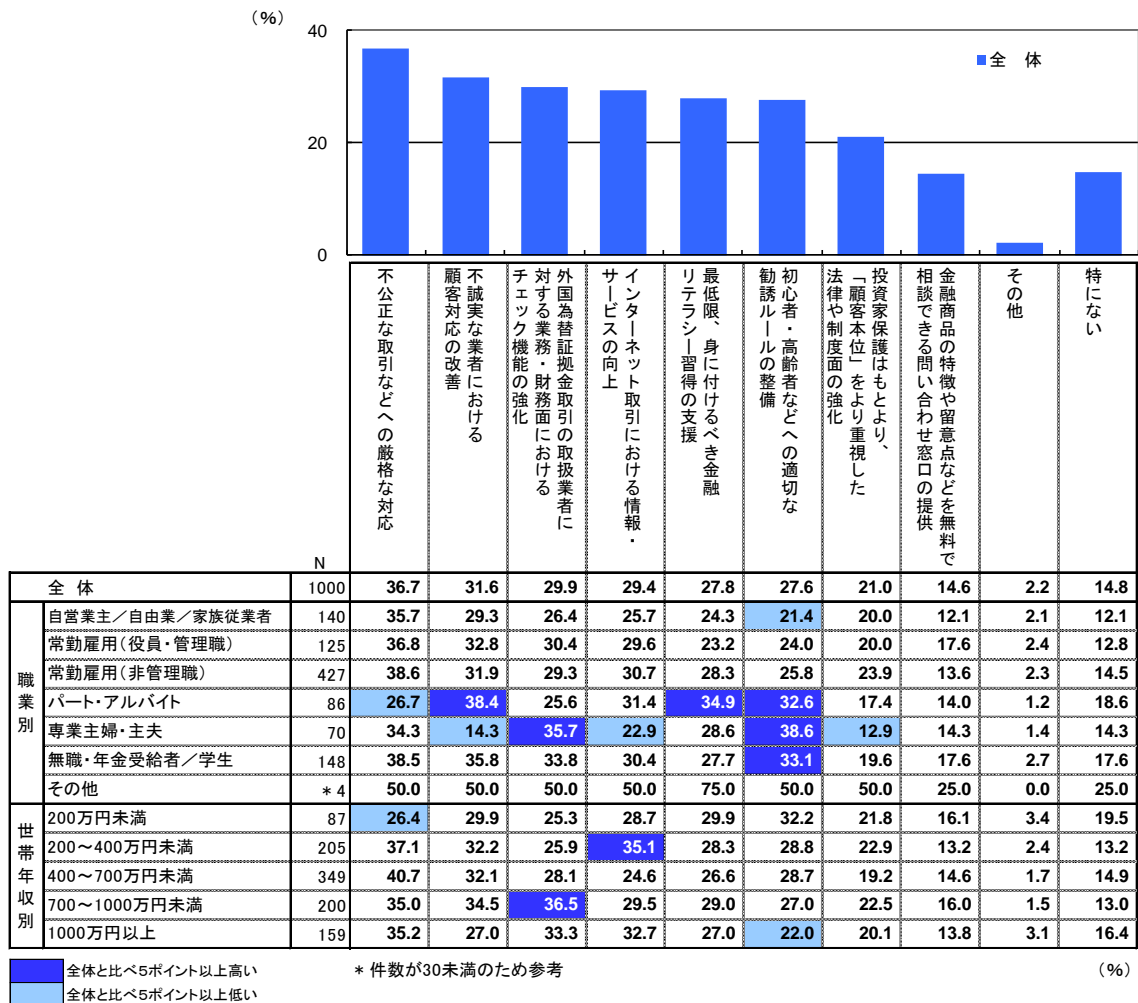
Q9 制度やサービス等で強化したほうが良いと思うこと（職業／世帯年収別）について

職業別にみると、「初心者・高齢者などへの適切な勧誘ルールの整備」は専業主婦・主夫（38.6%）、無職・年金受給者／学生（33.1%）、パート・アルバイト（32.6%）で他より高い。

世帯年収別にみると、「外国為替証拠金取引の取扱業者に対する業務・財務面におけるチェック機能の強化」は年収が高い層で、「初心者・高齢者などへの適切な勧誘ルールの整備」は年収が低い層で高い。

Q9 制度やサービス等で強化したほうが良いと思うこと（職業／世帯年収別）

あなたが外国為替証拠金取引(FX)を行うにつき、制度やサービス等で特に強化したほうが良いと思うことは何ですか。（いくつでも）



Q11 スプレッド広告について

スプレッド広告については、「知っており、その広告の内容を見て、投資したいと思う気持ちになる」が39.0%、「知っているが、その広告の内容を見て、投資したいと思う気持ちにはならない」が36.1%で、この2つを合わせた『知っている』計が75.1%を占める。

性・年代別にみると、「知っており、その広告の内容を見て、投資したいと思う気持ちになる」『知っている』計ともに男性（順に42.5%、79.8%）が女性（順に27.8%、59.9%）より15~20ポイント程度高く、さらに男女ともに若年層ほど比率が高い。

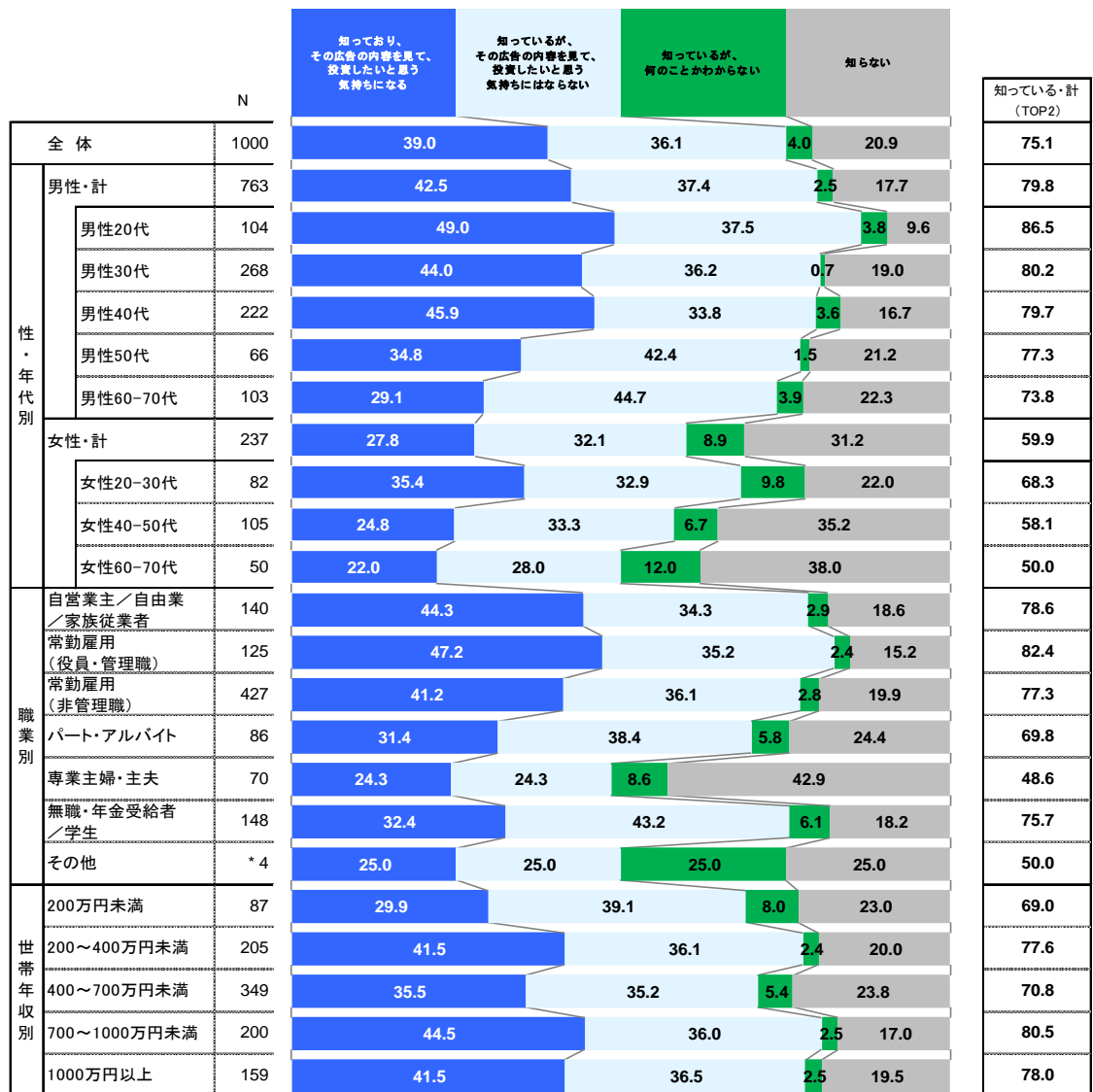
職業別にみると、「投資したいと思う気持ちになる」『知っている』計ともに常勤雇用（役員・管理職）（順に47.2%、82.4%）、自営業主／自由業／家族従業者（順に44.3%、78.6%）、常勤雇用（非管理職）（順に41.2%、77.3%）の順に高い。

世帯年収別には、特徴的な差がみられない。

Q11 スプレッド広告について

あなたはスプレッド（外国為替レートのビッド・アスク(オファー)におけるスプレッド）が記載されている広告を知っていますか。（1つだけ）

※ここでいうスプレッドとは、外国為替レートのビッド（通貨を売る時の値段(BID)）とアスク(オファー)（通貨を買う時の値段(ASK (OFFER)))の差をいいます。



* 件数が30未満のため参考

(%)

付)調査票

問番号	2018年 外国為替証拠金取引の取引顧客における金融リテラシーに関する実態調査	回答形式1 (MAは複数回答、SAは単一回答)	回答形式2
■あなたご自身について、おうかがいします。			
1	あなたの性別と年齢をお答えください。(1つだけ)	SA	<ul style="list-style-type: none"> 1. 男性20代 2. 男性30代 3. 男性40代 4. 男性50代 5. 男性60代 6. 男性70代 7. 女性20代 8. 女性30代 9. 女性40代 10. 女性50代 11. 女性60代 12. 女性70代
■外国為替証拠金取引(FX)の取引状況について、おうかがいします。			
2	あなたは現在、外国為替証拠金取引(FX)を行っていますか。(1つだけ)	SA	<ul style="list-style-type: none"> 1. 現在行っている 2. 現在は行っていないが、過去1か月未満(の間)に行っていた 3. 現在は行っていないが、過去1か月以上～3か月未満(の間)に行っていた 4. 現在は行っていないが、過去3か月以上～6か月未満(の間)に行っていた 5. 現在は行っていないが、過去6か月以上～1年未満(の間)に行っていた 6. 現在は行っていないが、過去1年以上～3年未満(の間)に行っていた 7. 現在は行っていないが、過去3年以上～5年未満(の間)に行っていた 8. 現在は行っていないが、過去5年以上前に行っていた
3	あなたの外国為替証拠金取引(FX)の取引経験年数をお答えください。 ※現在、取引していない方は、過去に取引していた年数の合計で結構です。(1つだけ)	SA	<ul style="list-style-type: none"> 1. 1か月未満 2. 1か月以上～3か月未満 3. 3か月以上～6か月未満 4. 6か月以上～1年未満 5. 1年以上～3年未満 6. 3年以上～5年未満 7. 5年以上
■外国為替証拠金取引(FX)のイメージ等について、おうかがいします。			
4	あなたは外国為替証拠金取引(FX)に関して、今までどのような知識を得てきましたか。(いくつでも)	MA	<ul style="list-style-type: none"> 1. 取引の仕組みやリスクとその管理に関する知識 2. 取引に関する税制関連の知識 3. 取引に関するファンダメンタル(ここでは、経済活動の状況を示す基礎的な要因の情報をいう)とこれを用いた分析手法の知識 4. 取引に関するテクニカル分析手法(取引商品の値動きを過去の経験やデータから予測する分析手法)の知識 5. 取引に関するメンタル(精神的)な鍛錬に関する知識 6. その他(具体的に) 7. わからない 8. 特になし
5	あなたは外国為替証拠金取引(FX)に関して、今後どのような知識を得たいですか。(いくつでも)	MA	<ul style="list-style-type: none"> 1. 取引の仕組みやリスクとその管理に関する知識 2. 取引に関する税制関連の知識 3. 取引に関するファンダメンタル(ここでは、経済活動の状況を示す基礎的な要因の情報をいう)とこれを用いた分析手法の知識 4. 取引に関するテクニカル分析手法(取引商品の値動きを過去の経験やデータから予測する分析手法)の知識 5. 取引に関するメンタル(精神的)な鍛錬に関する知識 6. その他(具体的に) 7. わからない 8. 特になし
6	あなたは、金融資産を増やすために、外国為替証拠金取引(FX)が有効な取引手段だと思いますか。(1つだけ)	SA	<ul style="list-style-type: none"> 1. 有効な取引手段だと思う 2. どちらかといえば有効な取引手段だと思う 3. どちらかといえば有効な取引手段とは思わない 4. 有効な取引手段とは思わない
7	あなたが金融資産を増やすために、外国為替証拠金取引(FX)が有効な取引手段だと思う理由は何かですか。(いくつでも)	MA (Q6-1or2)	<ul style="list-style-type: none"> 1. ハイリターンが期待できるから 2. 多くの投資者が利益を得ているから 3. 外貨建て資産(または負債)の為替リスクをヘッジしたいから 4. 手軽に外国通貨への投資が行えるから 5. 外貨の両替よりも有利に実物の外貨を入手できるから(外貨を円に換えられるから) 6. 外貨預金や他の外貨建ての金融商品よりも外貨運用をするにあたり必要な費用等が少なく済むから 7. 世の中のグローバル化が進み及びIT社会になってきたので、外国為替証拠金取引のような金融商品が社会のニーズに合うから 8. その他(具体的に)

8	あなたが金融資産を増やすために、外国為替証拠金取引(FX)が有効な取引手段だとは思わない理由は何ですか。(いくつでも)	MA (Q6-3or4)	<ol style="list-style-type: none"> 1. リスクが高いから 2. 多くの投資者が損失を被っているから 3. 外貨建て資産全般に関心がなくなったから 4. 外国為替証拠金取引を含むデリバティブ取引全般について、関心がなくなったから 5. 商品内容が難しいから 6. 外貨預金や他の外貨建ての金融商品で外貨運用を行えばよいから 7. 世の中のグローバル化が進み及びIT社会になってきたものの、外国為替証拠金取引のような金融商品は社会のニーズに合わないから 8. その他(具体的に)
9	あなたが外国為替証拠金取引(FX)を行うにつき、制度やサービス等で特に強化したほうが良いと思うことは何ですか。(いくつでも)	MA	<ol style="list-style-type: none"> 1. 不公正な取引などへの厳格な対応 2. 初心者・高齢者などへの適切な勧誘ルールの整備 3. 不誠実な業者における顧客対応の改善 4. 外国為替証拠金取引の取扱業者に対する業務・財務面におけるチェック機能の強化 5. 最低限、身に付けるべき金融リテラシー習得の支援 6. 金融商品の特徴や留意点などを無料で相談できる問い合わせ窓口の提供 7. インターネット取引における情報・サービスの向上 8. 投資家保護はもとより、「顧客本位」をより重視した法律や制度面の強化 9. その他(具体的に) 10. 特になし
10	外国為替証拠金取引(FX)に関する次の言葉(事柄含む)のうち、あなたが理解しているものを選んでください。(理解しているものはすべて選択してください)(いくつでも)	MA	<ol style="list-style-type: none"> 1. ビッド・アスク(オファー) 2. (外国為替レートのビッド・アスク(オファー)における)スプレッド 3. 証拠金 4. 指値注文 5. 逆指値注文 6. OCO(オーシーオー)注文、IF DONE(イフダン)注文 7. ロスカット 8. スワップポイント 9. レバレッジ効果 10. 差金決済 11. スリッページ 12. インターバンク市場 13. カバー取引 14. マリー取引 15. 「買い」からだけでなく「売り」からも取引できるということ 16. この中で、理解しているものはない
11	あなたはスプレッド(外国為替レートのビッド・アスク(オファー)におけるスプレッド)が記載されている広告を知っていますか。(1つだけ) ※ここでいうスプレッドとは、外国為替レートのビッド(通貨を売る時の値段(BID))とアスク(オファー)(通貨を買う時の値段(ASK(OFFER)))の差をいいます。	SA	<ol style="list-style-type: none"> 1. 知っており、その広告の内容を見て、投資したいと思う気持ちになる 2. 知っているが、その広告の内容を見て、投資したいと思う気持ちにはならない 3. 知っているが、何のこともわからない 4. 知らない
12	あなたの金融全般に関する知識は、他の人(世間一般人の人)と比べて、どのようなレベルにあると感じていますか。(1つだけ)	SA	<ol style="list-style-type: none"> 1. 高い 2. どちらかといえば高い 3. 平均的 4. どちらかといえば低い 5. 低い 6. わからない
13	100万円を年率1%の利息がつく預金口座に預け入れました。それ以外、この口座への入金や出金がなかった場合、1年後、口座の残高はいくらになっているでしょうか。利息にかかる税金は考慮しないで教えてください。(1つだけ)	SA	<ol style="list-style-type: none"> 1. 101万円 2. 101万365円 3. 136万5千円 4. 上記以外 5. わからない
14	外国為替レートが1米ドル=100円の時、あなたは外国為替証拠金取引(FX)を行い100万円の証拠金を用いて、証拠金倍率(レバレッジ)25倍の米ドル買い-日本円売りポジションを保有したとします。その後、米ドル-日本円のレートが、円高の方向に1%変化した場合、あなたの評価損益額はいくらになりますか。外国為替レートの変化以外のことを考慮しないで教えてください。(1つだけ)	SA	<ol style="list-style-type: none"> 1. 損失が-25万円より多い 2. 損失がちょうど-25万円 3. 利益が+25万円より多い 4. 利益がちょうど+25万円 5. 本文の条件だけでは答えられない 6. わからない
■外国為替証拠金取引(FX)の取引の実態について、おうかがいします。			
15	外国為替証拠金取引(FX)による 昨年の利益額(損失額) はいくらでしたか。(1つだけ) ※現在取引していない方は、一番最近の過去一年の利益額(損失額)で結構です。	SA	<ol style="list-style-type: none"> 1. 利益額が100万円以上 2. 利益額が50万円以上～100万円未満 3. 利益額が20万円以上～50万円未満 4. 利益額が～20万円未満 5. 0円又は損失額が～-20万円未満 6. 損失額が-20万円以上～-50万円未満 7. 損失額が-50万円以上～-100万円未満 8. 損失額が-100万円以上

16	<p>外国為替証拠金取引(FX)による所得における税金の計算において外国為替証拠金取引(FX)による損失(差金決済等に係る損失)は、翌年以降3年間の繰越控除(下記※を参照のこと)ができますが、あなたは過去に控除したことがありますか。(1つだけ)</p> <p>※法令等において、外国為替証拠金取引(FX)の差金決済に係る損失は、翌年以降3年間にわたり繰越し、繰越された年分の先物に係る雑所得等の金額を限度に一定の方法で差し引くことができます。(2018年1月現在)</p>	SA	<ol style="list-style-type: none"> 1. 控除をしたことがある(確定申告して、適用できたことがあるため) 2. 控除をしたことがない(確定申告したが適用できなかったため) 3. 控除をしたことがない(控除できることを知っていたが申告しなかったため) 4. 控除をしたことがない(控除できることを知っていたが年間で利益となったので、控除の対象にはならなかったため) 5. 控除をしたことがない(控除できることを知らなかったが年間で利益となったので、控除の対象にはならなかったため) 6. 控除をしたことがない(控除できることを知らなかったため)
17	<p>あなたの外国為替証拠金取引(FX)における新規建玉(新規ポジション)の平均的な保有期間をお答えください。(現在取引していない方は、過去に取引していたときの平均的な期間で結構です)(1つだけ)</p>	SA	<ol style="list-style-type: none"> 1. 1分未満 2. 1分以上～10分未満 3. 10分以上～1時間未満 4. 1時間以上～1日未満 5. 1日以上～1週間未満 6. 1週間以上～1か月未満 7. 1か月以上～6か月未満 8. 6か月以上～1年未満 9. 1年以上～5年未満 10. 5年以上
18	<p>あなたが取引している外国為替証拠金取引(FX)はどのような外国通貨の取引であるかお答えください。(現在取引していない方は、過去に取引していた通貨で結構です)(いくつでも)</p>	MA	<ol style="list-style-type: none"> 1. 米ドル 2. ユーロ 3. 英ポンド 4. スイスフラン 5. カナダドル 6. 豪ドル、ニュージーランドドル 7. 南アフリカランド、トルコリラ、メキシコペソ、ブラジルレアル 8. 中国元、香港ドル 9. スウェーデンクローナ、ノルウェークローネ、デンマーククローネ 10. ロシアルーブル、上記以外のヨーロッパ圏 11. 上記以外のアジア圏 12. その他(通貨を記載ください)
19	<p>あなたの行う外国為替証拠金取引(FX)について、新規取引1回あたりの平均的な取引金額を教えてください。(現在取引していない方は、過去に取引していたときの平均的な金額で結構です)(1つだけ)</p> <p>※例えば、米ドル/円の通貨ペアで 外国為替レートが1ドル=110円のとき、新規に1万米ドルの買建(売建)をした場合、この取引金額は110万円とお考えください。</p>	SA	<ol style="list-style-type: none"> 1. 10万円未満 2. 10万円以上～50万円未満 3. 50万円以上～100万円未満 4. 100万円以上～300万円未満 5. 300万円以上～500万円未満 6. 500万円以上～1,000万円未満 7. 1,000万円以上～3,000万円未満 8. 3,000万円以上～5,000万円未満 9. 5,000万円以上
20	<p>あなたが行う外国為替証拠金取引(FX)は、どのくらいの証拠金倍率で取引をしていますか。実効倍率をお答えください。(建玉の評価損益は含みません)(現在取引していない方は、過去に取引していたときの平均的な倍率で結構です)(1つだけ)</p> <p>※実効倍率とは 実際到你があなたが取引を行っているときの証拠金倍率のことで、取引額÷証拠金(自分の外国為替証拠金取引(FX)口座にある資産)にて計算した値をいいます。例えば、1米ドルが100円の時、100万円の証拠金が口座にあり、米ドル/円の通貨ペアを取引して10万米ドルの建玉を保有している場合、実効倍率は10倍となります。(10万米ドル×100円÷100万円→10倍)。</p>	SA	<ol style="list-style-type: none"> 1. 1倍未満 2. 1倍以上～5倍未満 3. 5倍以上～10倍未満 4. 10倍以上～15倍未満 5. 15倍以上～20倍未満 6. 20倍以上～25倍
21	<p>あなたは、外国為替証拠金取引(FX)について、年間でどのくらいの回数の取引を行いますか。(1つだけ)</p> <p>※新規・決済のいずれの取引もそれぞれ1回と数えます。</p> <p>※(強制)ロスカット取引によるものは除きます。</p> <p>※現在取引していない方は、過去に取引していたときの平均的な回数で結構です。</p> <p>※ここでいう(強制)ロスカット取引とは、顧客が行った取引を決済した場合に顧客に生ずることとなる損失の額が、当該顧客との間であらかじめ約した計算方法により算出される額に達する場合に行うこととする取引の決済をいいます。(つまり、顧客の損失が顧客と予め約した水準に達した場合、顧客の建玉を強制的に決済(取引)をすることをいいます。)</p>	SA	<ol style="list-style-type: none"> 1. 1回未満(何年かに1回程度) 2. 1回以上～10回未満 3. 10回以上～20回未満 4. 20回以上～50回未満 5. 50回以上～100回未満 6. 100回以上～500回未満 7. 500回以上
22	<p>あなたが行った外国為替証拠金取引(FX)において年間でどのくらいの回数の(強制)ロスカット取引がなされましたか。(1つだけ)</p> <p>※同一時点(の判定)で行われた(強制)ロスカット取引は1回として数えます。</p> <p>※現在取引していない方は、過去に取引していたときの回数で結構です。</p> <p>※ここでいう(強制)ロスカット取引とは、顧客が行った取引を決済した場合に顧客に生ずることとなる損失の額が、当該顧客との間であらかじめ約した計算方法により算出される額に達する場合に行うこととする取引の決済をいいます。(つまり、顧客の損失が顧客と予め約した水準に達した場合、顧客の建玉を強制的に決済(取引)をすることをいいます。)</p>	SA	<ol style="list-style-type: none"> 1. 1回未満(何年かに1回程度) 2. 1回以上～10回未満 3. 10回以上～20回未満 4. 20回以上～50回未満 5. 50回以上～100回未満 6. 100回以上～500回未満 7. 500回以上

23	あなたが外国為替証拠金取引(FX)した際に、 損失を出した原因 はどのような理由であると考えますか。 (外国為替証拠金取引(FX)にて損失を出したことがない方は、もし損失を出してしまったとしたら、原因はどのような理由であるかと考えてお答えください。(いくつでも)	MA	<ol style="list-style-type: none"> 1. 損切りができなかったから 2. 損切りのタイミングが早すぎたから 3. 根拠の薄い(または無い)取引をしてしまったから 4. 自分に合った証拠金倍率を超えた倍率での取引をってしまったから 5. 値段(外国為替レート)の確認(チェック)ができない環境にあった(または、確認できる環境だったが、確認していなかった) 6. その他(具体的に)
24	過去に外国為替証拠金取引(FX)した際に、 証拠金として業者に預け入れた資産以上に損失を被った(損失となった) ことがありますか。ある場合、どのような理由が原因であったと考えますか。複数理由がある方は、主なものを1つ、お知らせください。(1つだけ)	SA	<ol style="list-style-type: none"> 1. ない 2. ある／取引のリスク及びリターンに対する認識を失っていたから(例えば、自分が全く予期していない事態で外国為替相場が急変したから) 3. ある／取引のリスク及びリターンに対する認識が甘かった(心構えが不十分だった)から 4. ある／取引のリスク及びリターンに対する認識は十分にあり、場合によっては、証拠金として業者に預け入れた資産以上に損失を出すことを想定していた。そして現実に証拠金として業者に預け入れた資産以上に損失を出す結果となったから 5. ある／理由は上記以外(具体的に)
25	あなたは外国為替証拠金取引(FX)に関し、 平均的に利益を出す (時には損失を出すこともあるが、総じて利益を出す)ことができる 投資手法 を会得していますか。(1つだけ)	SA	<ol style="list-style-type: none"> 1. はい 2. いいえ
26	あなたが外国為替証拠金取引(FX)を行う際に、指値(及び成行)注文以外に、以下に示した注文方法をそれぞれの程度使用しますか。(それぞれ1つずつ)	各SA	<p>【表頭】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.よく使用する 2.時々使用する 3.まれに使用する 4.使用しない <p>【表側】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.逆指値注文 2.OCO(オーシーオー)注文 3.IF DONE(イフダン)注文 4.IF DONE OCO(イフダン オーシーオー)注文 5.上記以外の特殊な(条件付き)注文
■外国為替証拠金取引(FX)に関する情報収集や投資方針についてお答えをお願いします			
27	あなたは、外国為替証拠金取引(FX)に関する 情報(知識を含む)を主にどのように集めていますか。 (外国為替証拠金取引(FX)に関し、どのような情報を参考にしますか。)(現在取引していない方は、過去に取引していたときの収集方法で結構です)(3つまで)	3MA	<ol style="list-style-type: none"> 1. 金融機関の窓口(店頭又は、コールセンター等)での相談 2. 金融機関においてあるパンフレット 3. 講演会・セミナーへの参加 4. 専門家・アドバイザーへの相談 5. マスメディア(テレビ・新聞等) 6. ウェブサイト 7. 家族・友人との会話(クチコミ) 8. 学校(社会人向け含む)での授業・講演 9. 金融商品・投資に関する書籍 10. その他の情報源(具体的に) 11. どこで取得すればいいかわからない・わからなかった 12. 情報収集はしていない・していなかった <input type="checkbox"/>
28	あなたが行う 外国為替証拠金取引(FX)の投資方針 について、最もあてはまるものを1つお知らせください。 (現在取引していない方は、過去に取引していたときの方針で結構です)(1つだけ)	SA	<ol style="list-style-type: none"> 1. 概ね長期保有だが、ある程度幅幅による利益があれば決済する 2. 幅幅による利益重視であり、短期間に決済する 3. スワップポイントを重視している(スワップポイントの状況によっては決済する) 4. 保有している外貨資産の為替リスクのヘッジを重視している 5. その他(具体的に) 6. 特に決めていない
29	あなたの投資方針では ファンダメンタル分析 (ここでは、経済活動の状況を示す基礎的な要因の情報をを用いた分析をいう。)と テクニカル分析 (取引商品の値動きを過去の経験やデータから予測する分析)の2点からを見て、どちらをどの程度(の比率で) 重視している と思いますか。(1つだけ)	SA	<ol style="list-style-type: none"> 1. ファンダメンタル分析100%、テクニカル分析0% 2. ファンダメンタル分析75%、テクニカル分析25% 3. ファンダメンタル分析50%、テクニカル分析50% 4. ファンダメンタル分析25%、テクニカル分析75% 5. ファンダメンタル分析0%、テクニカル分析100% 6. どちらも重視していない(理由を具体的に)
30	あなたが取引する際に利用している 外国為替証拠金取引(FX)業者 についてお伺いします。 その業者を選んだ理由 をお答えください。 (現在取引していない方は、過去に取引していたときの業者についてお答え頂ければ結構です)(いくつでも)	MA	<ol style="list-style-type: none"> 1. 信用のある業者(会社)だから 2. 相談がしやすいから 3. 友人・知人・親戚の人が動いているから 4. 良い情報を提供してくれるから 5. インターネット上で評判がよいという口コミ等をみたら 6. インターネット取引での注文がしやすいから 7. ホームページのサイトが見やすい(使いやすい)から 8. その会社でしか扱っていない銘柄(通貨ペア)があるから 9. 売買手数料等の必要コストが安い(無料である)から 10.(外国為替レートのビッド・アスク(オファー)における)スプレッドが狭いから 11. 提供している取引・情報ツールがよいから 12. 取引システムが堅固(安全性が高い等)だから 13. 口座開設時や取引に応じてプレゼントがもらえるから 14. 有利なスワップポイントで取引できるから 15. その他(具体的に)

31	<p>コンピュータープログラムに従って自動的に売買を行う方法がありますが、あなたは行ったことがありますか。(1つだけ)</p>	SA	<ol style="list-style-type: none"> 1. 行っている(または、行ったことがある)。そして、今後も続けたい(今後、また行いたい) 2. 行っている(または行ったことがある)。しかし、今後はやめたい(今後、また行いたくない) 3. 行ったことはないが、今後は始めたい 4. 行ったことはないが、今後も行いたくない
<p>■最後にあなたご自身のことについて、おうかがいします</p>			
32	<p>あなたのご職業をお答えください。(1つだけ)</p>	SA	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自営業主(農林水産業、商工、サービスなど) 2. 自由業(開業医、弁護士など) 3. 家族従業者(家事手伝い含む) 4. 常勤雇用(役員・管理職) 5. 常勤雇用(非管理職) 6. パート・アルバイト 7. 専業主婦・主夫 8. 無職・年金受給者 9. 学生 10. その他(具体的に)
33	<p>あなたのご家庭(世帯)のご家族全員の1年間の税込み収入(=世帯年収)はどの位でしょうか。(1つだけ)</p>	SA	<ol style="list-style-type: none"> 1. 100万円未満 2. 100万円以上～200万円未満 3. 200万円以上～300万円未満 4. 300万円以上～400万円未満 5. 400万円以上～500万円未満 6. 500万円以上～700万円未満 7. 700万円以上～1,000万円未満 8. 1,000万円以上～1,500万円未満 9. 1,500万円以上～2,000万円未満 10. 2,000万円以上
34	<p>あなたのご最終学歴(就学中・中退を含む)を、お答えください。(1つだけ)</p>	SA	<ol style="list-style-type: none"> 1. 小学校・中学校(旧制高等学校含む) 2. 高等学校(旧制中等学校含む) 3. 各種専門学校 4. 短期大学・高等専門学校 5. 大学 6. 大学院 7. その他(具体的に)

**平成 29 年度 外国為替証拠金取引の取引顧客における
金融リテラシーに関する実態調査 調査結果報告書**

発行者 / 一般社団法人 金融先物取引業協会

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町 1-3 NBF 小川町ビルディング

編集 / 株式会社日本リサーチセンター

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 2-7-1

禁無断転載 Copyright ©The Financial Futures Association of Japan